



Track-Guide III

取扱説明書

2024年06月10日 UT SW V02.30.10_ac_T SRV V01.30.08

1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)
2. GNSS設定 (RTX編)
3. 車両設定
4. 作業機設定
5. 実行画面
6. 自動操舵設定 (ロール補正編)
7. 車両データの保存・転送・削除
8. 圃場データの保存・転送・削除
9. トラブルシューティング

※1～4,6は初期設定
初回のみ設定が必要です

【製品に関する注意事項】

- ・ GNSSガイダンスシステムは作業の補助を行うものであり、作業自体を保証するものではありません。
- ・ 自動操舵の走行性能は、トラクターの整備状態や作業機の取り付け状態、前後のバランス等により変わる場合があります。
- ・ トラクターや田植え機の種類によっては取り付けられない場合があります。
- ・ 製品の改造や分解は行わないでください。
- ・ 製品を使用する際は、道路交通法および国内法令を遵守してください。
- ・ 道路走行中にディスプレイを操作しないでください。操作する場合は停止してください。
- ・ トラクターのメンテナンスや修理を行う前に、必ずトラクターとディスプレイ間の接続を外してください。
- ・ トラクターのバッテリーを充電する前に、必ずトラクターとディスプレイ間の接続を外してください。

警告

- ・ 自動操舵システムを使用する前に、ユーザーマニュアルと安全指示書をよくお読みください。
- ・ 自動操舵システム使用中は、車両から離れないでください。
- ・ 運転前に点検を行い、正常に作動することを確認してください。
- ・ 自動操舵システムを起動した状態で公道を走らないでください。
- ・ 常に周囲を確認し、安全に配慮して使用してください。

【その他注意事項】

- 長さの単位をフィート (ft) およびインチ (in) 、面積の単位をエーカー (ac) にすることは、計量法で禁止されています。
- 使用や表示画面のデザインなどは、掲載されているものから変更される場合があります。
- 最新の情報や変更点はユーザーサイト <https://annex.nikon-trimble.co.jp/agri/user/index.html> をご確認ください。

【本冊子を利用するにあたって】

- Track-Guide III を略して「TGⅢ」と記載している箇所があります。
- Track-Guide Ⅲは後付け自動操舵としては、使用しない機能があります。
取扱説明書に記載が無いアイコンはタップしないよう、お願いします。



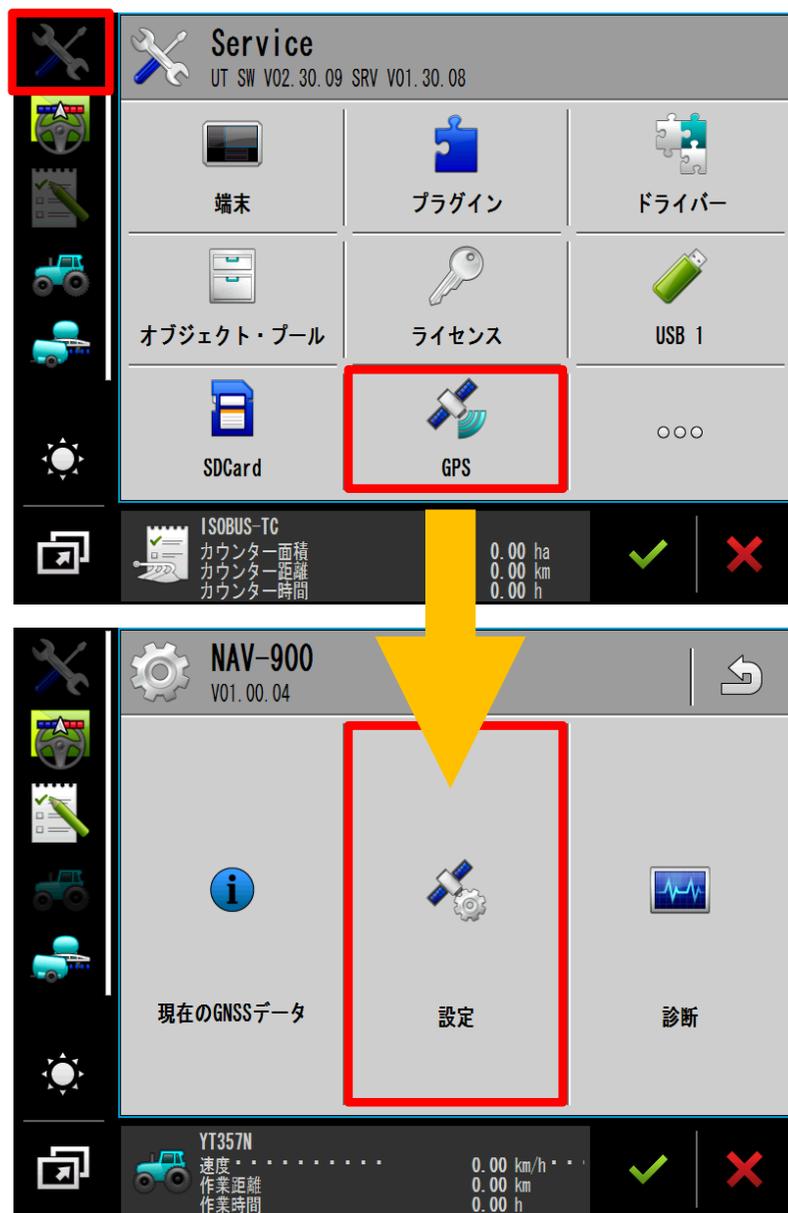


Track-Guide III

1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)

Track-Guide III

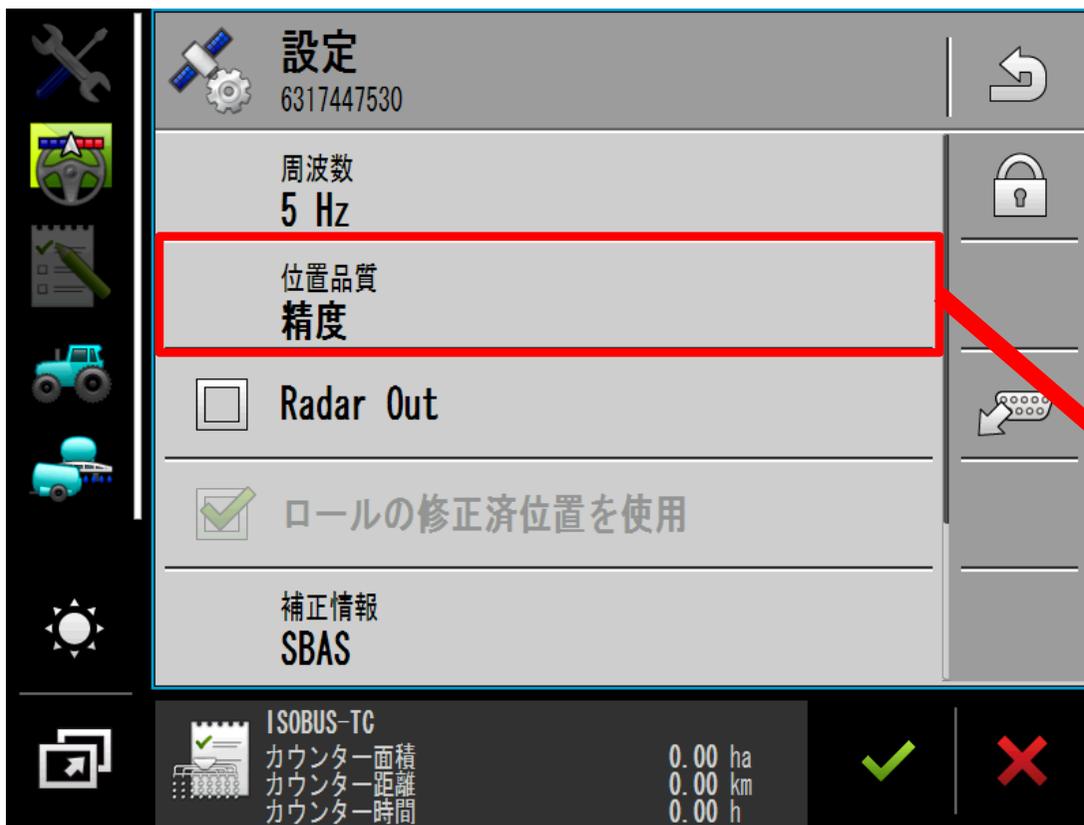
1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



 をタップする

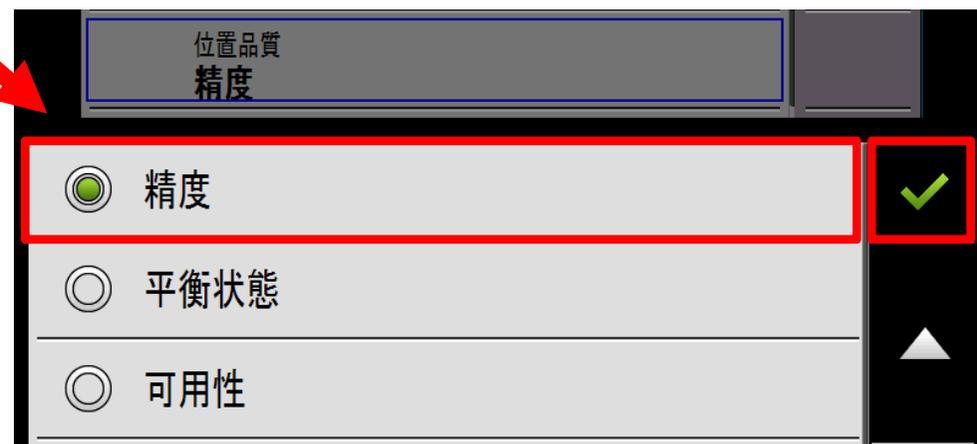
「GPS」をタップする

「設定」をタップする



「位置品質」をタップし、
「精度」を選択する

 をタップする

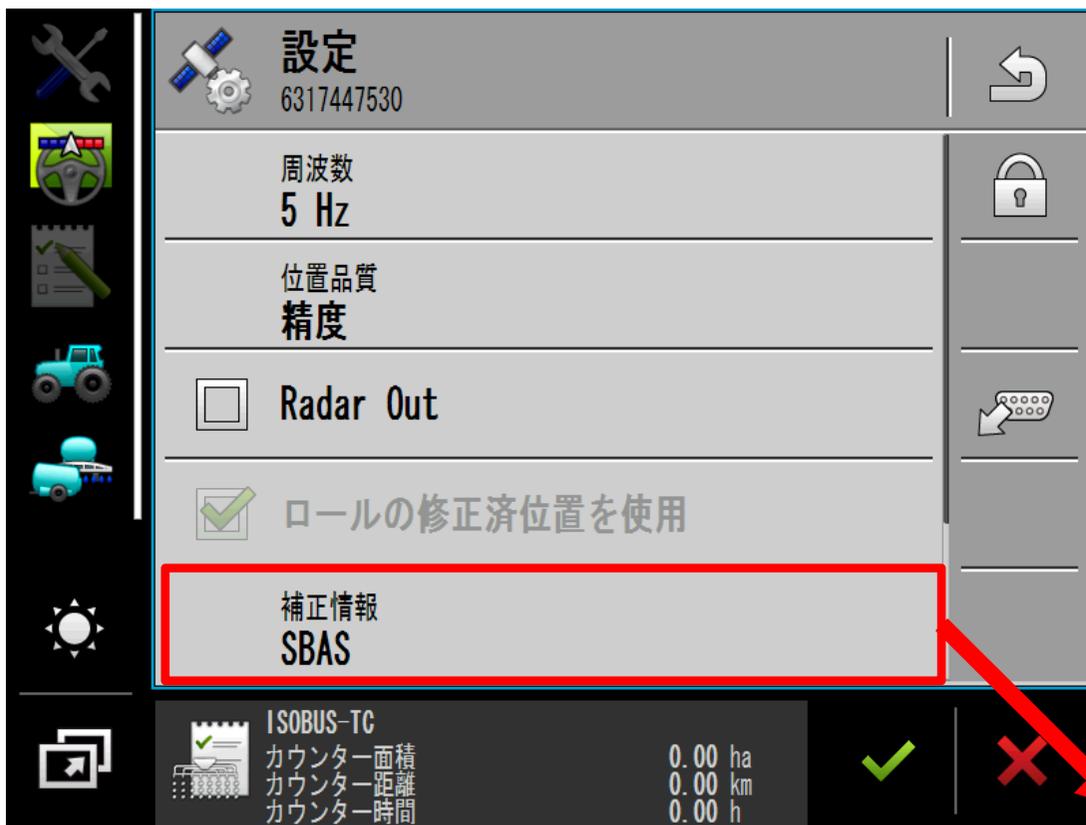


「位置品質」→**精度**がおすすめ

- 精度→精度品質が確保されたのち、Fixをする。
- 平衡状態→精度優先と作業優先の間。
- 可用性→精度品質が確保されている間にFixを優先。

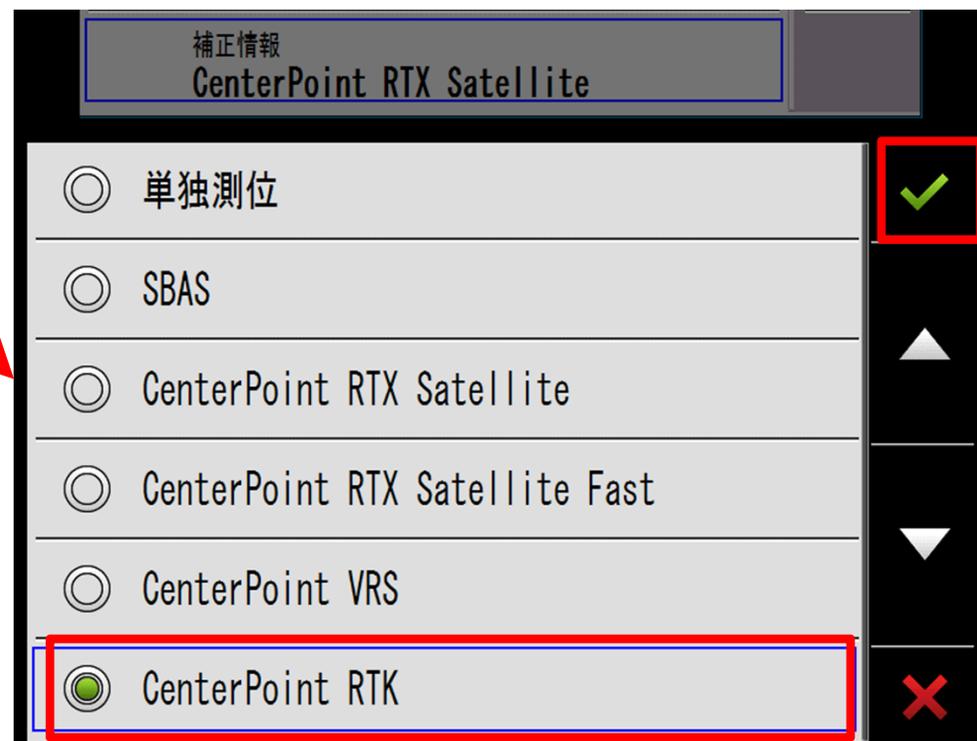
Track-Guide III

1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



「補正情報」をタップし、
「CenterPoint RTK」を選択する

 をタップする



Track-Guide III

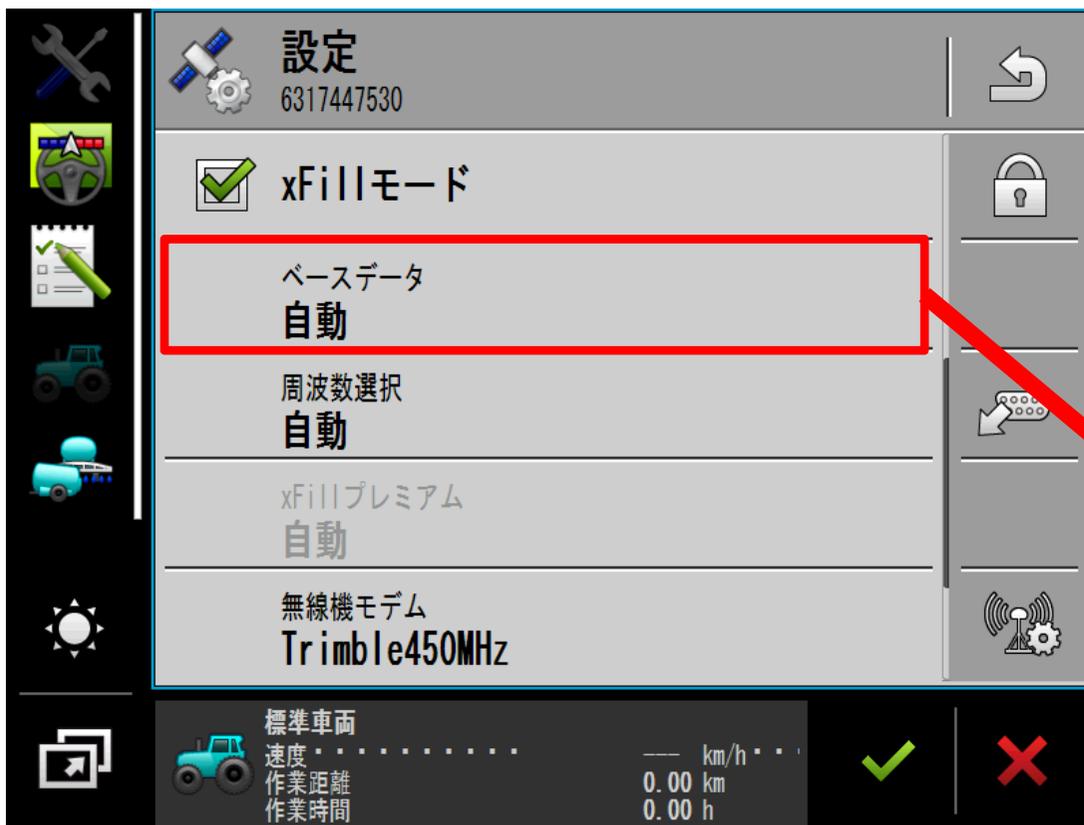
1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



「xFillモード」をオンにする
(チェックマークをつける)
※初期設定はオンになって
います

Track-Guide III

1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



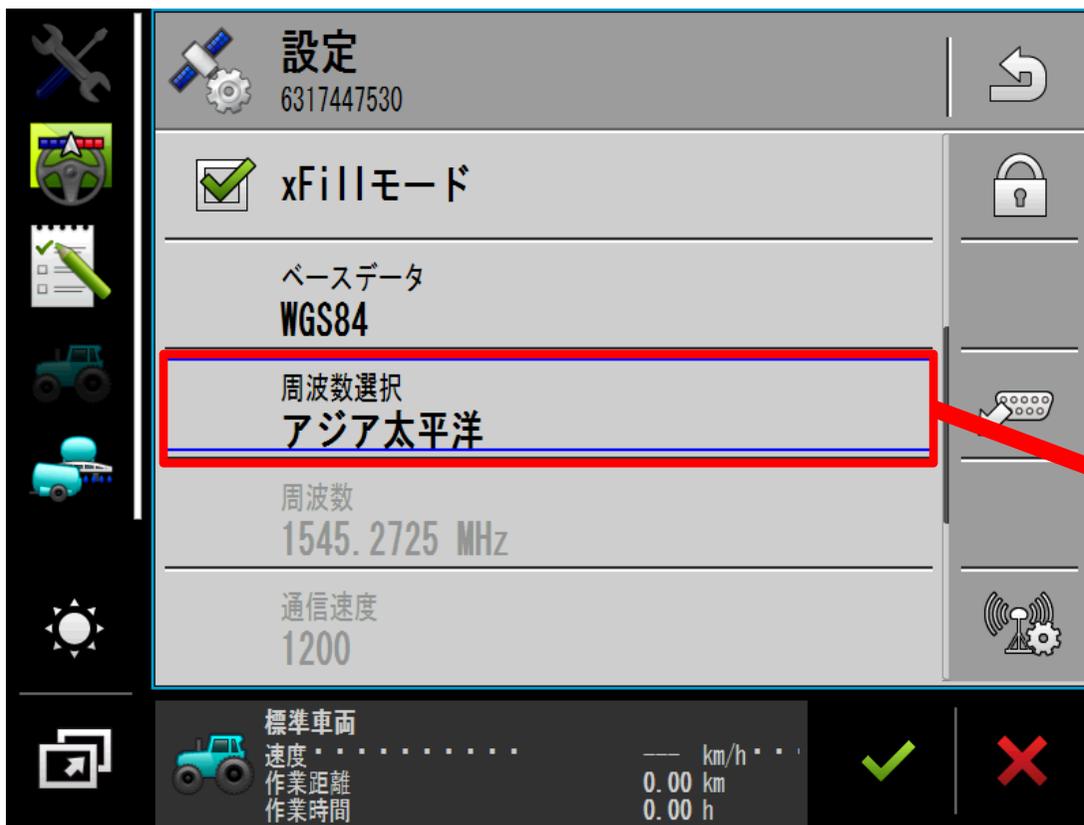
「ベースデータ」をタップし、
「WGS84」を選択する

 をタップする



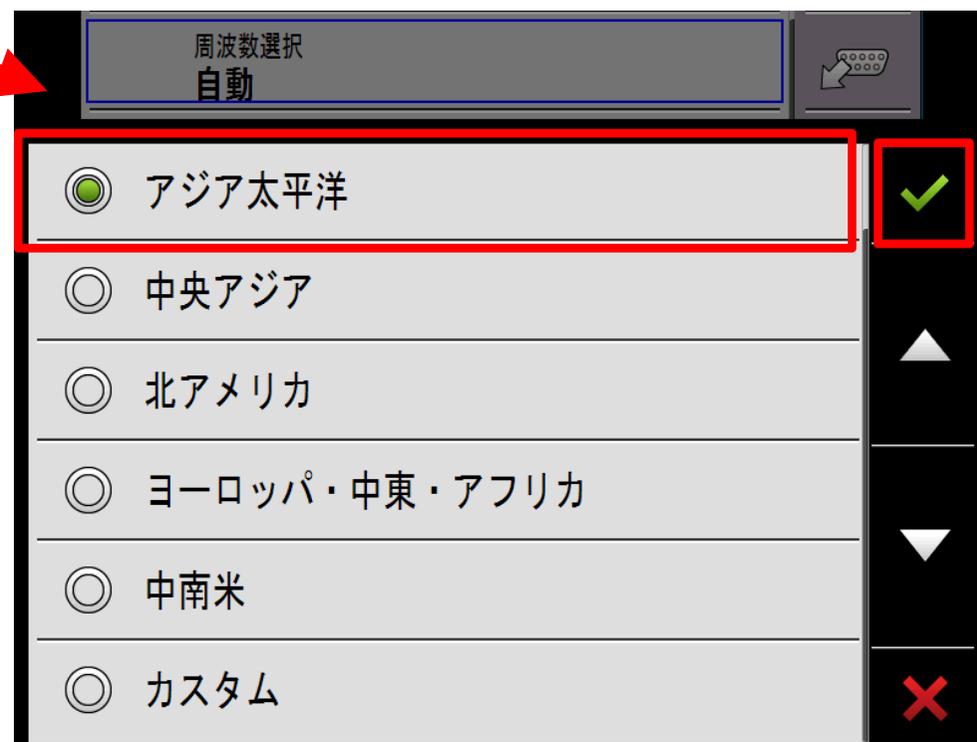
Track-Guide III

1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



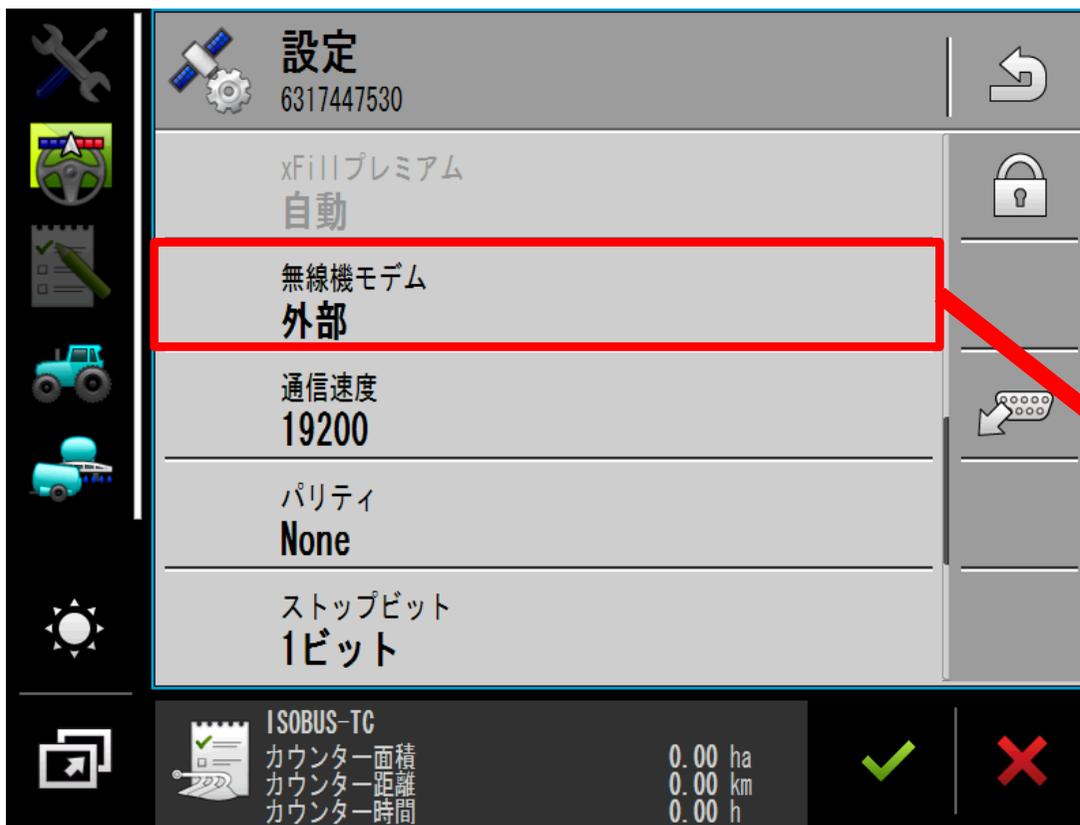
「周波数選択」をタップし、
「アジア太平洋」を選択する

 をタップする



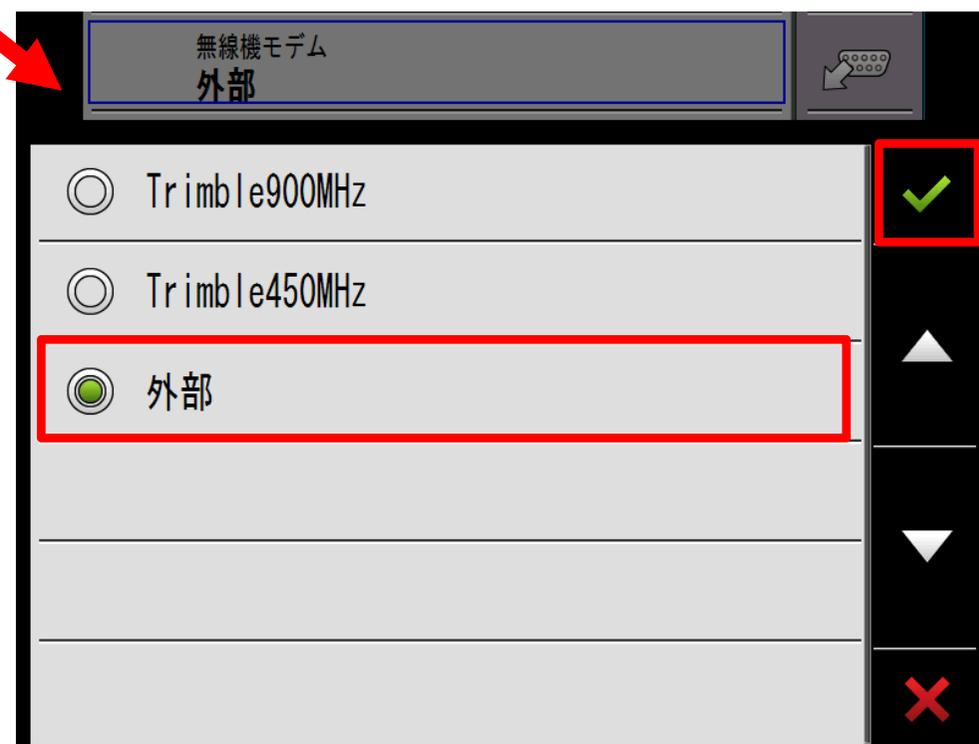
Track-Guide III

1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



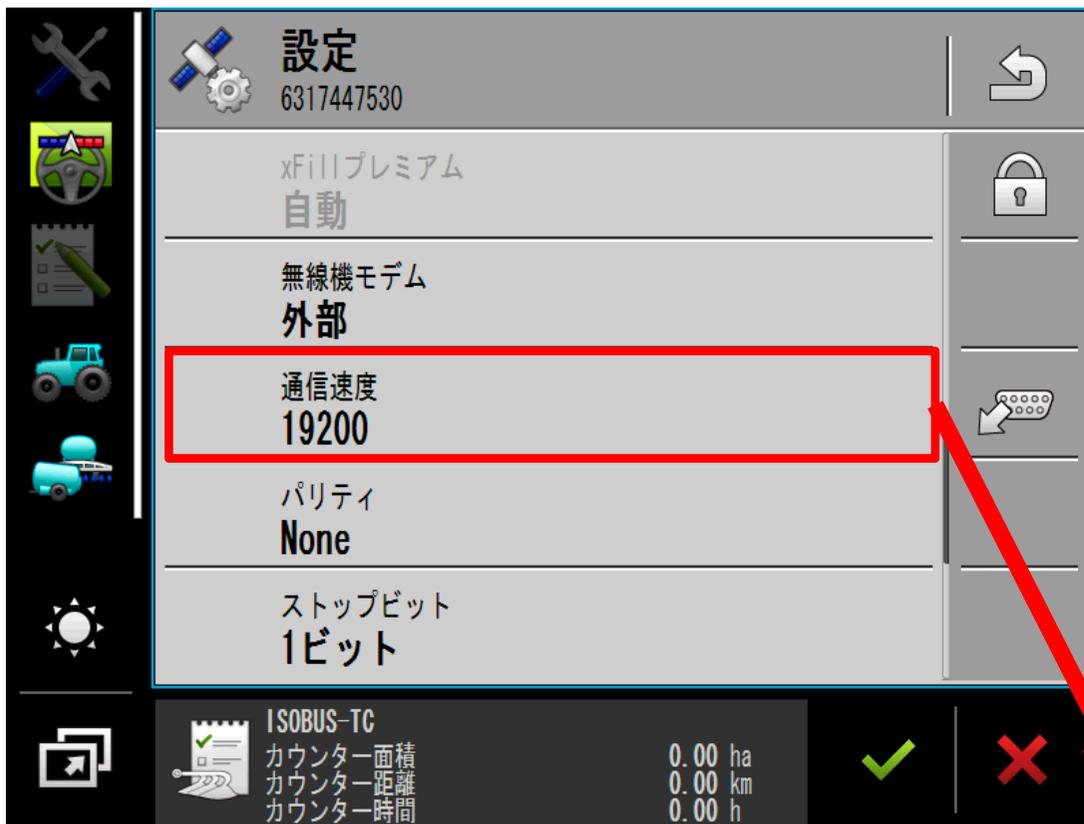
「無線機モデム」をタップし、
「外部」を選択する

 をタップする



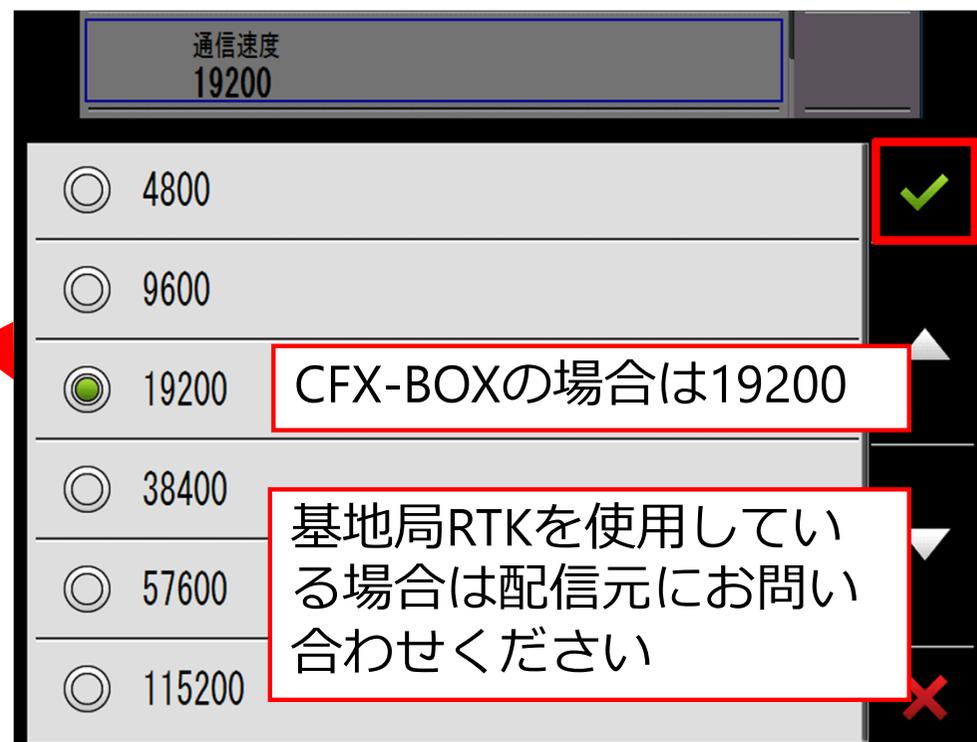
Track-Guide III

1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



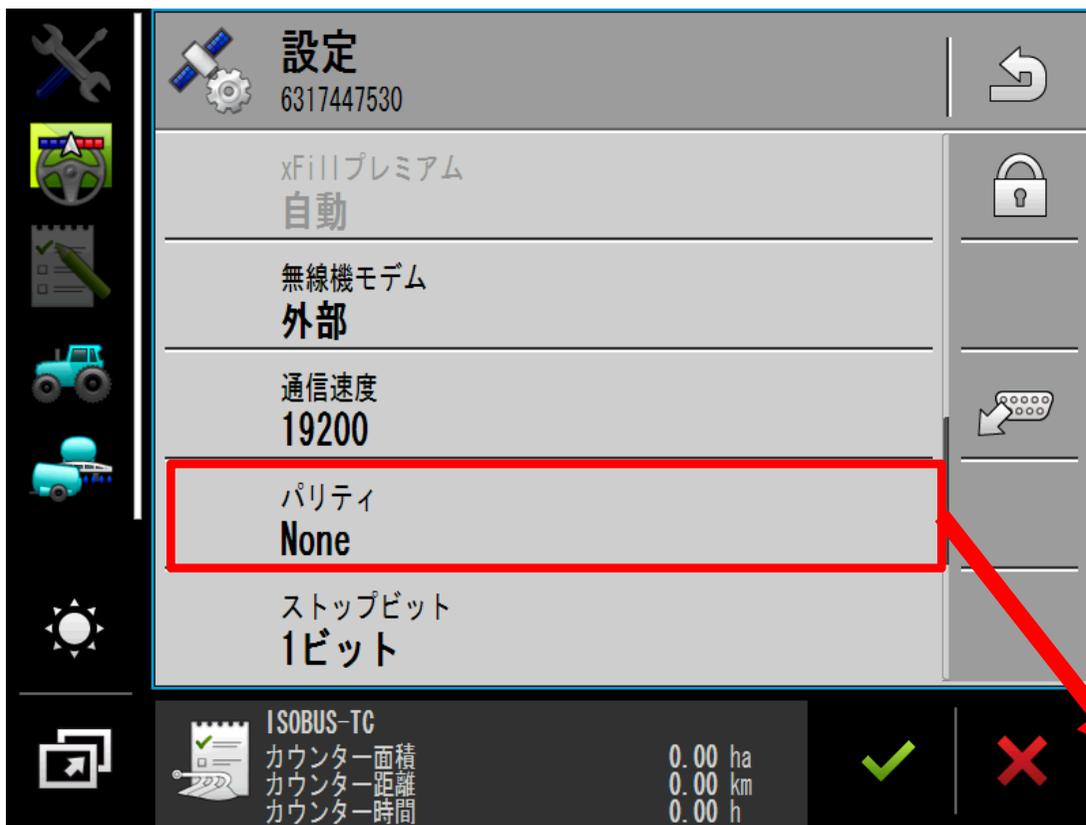
「通信速度」をタップし、
使用機器に応じて選択する

 をタップする



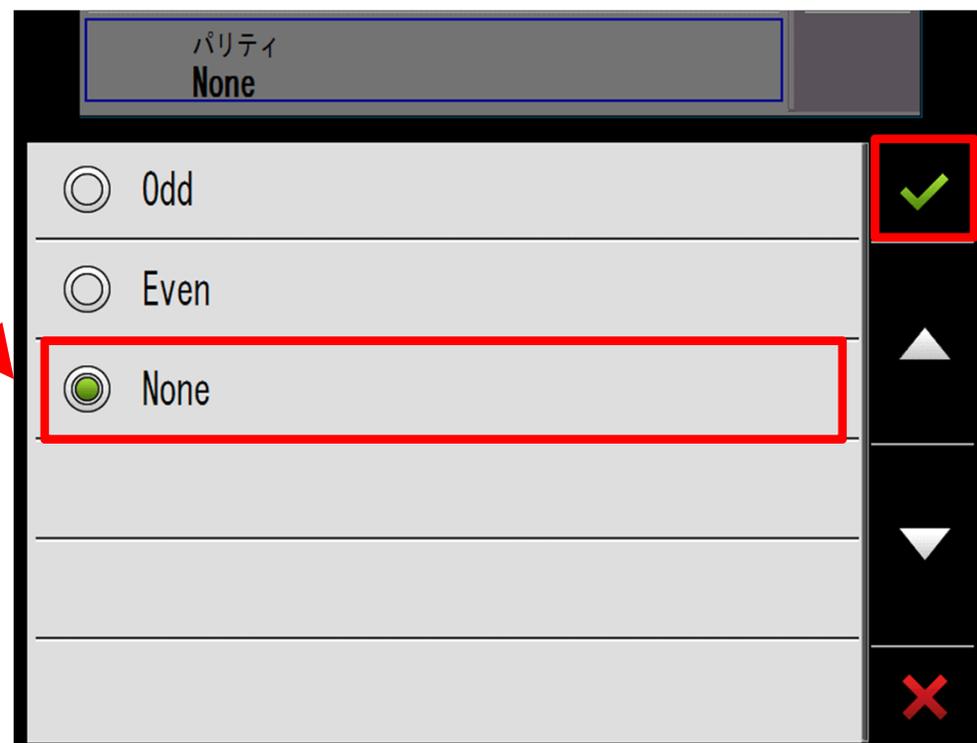
Track-Guide III

1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



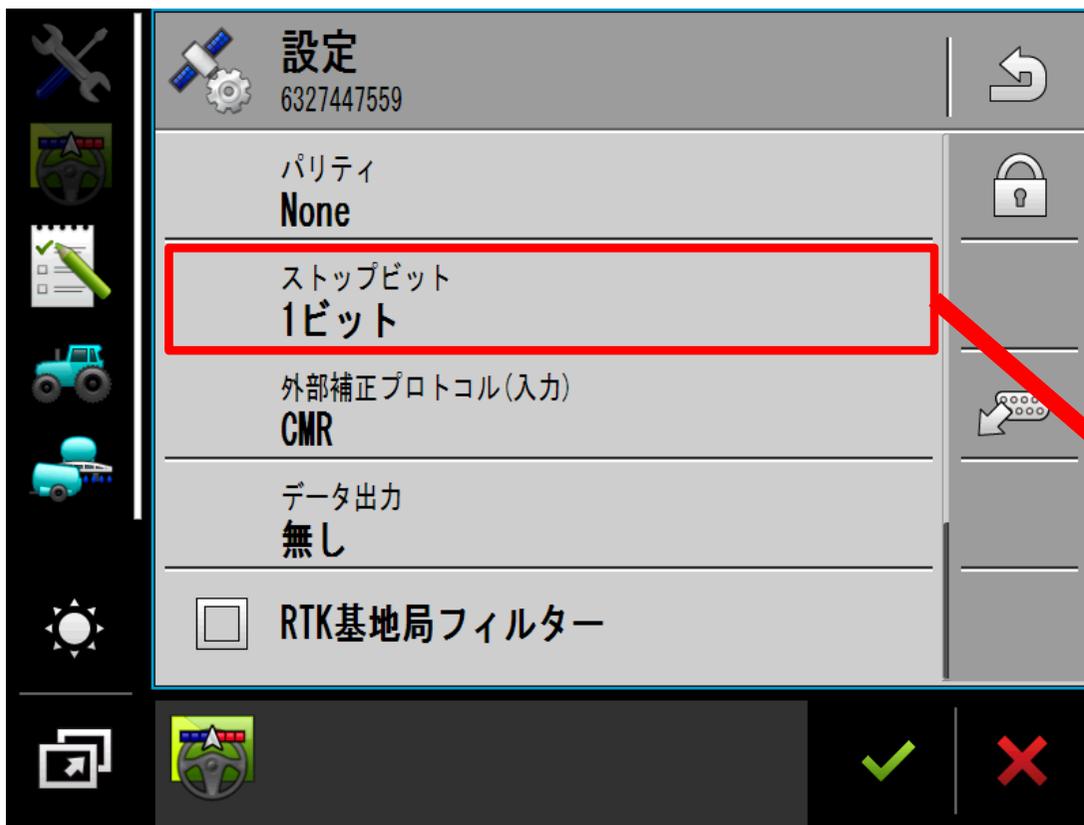
「パリティ」をタップし、
「None」を選択する

 をタップする



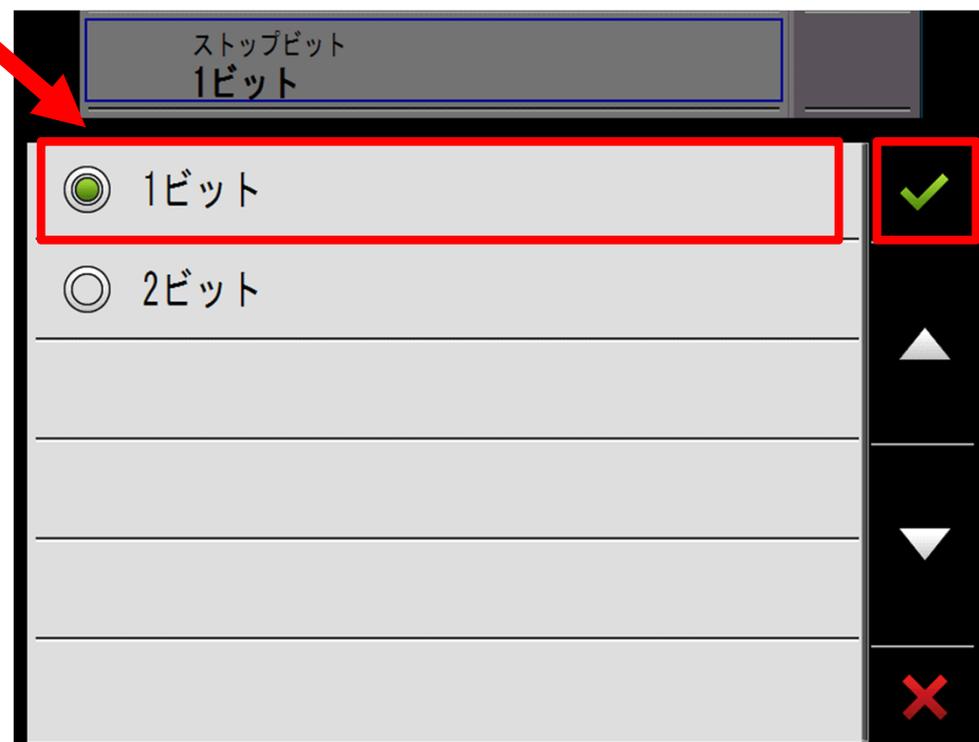
Track-Guide III

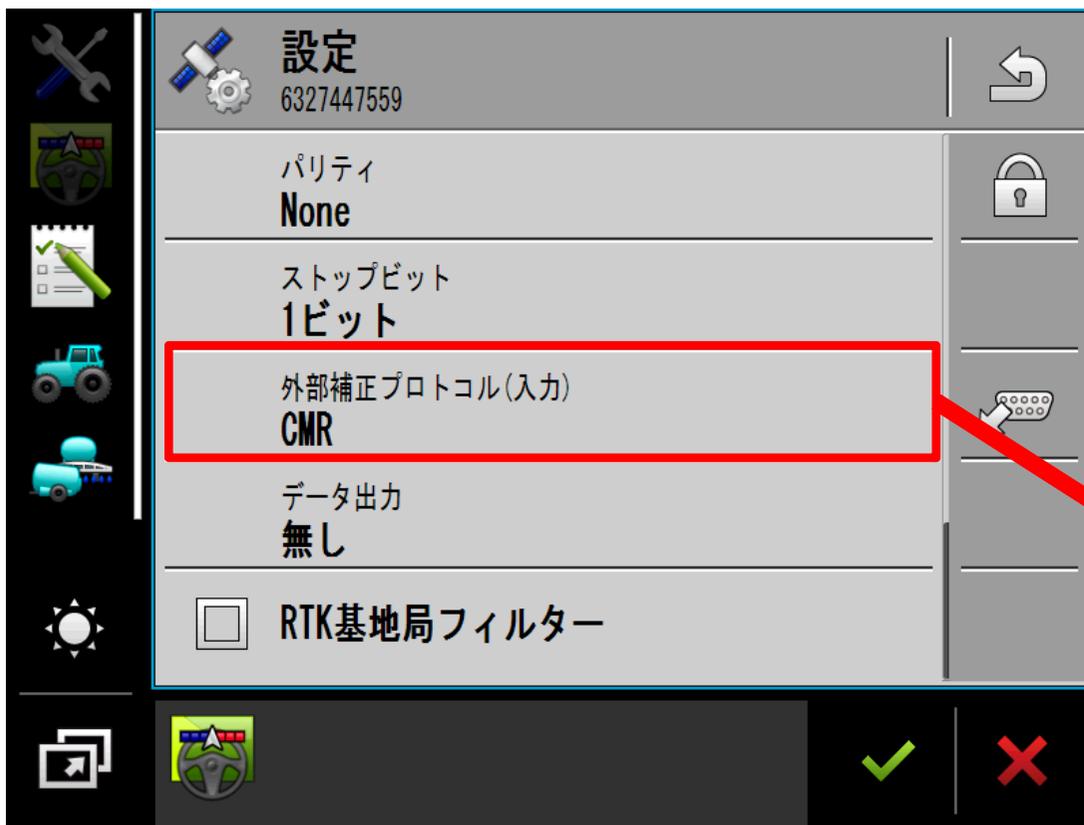
1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



「ストップビット」をタップし、
「1ビット」を選択する

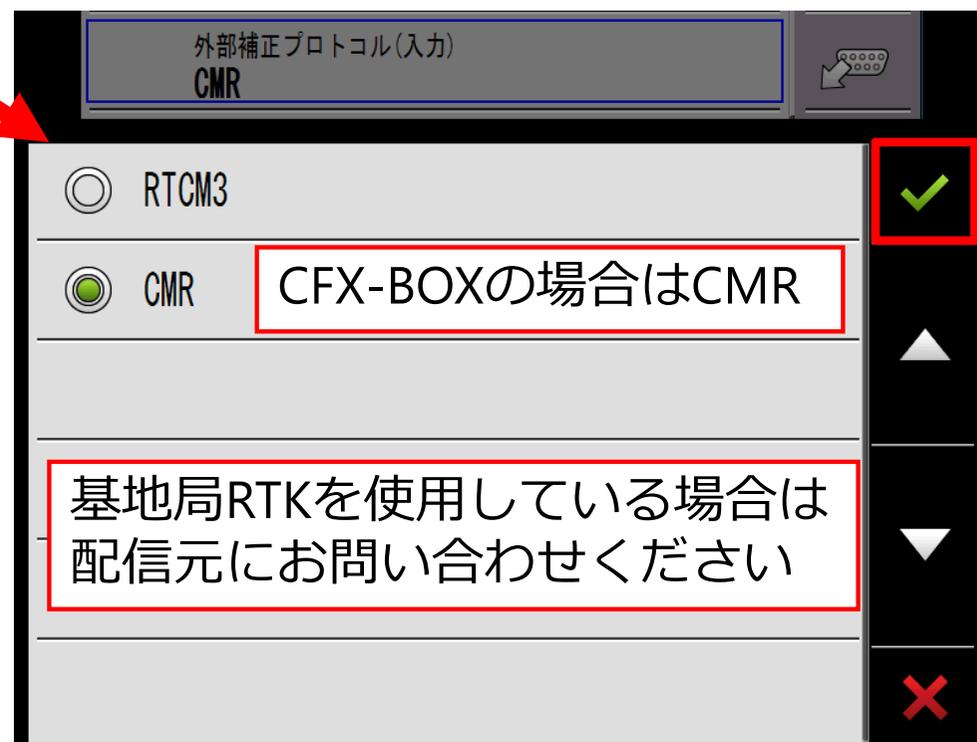
 をタップする





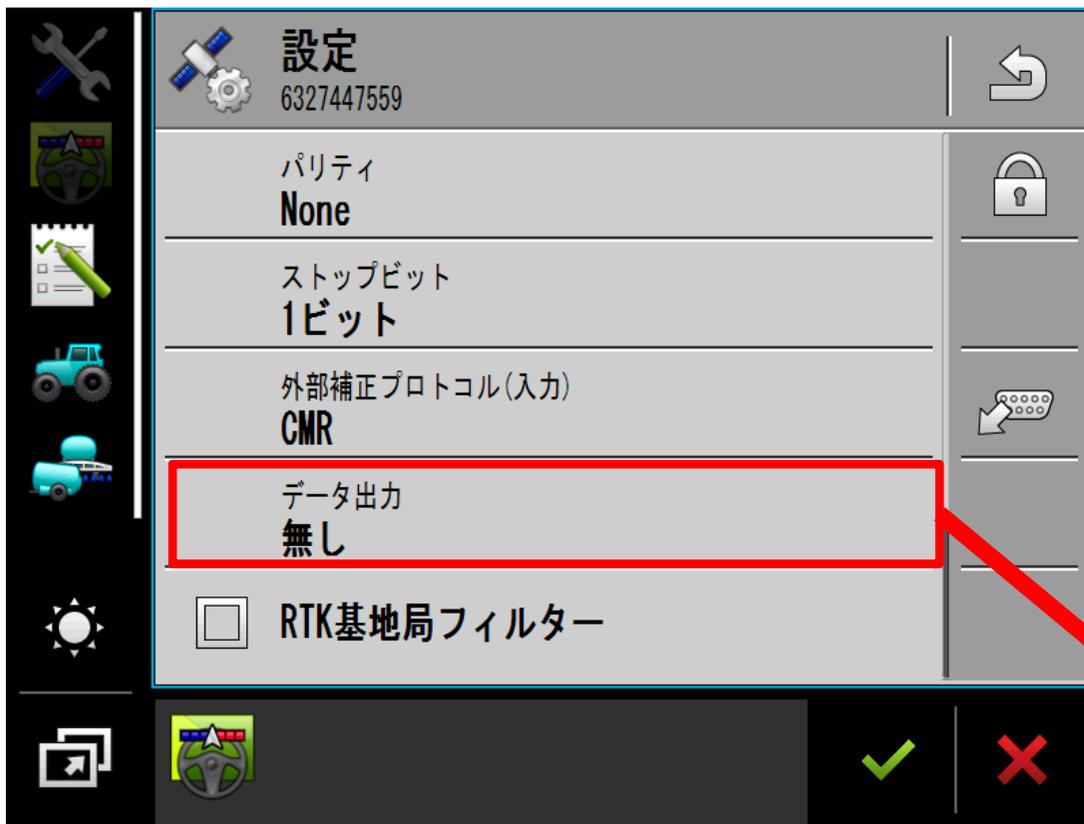
「外部補正プロトコル」で
補正情報に応じて選択する

 をタップする



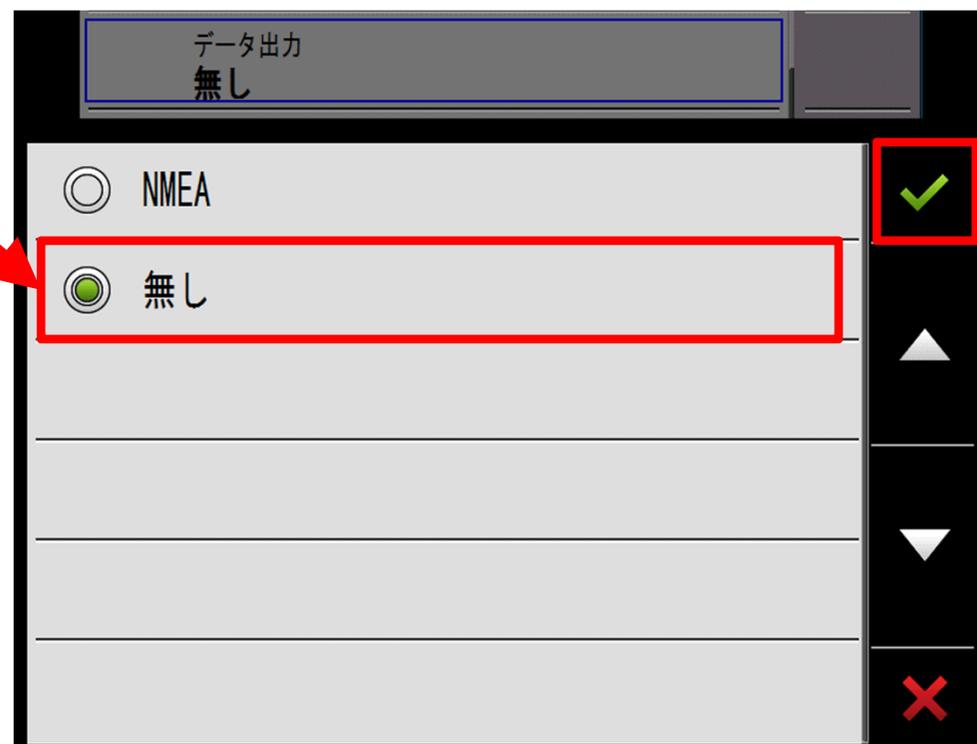
Track-Guide III

1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



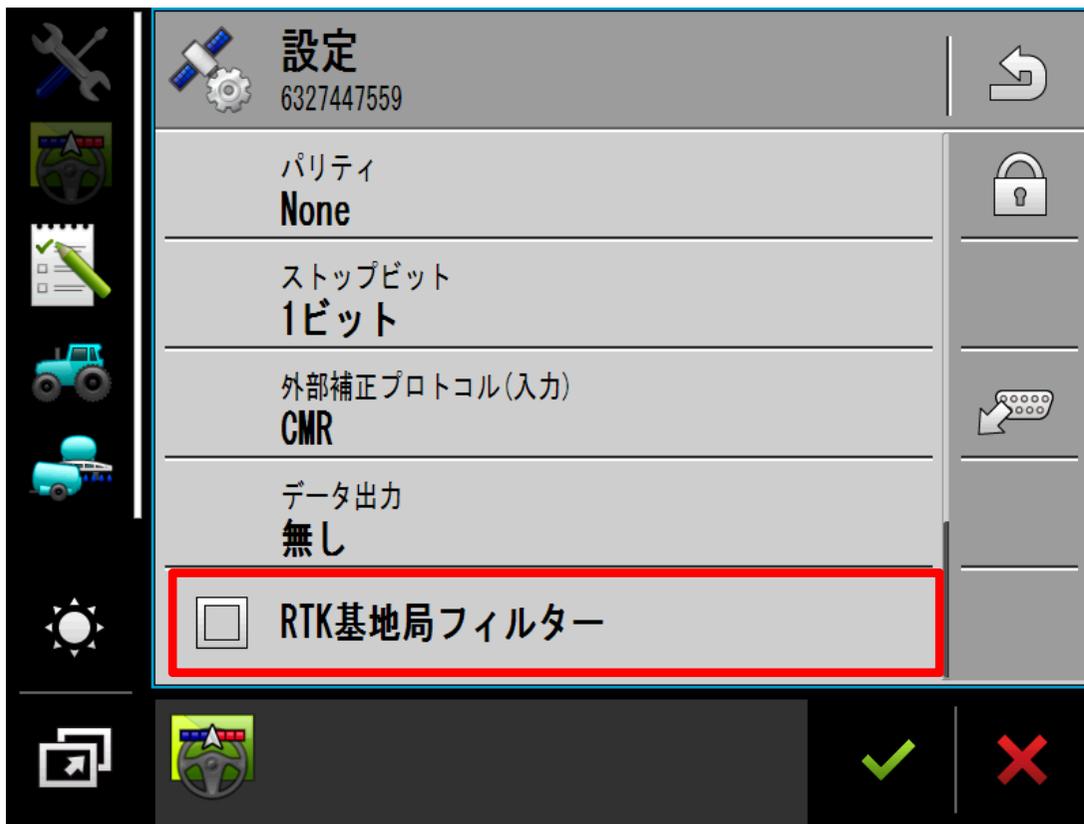
「データ出力」をタップし、
「無し」を選択する

 をタップする



Track-Guide III

1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)

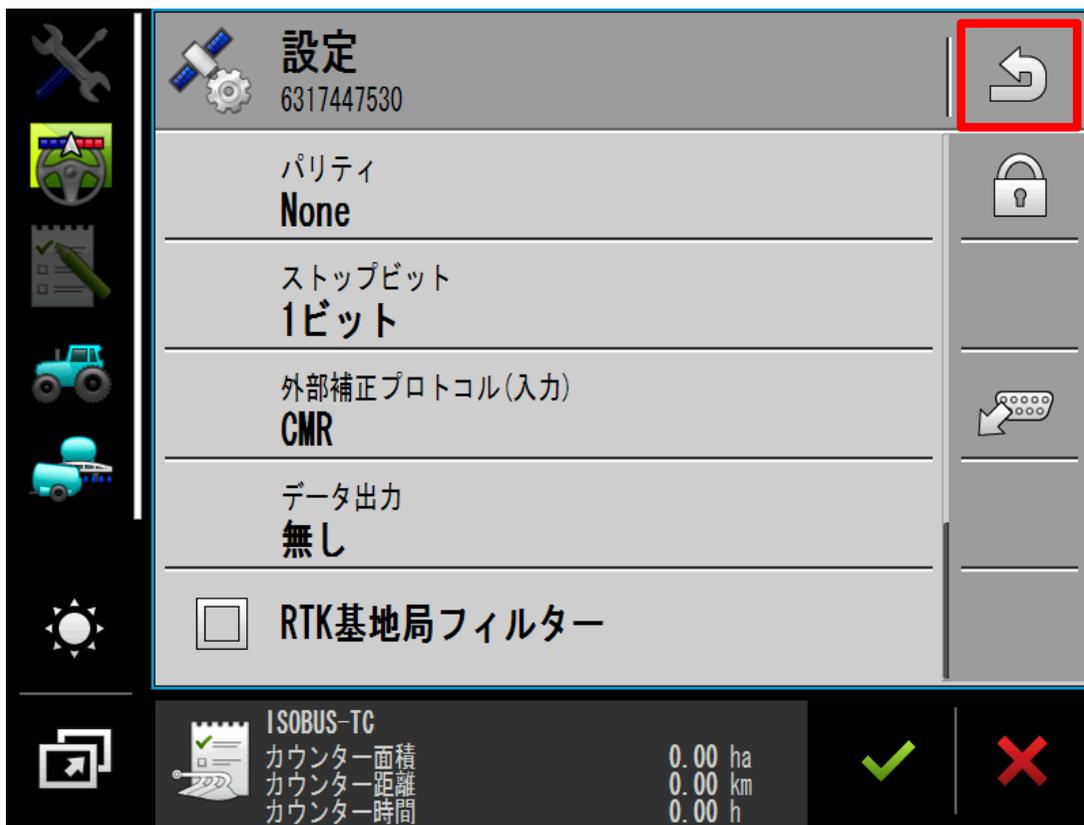


「RTK基地局フィルター」を
オフにする
(チェックマークを外す)
※初期設定は**オフ**になって
いますので、変更しない
で下さい

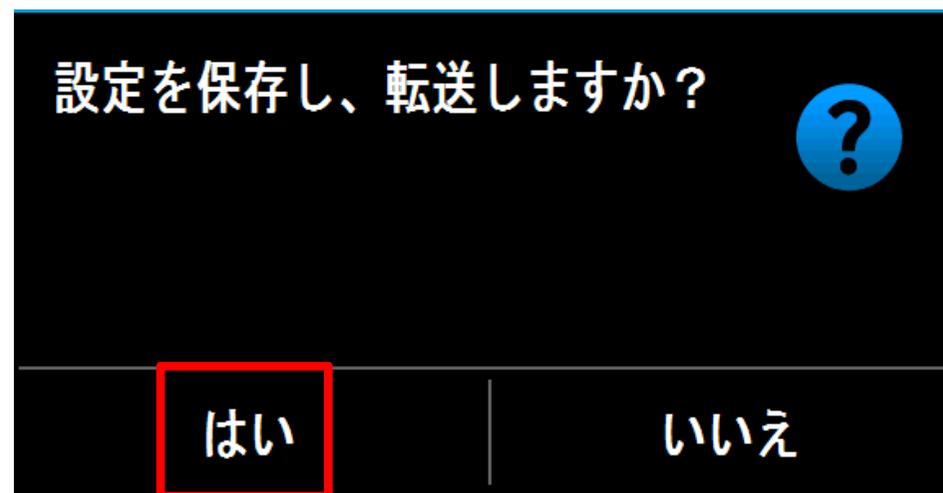
 ※一度でも**オン**のまま設定を保存してしまった場合、
RTKが接続できなくなる場合があります。
その場合は営業担当者までご相談ください。

Track-Guide III

1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



 をタップし、
設定を保存する
「はい」をタップする



Track-Guide III

1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



設定の書き込みが完了したら、再起動をします。

【再起動方法】

- ①電源ボタンを1秒間押し、電源を切る
- ②画面が消えたら10秒待つ
- ③電源ボタンを1秒間押し、電源を入れる
- ④NAV-900との接続が完了するまで待つ

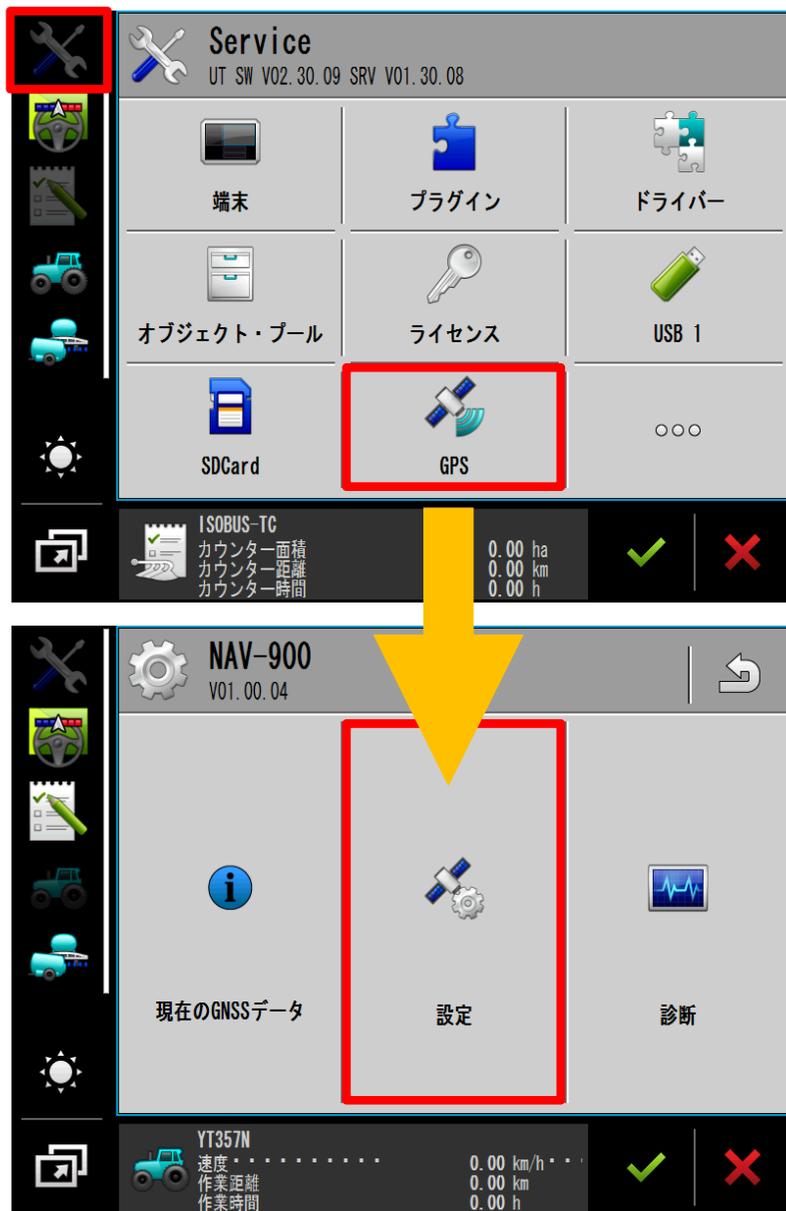


Track-Guide III

2. GNSS設定 (RTX編)

Track-Guide III

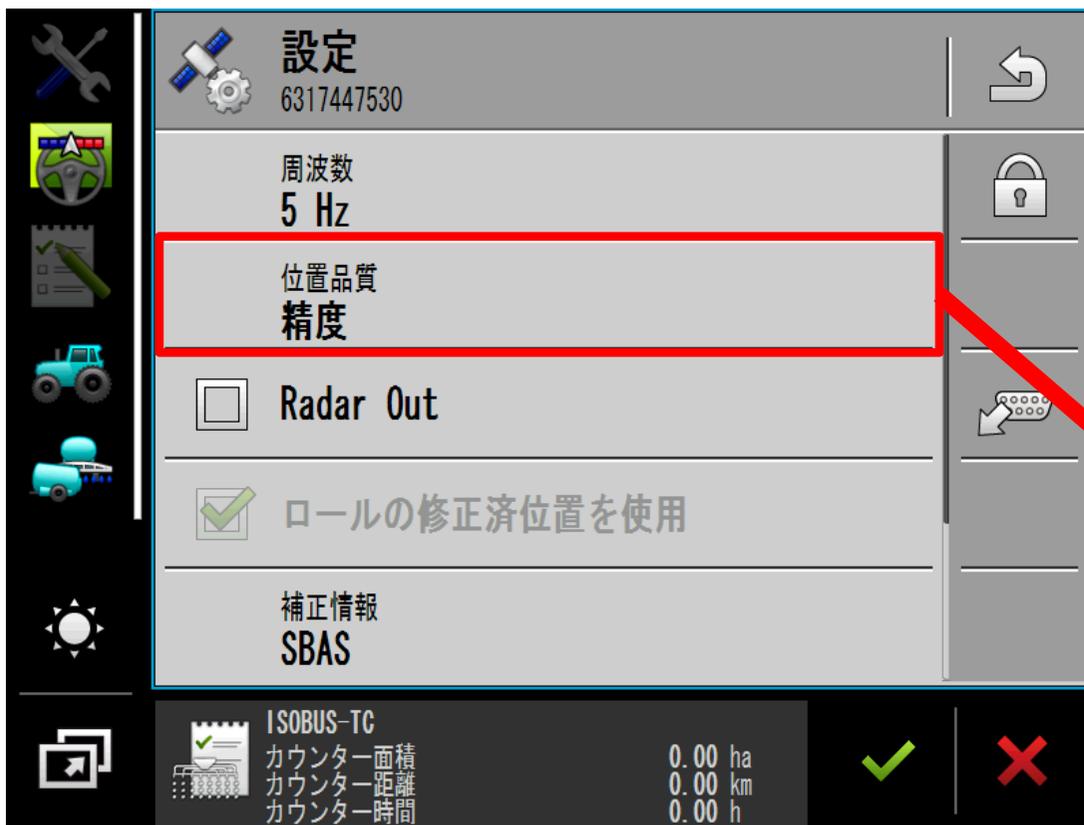
2. GNSS設定 (RTX編)



をタップする

「GPS」をタップする

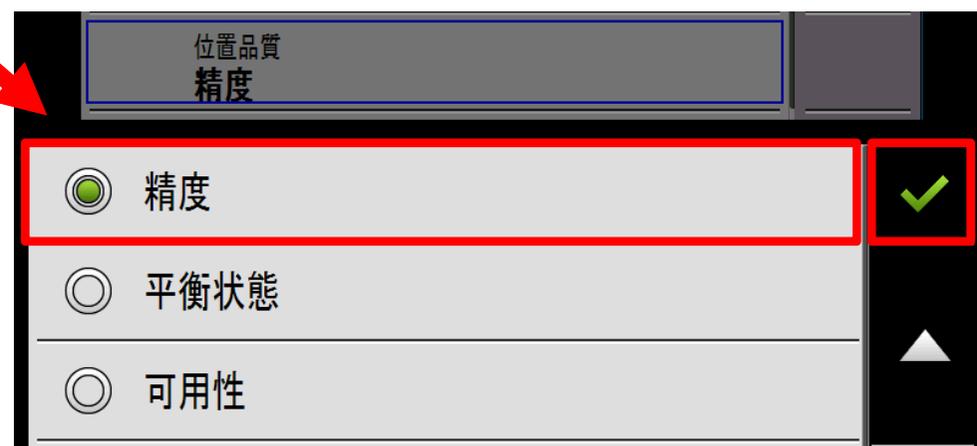
「設定」をタップする



「位置品質」をタップし、

「精度」を選択する

 をタップする

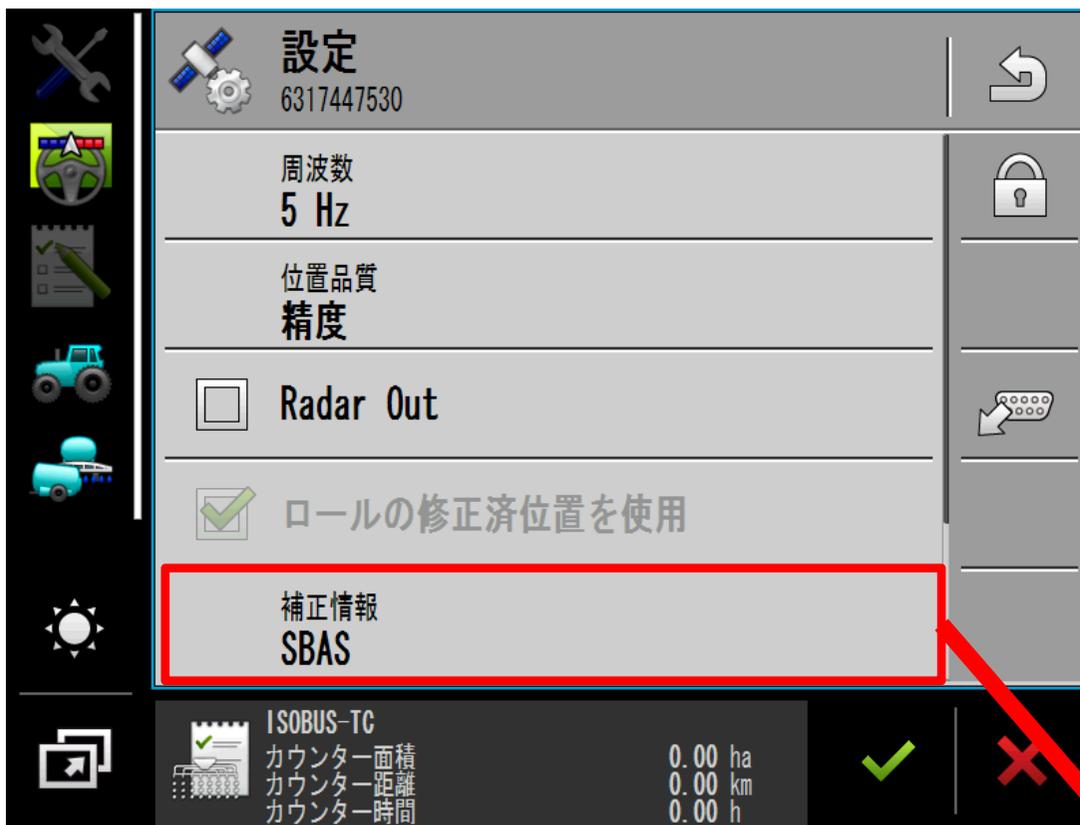


「位置品質」→**精度**がおすすめ

- 精度→精度品質が確保されたのち、Fixをする。
- 平衡状態→精度優先と作業優先の間。
- 可用性→精度品質が確保されている間にFixを優先。

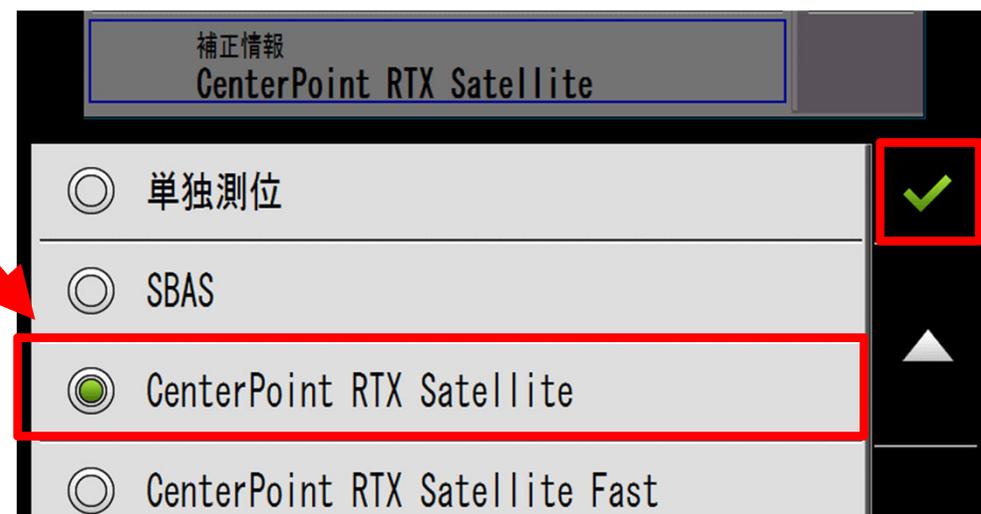
Track-Guide III

2. GNSS設定 (RTX編)



「補正情報」をタップし、
「CenterPoint RTX Satellite」
を選択する

 をタップする



Track-Guide III

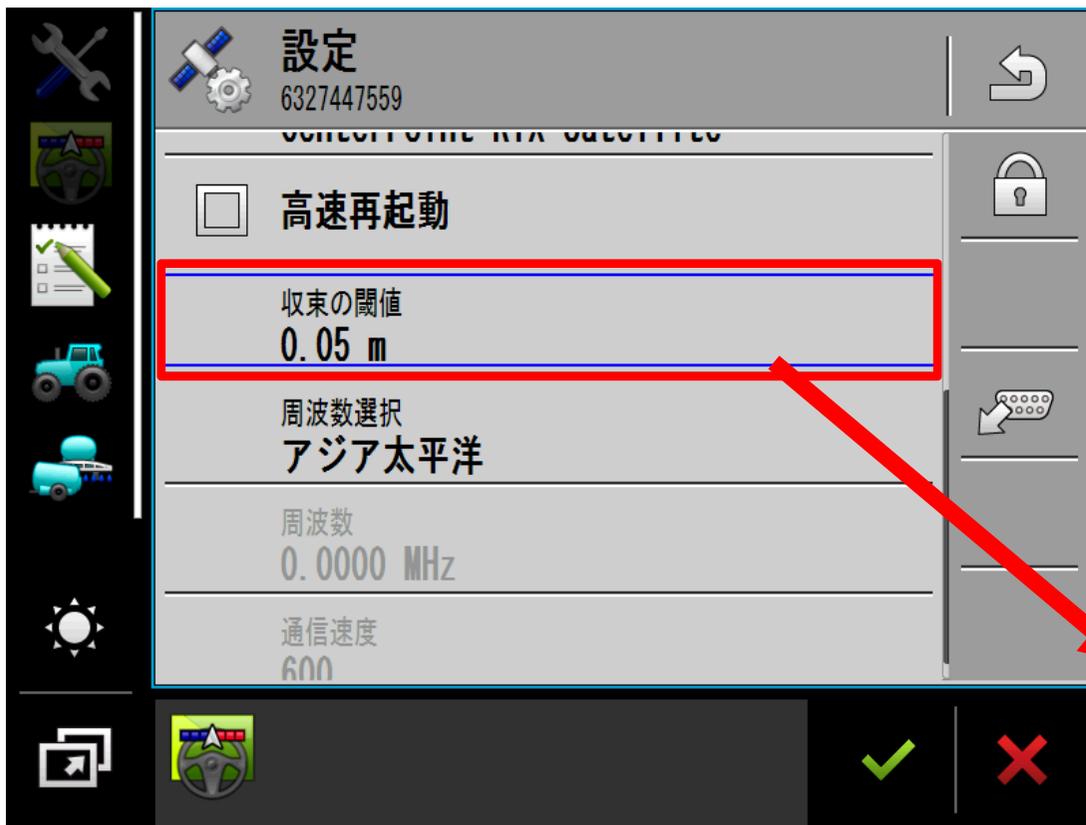
2. GNSS設定 (RTX編)



「高速再起動」を**オフ**にする
(チェックマークを外す)
※初期設定は**オフ**になって
いますので、変更しない
で下さい

Track-Guide III

2. GNSS設定 (RTX編)



「収束の閾値」をタップし、
「0.05」を入力する

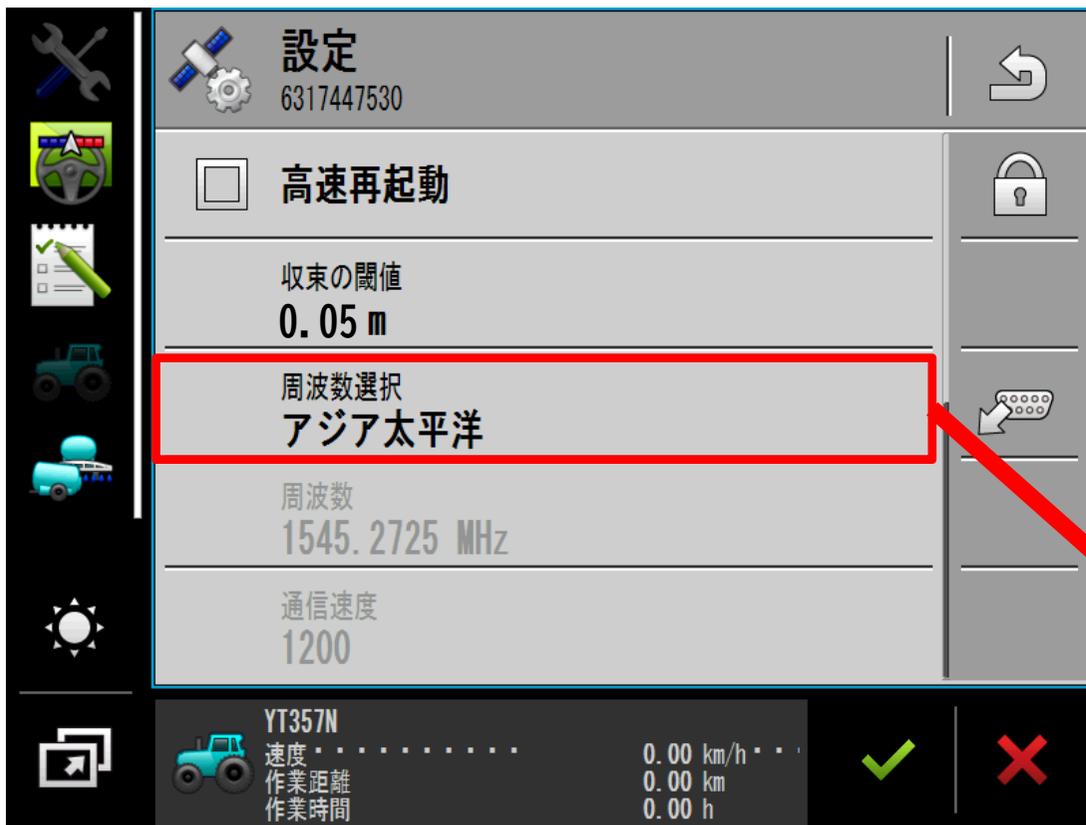
 をタップする



※0.05の場合は、これをタップする

Track-Guide III

2. GNSS設定 (RTX編)



「周波数選択」をタップし、
「アジア太平洋」を選択する

 をタップする



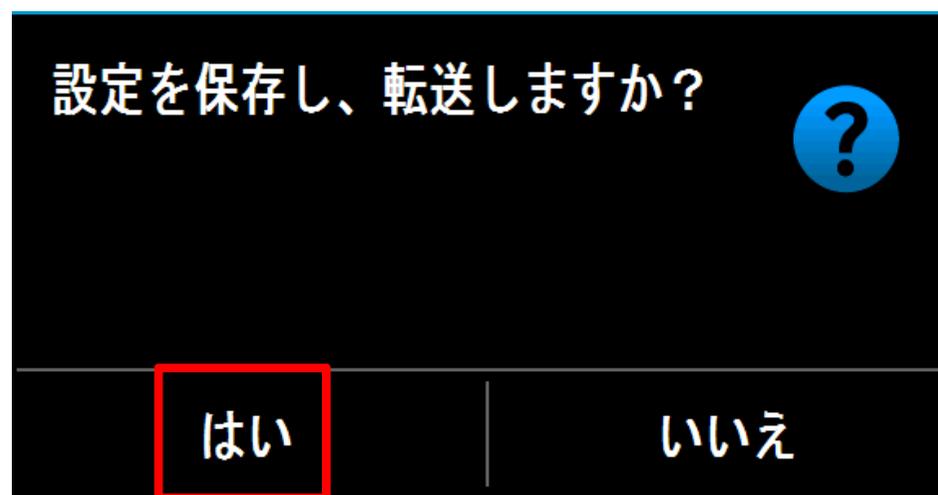
Track-Guide III

2. GNSS設定 (RTX編)



 をタップし設定を保存する

「はい」をタップする



Track-Guide III

2. GNSS設定 (RTX編)



設定の書き込みが完了したら、再起動をします。

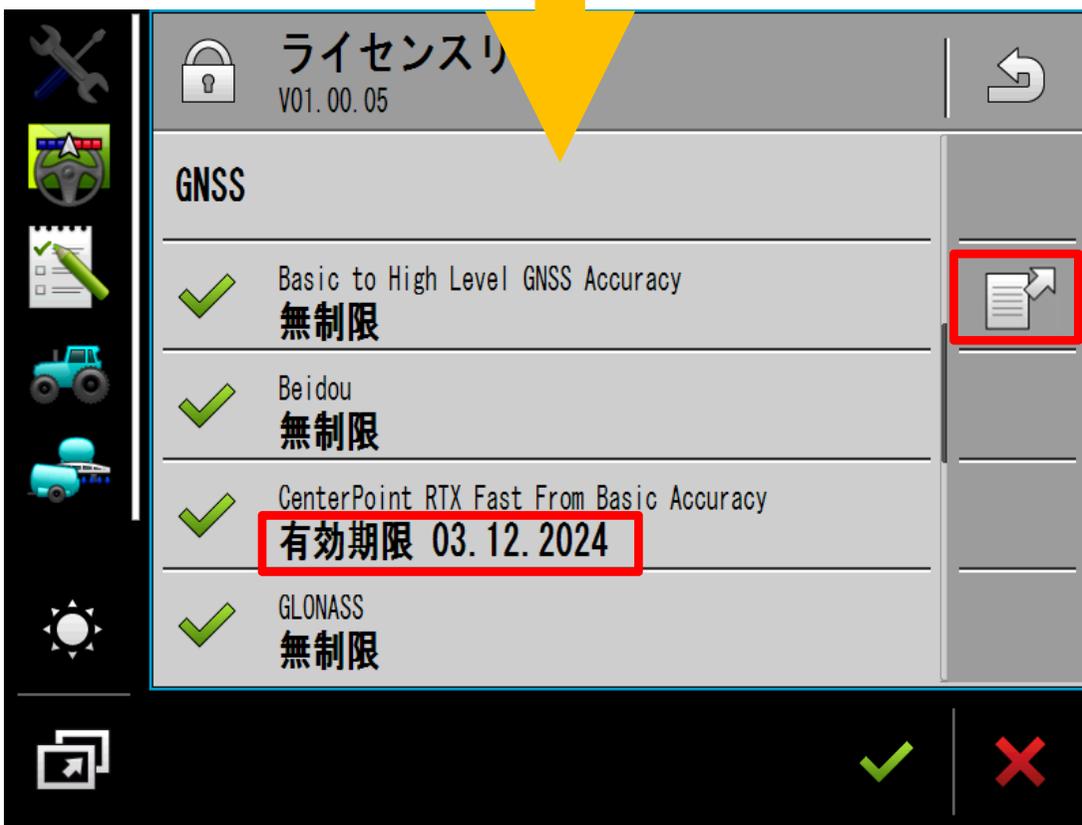
【再起動方法】

- ①電源ボタンを1秒間押し、電源を切る
- ②画面が消えたら10秒待つ
- ③電源ボタンを1秒間押し、電源を入れる
- ④NAV-900との接続が完了するまで待つ

Track-Guide III

2. GNSS設定（RTX編）

- ライセンス有効期限の確認と、更新方法



【有効期限の確認】

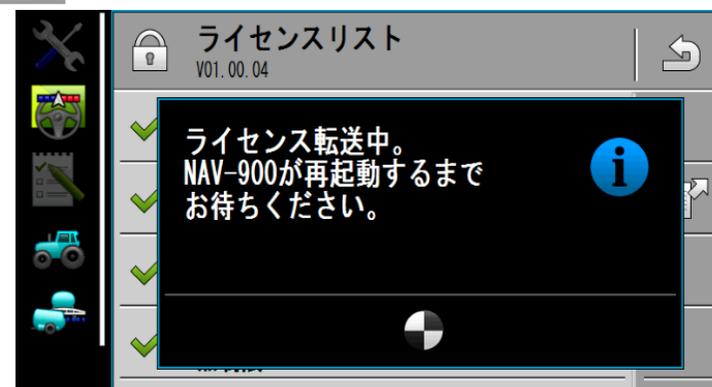
→GPS→設定の順で選択し

をタップする

※ライセンス一覧に有効期限が表示される

【ライセンスの更新】

ライセンスを入れたUSBを挿した状態で をタップする



※ファイル名は「[NAV-900のSN].license」である必要があります



Track-Guide III

3. 車両設定



「設定」をタップする

  の設定は変更しないでください。

設定を変更すると、自動操舵が使用できなくなります。

Track-Guide III

3. 車両設定



「TRACK-Leader AUTO」
をタップする



「車両プロファイル」をタップし、選択する

 をタップする



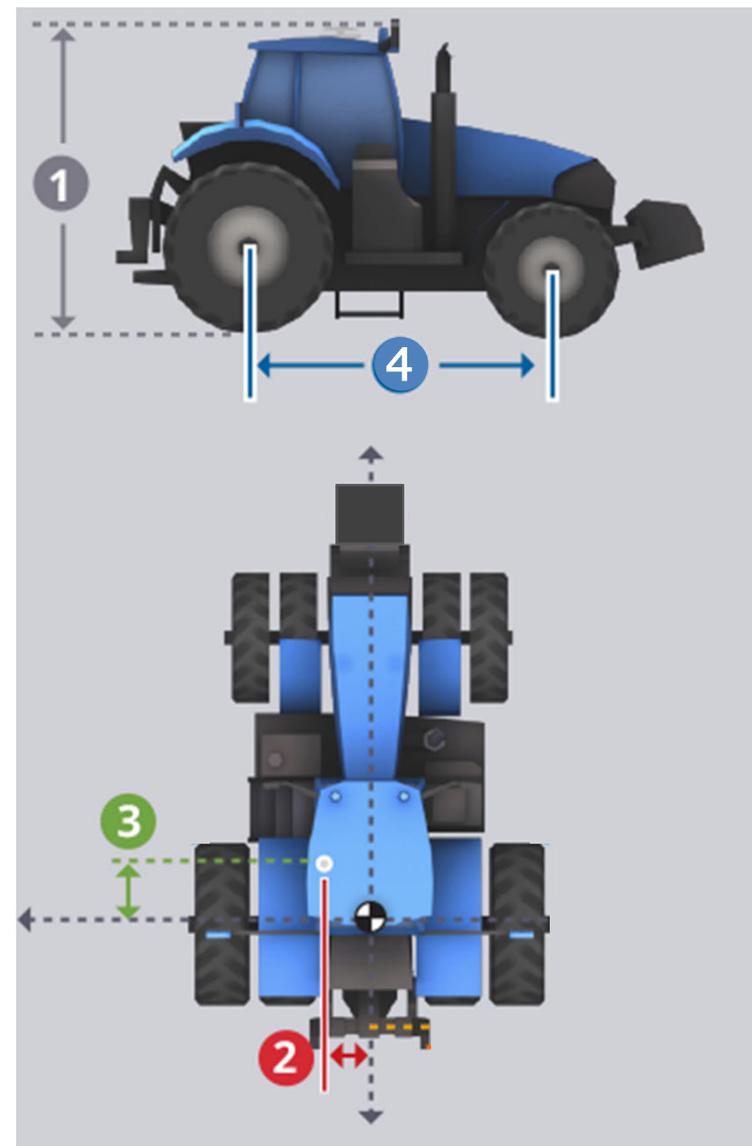
出荷時に4種類のプロファイルを入れてあります
ホイールベースの長さに応じて選択してください

3. 車両設定

車両の寸法を入力します

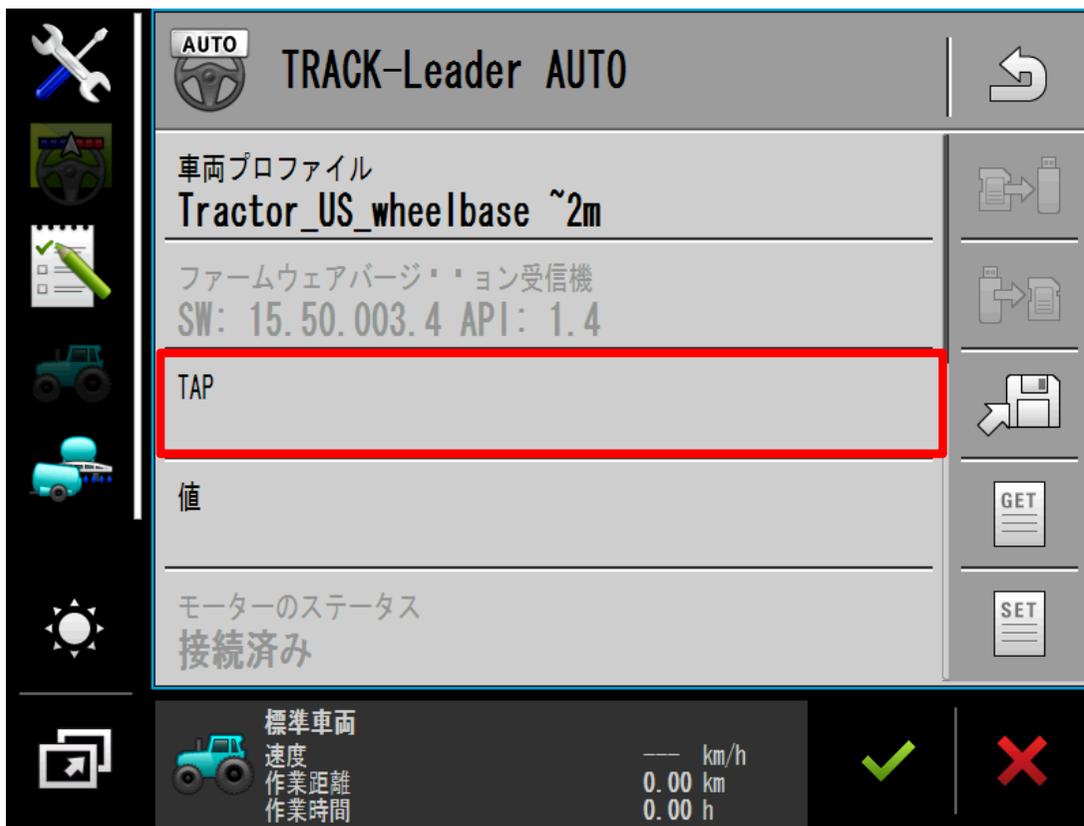
1. 右の絵を参考にしてそれぞれの寸法を測る
2. それぞれに対応する「TAP」コードを入力
※TAPコードは小文字でも可能です
3. 測定した数値を入力（単位はメートルです）

- ① ALZ = アンテナ高さ
(必ずマイナスの値になります)
- ② ALY = アンテナ左右オフセット
(中心より右 → +0m / 左 → -0m)
- ③ ALX = 後輪車軸からアンテナまでの距離
(前方 → +0m / 後方 → -0m)
- ④ VBL = ホイールベース



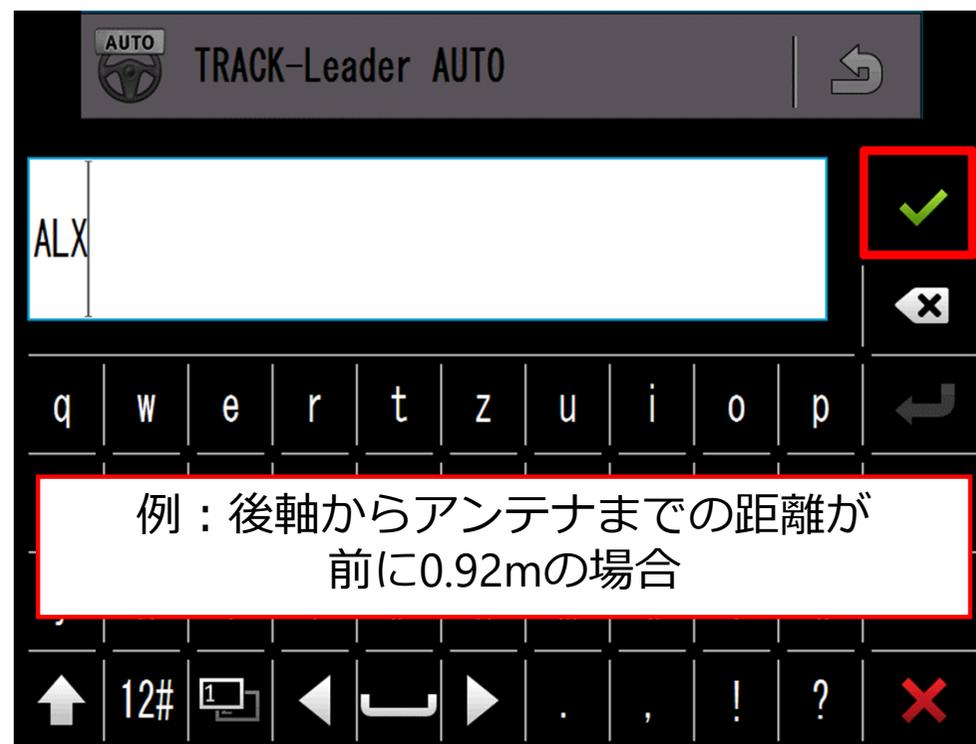
Track-Guide III

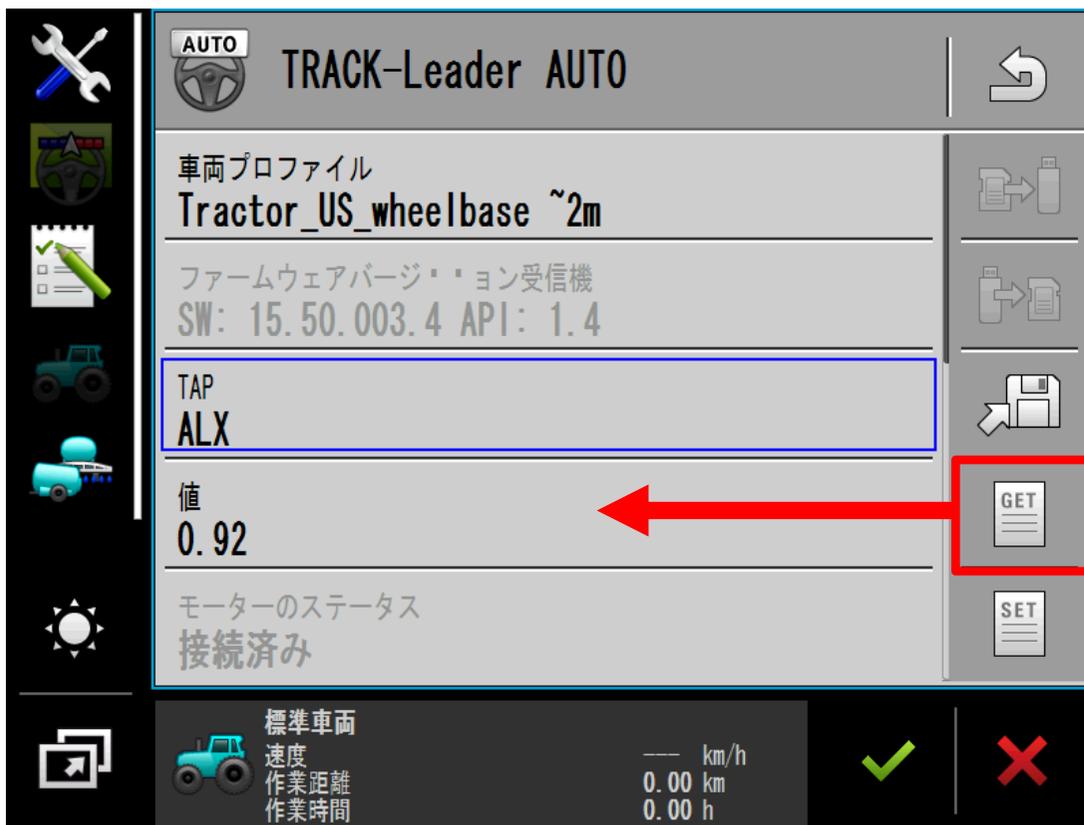
3. 車両設定



「TAP」をタップし、コードを入力する

 をタップする





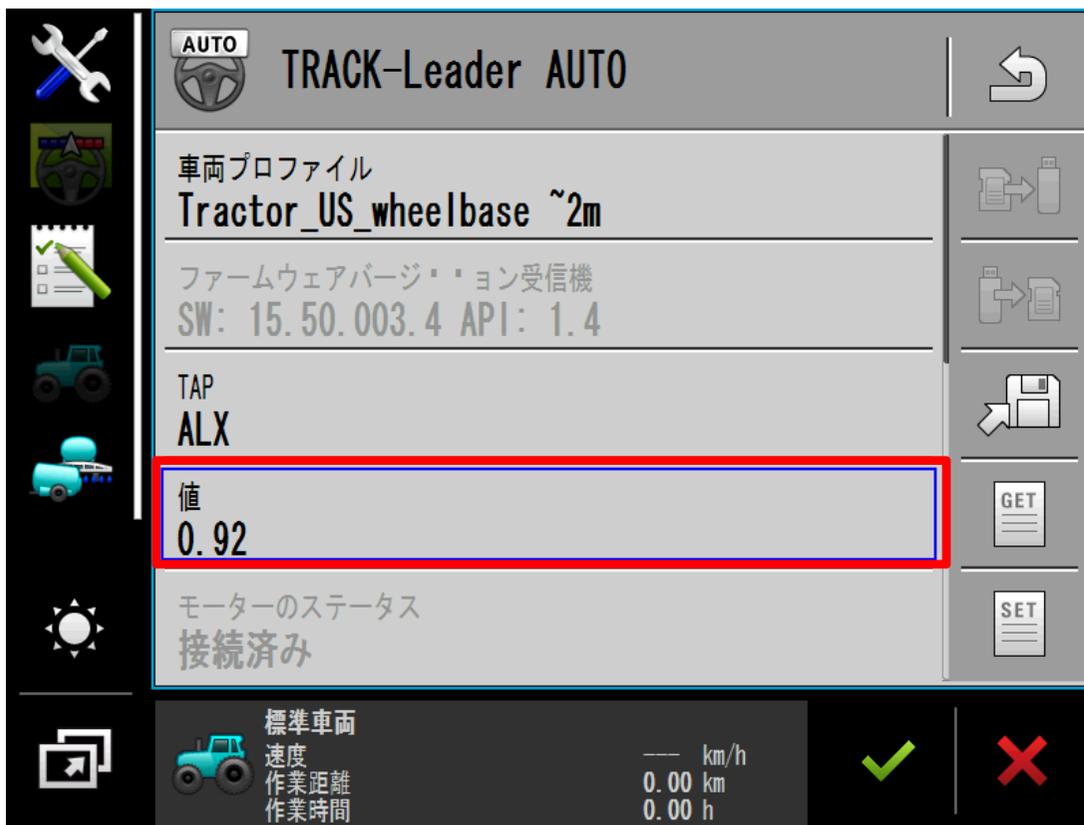
「GET」をタップすると、
「値」に現在の設定値が表示されます

設定値を確認する場合に使います

例：後軸からアンテナまでの距離が
前に0.92mの場合

Track-Guide III

3. 車両設定



「値」をタップし数値を
入力する

 をタップする



Track-Guide III

3. 車両設定

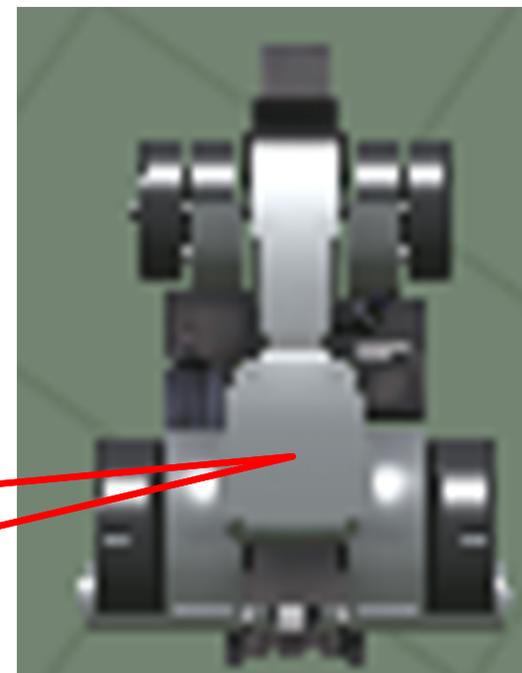


「SET」をタップし、入力した「値」を確定する

例：後軸からアンテナまでの距離が前に0.92mの場合

3. 車両設定

アンテナの方向を横向きや後ろ向きに付けた場合、下記のTAP値を入力して変更します
右図のように配線関係が後ろにくる場合は、変更は不要です



コネクタ 後
IAY = 0

コネクタ 右
IAY = 270

コネクタ 前
IAY = 180

コネクタ 左
IAY = 90



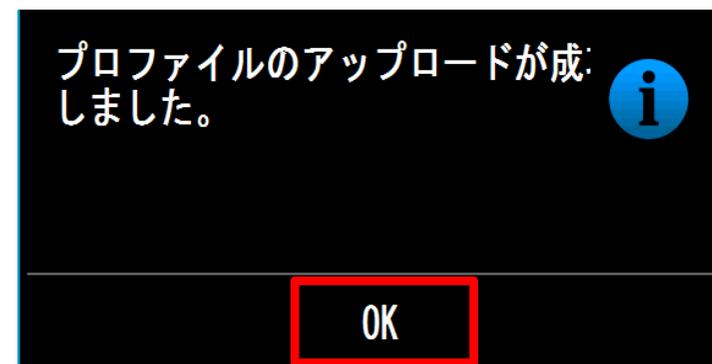
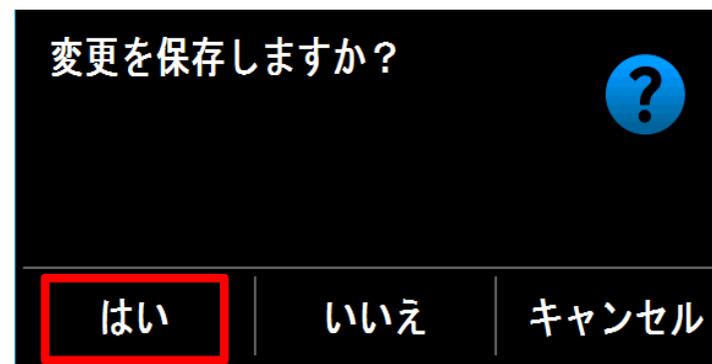
初期設定時



 をタップし設定を保存する

※車両プロフィールを変更した場合も保存が必要です

「はい」をタップする



 **注意** TAP変更後の車両プロフィールはNAV-900に保存されます。

詳細は「車両データの保存・転送」をご参照ください。

Track-Guide III

3. 車両設定



 をもう一度回タップし、はじめの画面に戻す





Track-Guide III

4. 作業機設定

Track-Guide III

4. 作業機設定



をタップする

「設定」をタップする

Track-Guide III

4. 作業機設定

- 作業機データの新規作成



 をタップし、新規で作業機データを作成します

Track-Guide III

4. 作業機設定

- 作業機データの新規作成



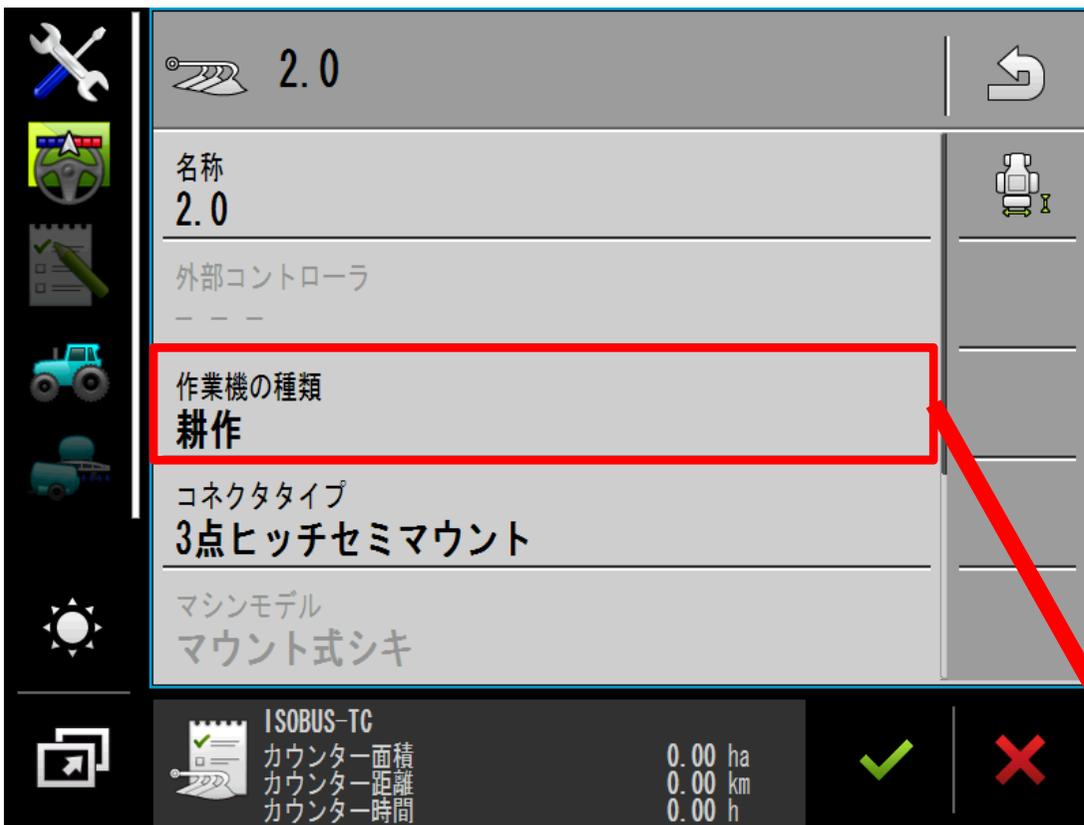
作業機名を入力する

 をタップする

Track-Guide III

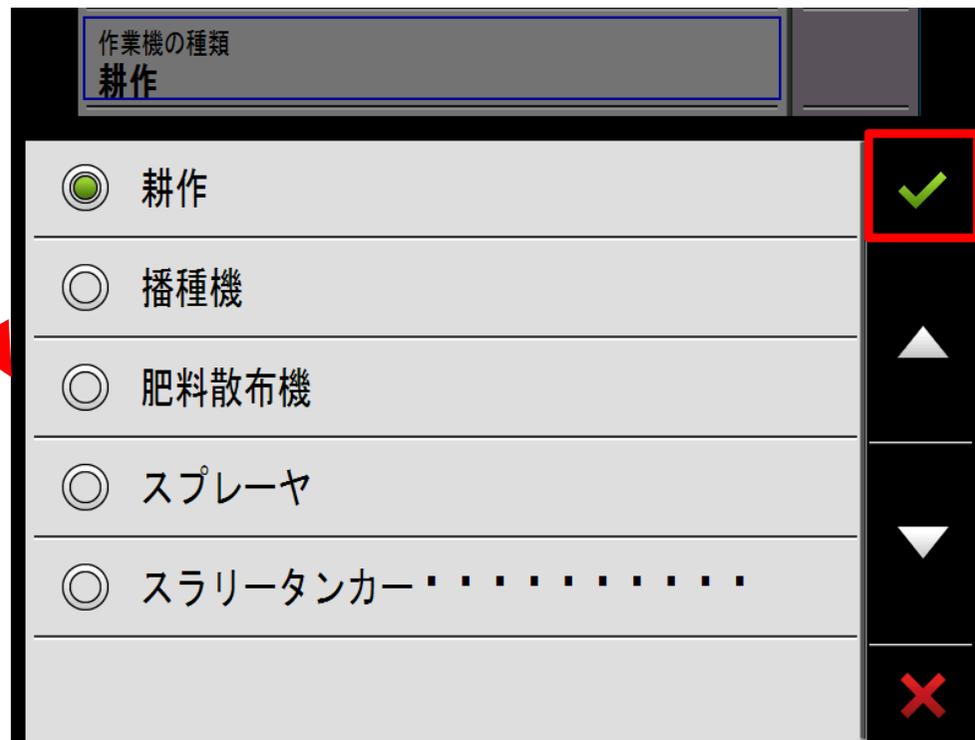
4. 作業機設定

● 作業機データの新規作成



「作業機の種類」をタップし、
種類を選択する

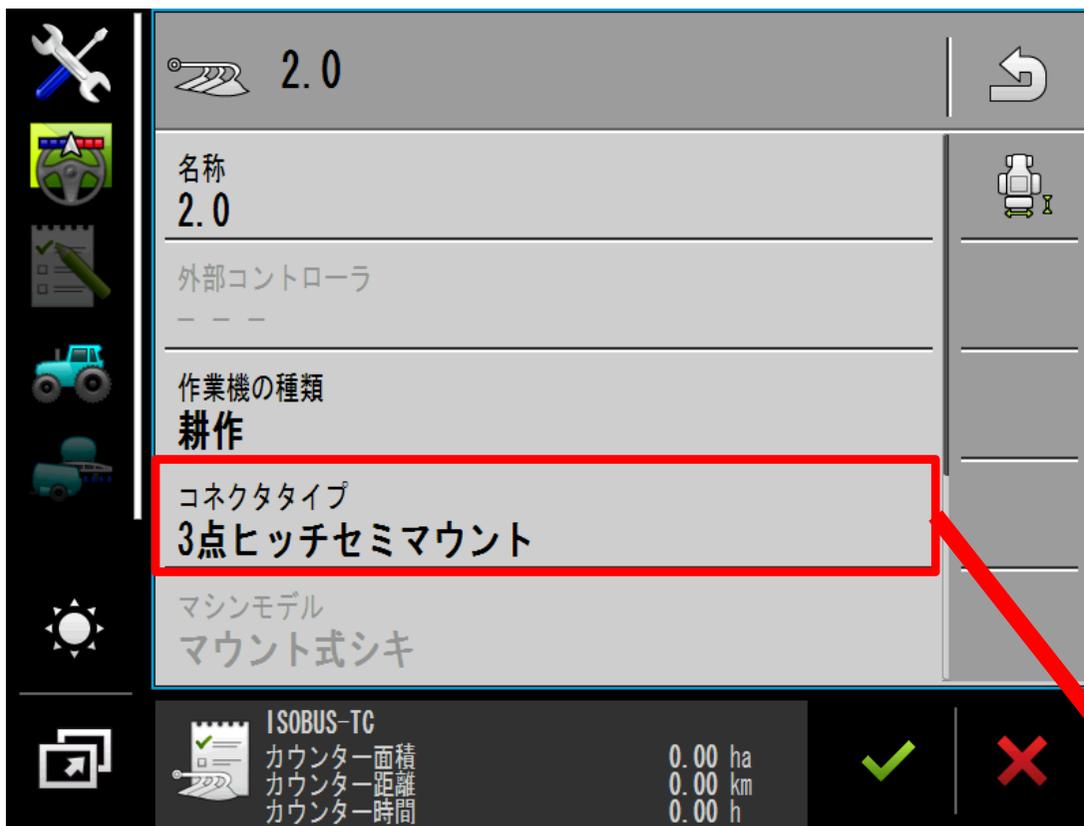
 をタップする



 ※該当する作業機が無い場合、近いもの
を選択して下さい

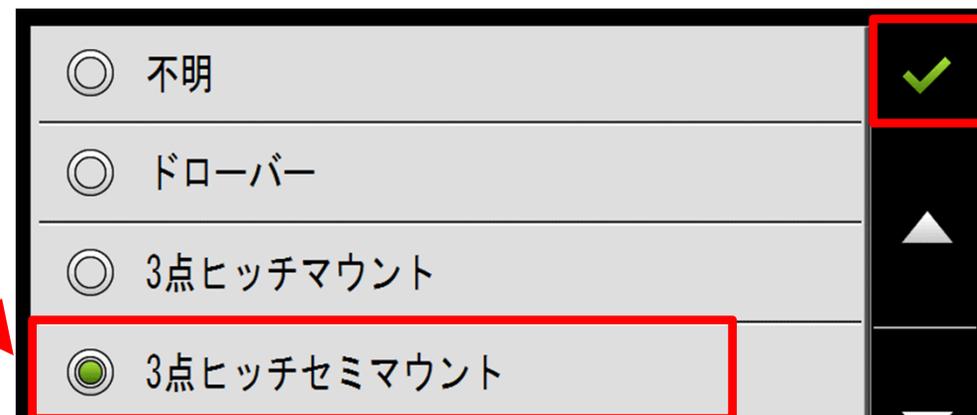
4. 作業機設定

● 作業機データの新規作成



「コネクタタイプ」をタップし、
種類を選択する

 をタップする

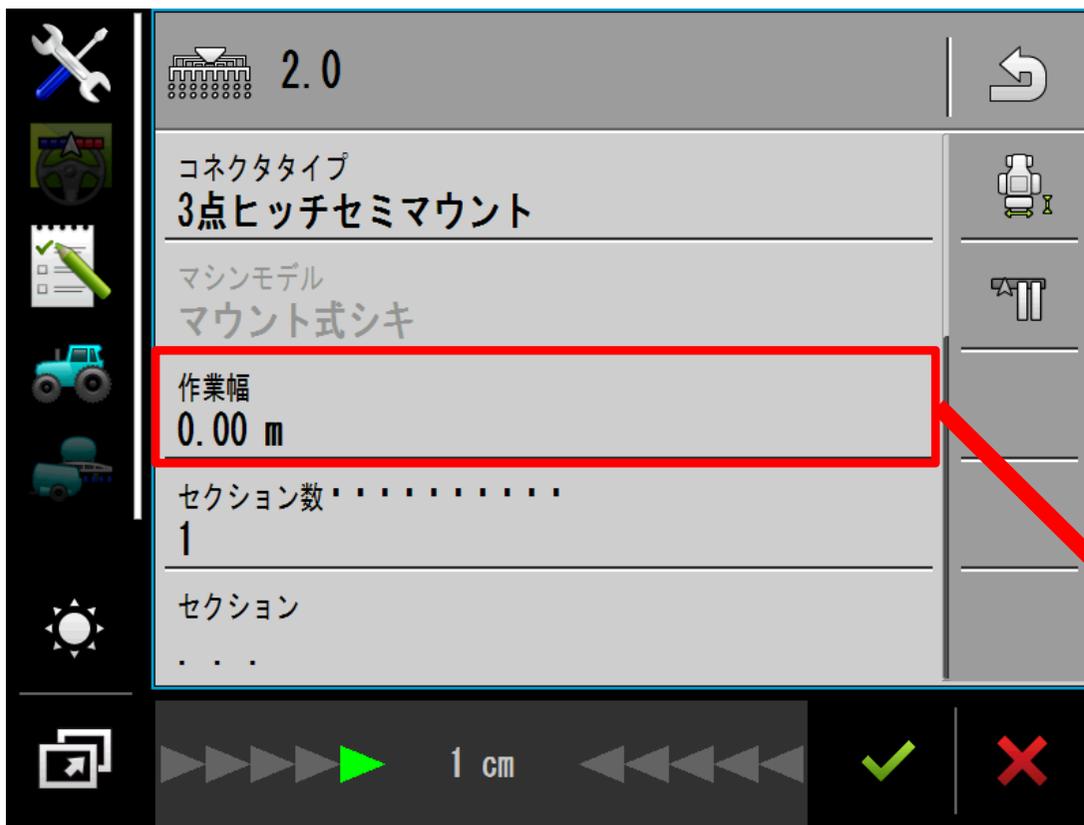


- ・ 3点リンクで固定されている作業機の場合は「3点ヒッチセミマウント」を選択
- ・ 牽引式の場合は「ドローバー」を選択

Track-Guide III

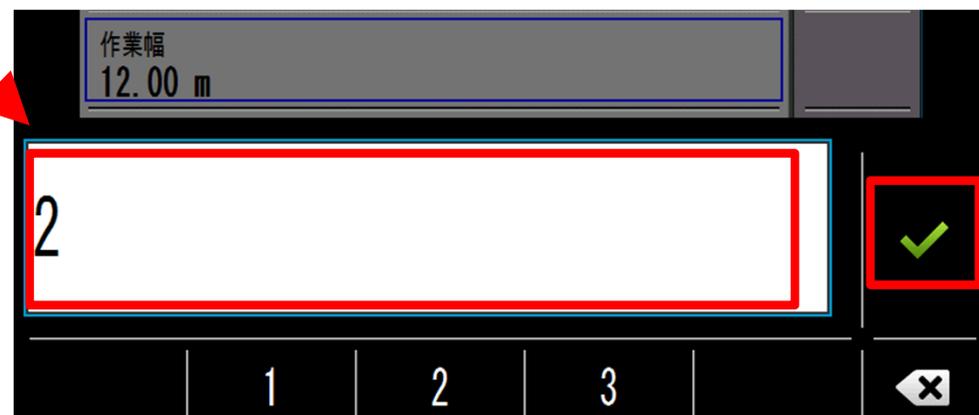
4. 作業機設定

- 作業機データの新規作成



「作業幅」をタップし、
数値(m)を入力する

 をタップする



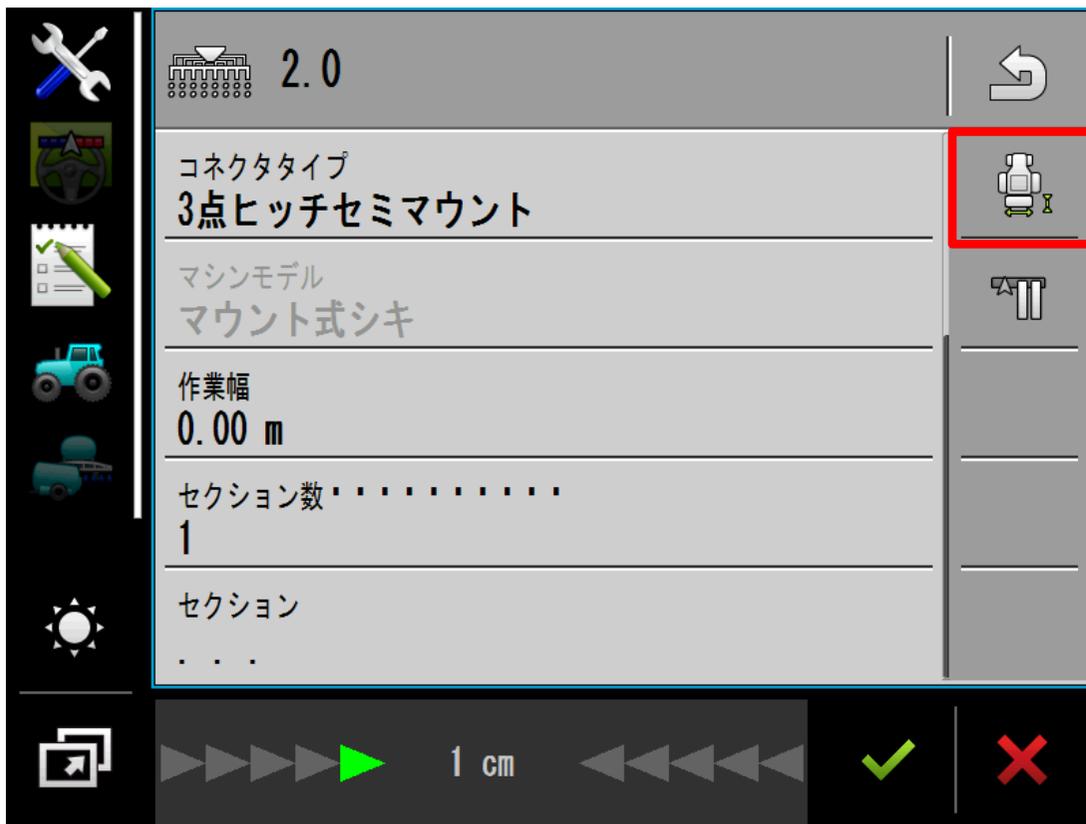
 ※掛け合わせ（重複）したい場合の設定方法は、「実行画面 ナビゲーション設定」に記載されています

ここで設定した数値は、
作業記録の幅（色塗りの幅）になります

Track-Guide III

4. 作業機設定

- 作業機データの新規作成

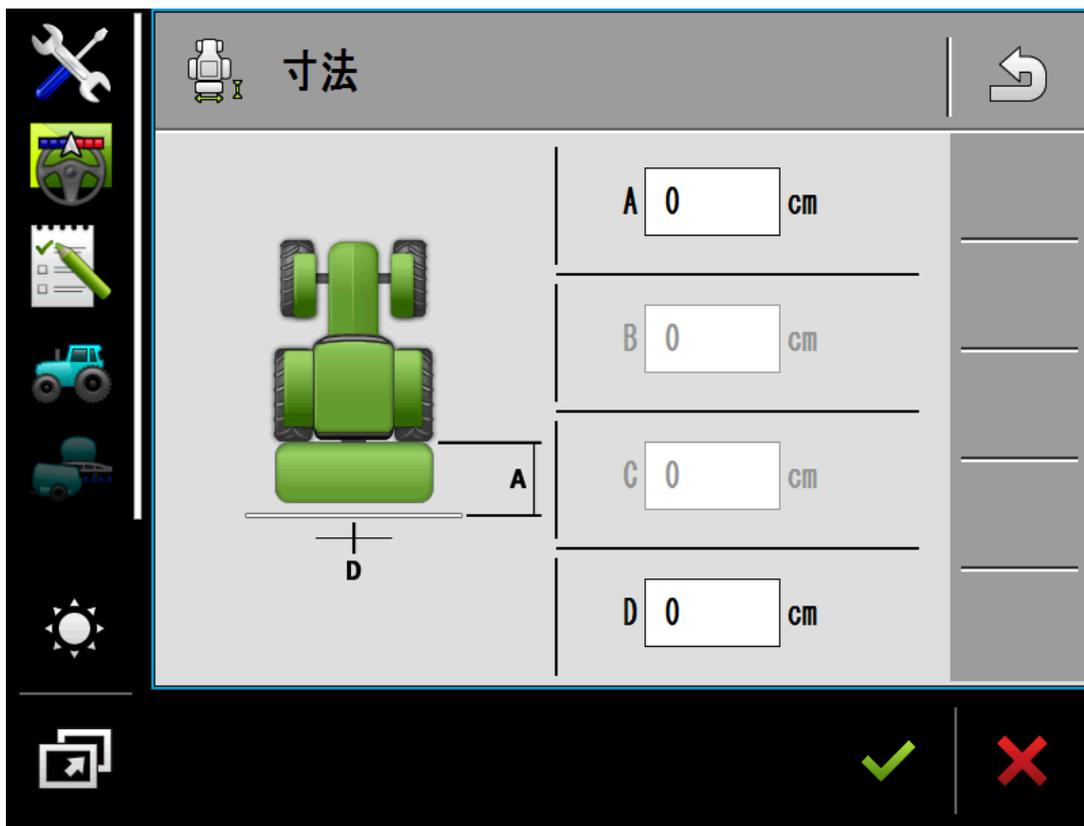


をタップする

Track-Guide III

4. 作業機設定

● 作業機データの新規作成



数値を入力し、終了したら

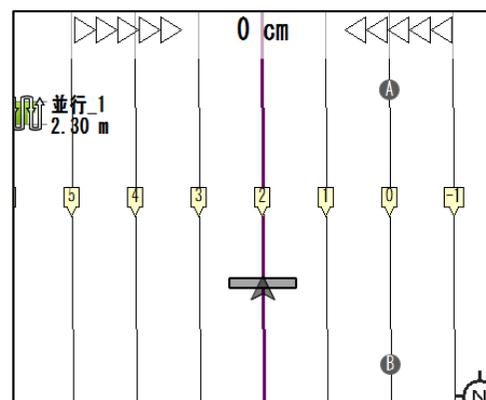
 をタップする

A 後輪車軸から施用ポイントまで

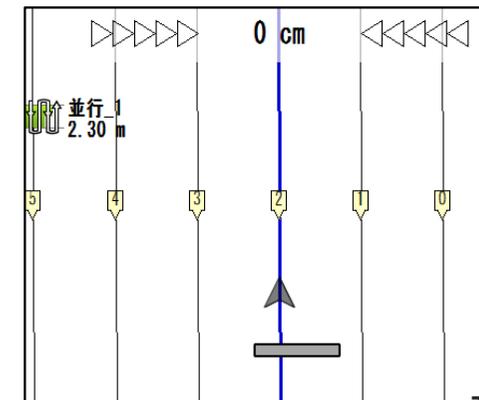
D 作業機オフセット

左→- (マイナス) の値

右→+ (プラス) の値



A:0 / D:0の場合

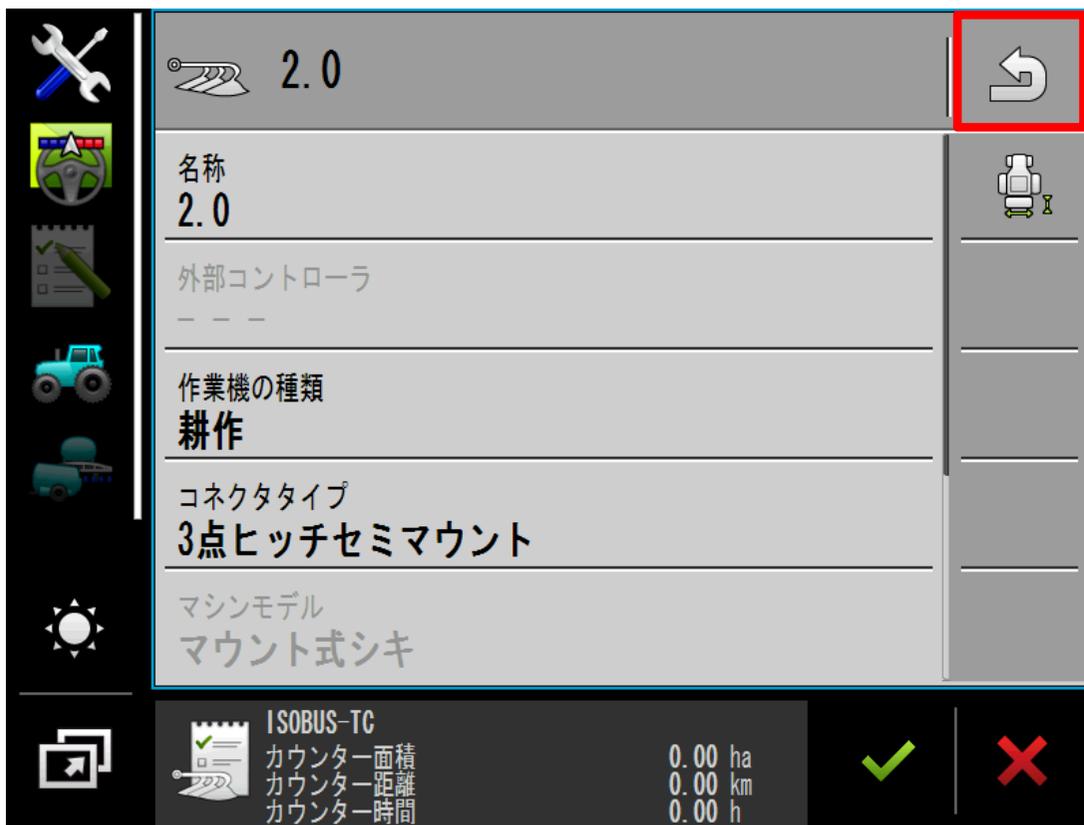


A:100 / D:50の場合

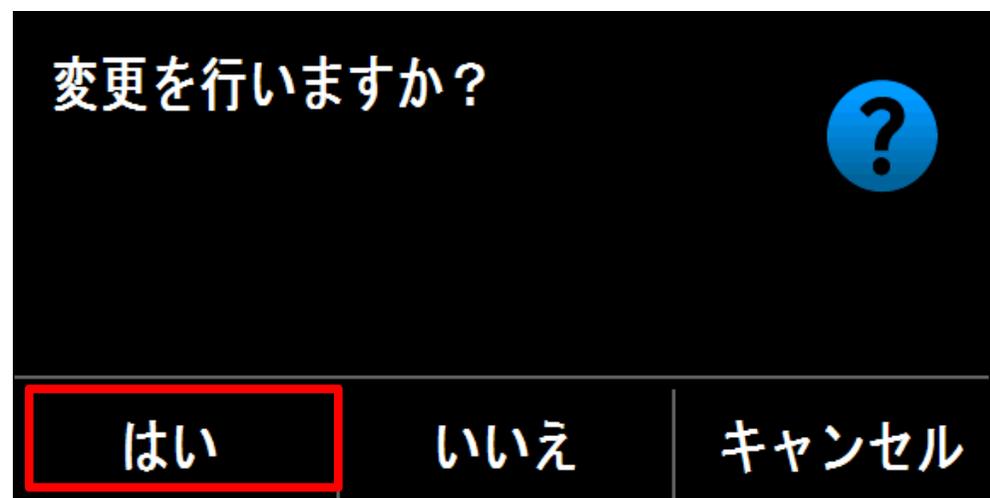
Track-Guide III

4. 作業機設定

- 作業機データの新規作成



 をタップし設定を保存する
「はい」をタップする



Track-Guide III

4. 作業機設定

- 設定の概要

現在有効になっている作業機には緑色の●が表示される

| 設定 | 作業機ID | 高さ | 有効化 | 編集 | 新規作成 | 削除 |
|----|--------------------|------|-------------------------------------|----|------|----|
| | 0xA00400080C41B1C8 | 2.4m | <input checked="" type="checkbox"/> | | | |
| | 0xA00880080C41B1C8 | 2.0 | <input type="checkbox"/> | | | |
| | | | <input type="checkbox"/> | | | |
| | | | <input type="checkbox"/> | | | |
| | | | <input type="checkbox"/> | | | |

設定を保存し、前の画面に戻る

作業機を有効にする

作業機データを編集する

作業機データを新規作成する

作業機データを削除する

ISOBUS-TC
カウンター面積 0.00 ha
カウンター距離 0.00 km
カウンター時間 0.00 h

4. 作業機設定

- 作業機データの切り替え（有効化・無効化）



【作業機を有効化する場合】

使用する作業機を選択した状態で  をタップし、有効化する
「はい」をタップする

4. 作業機設定

- 作業機データの切り替え（有効化・無効化）



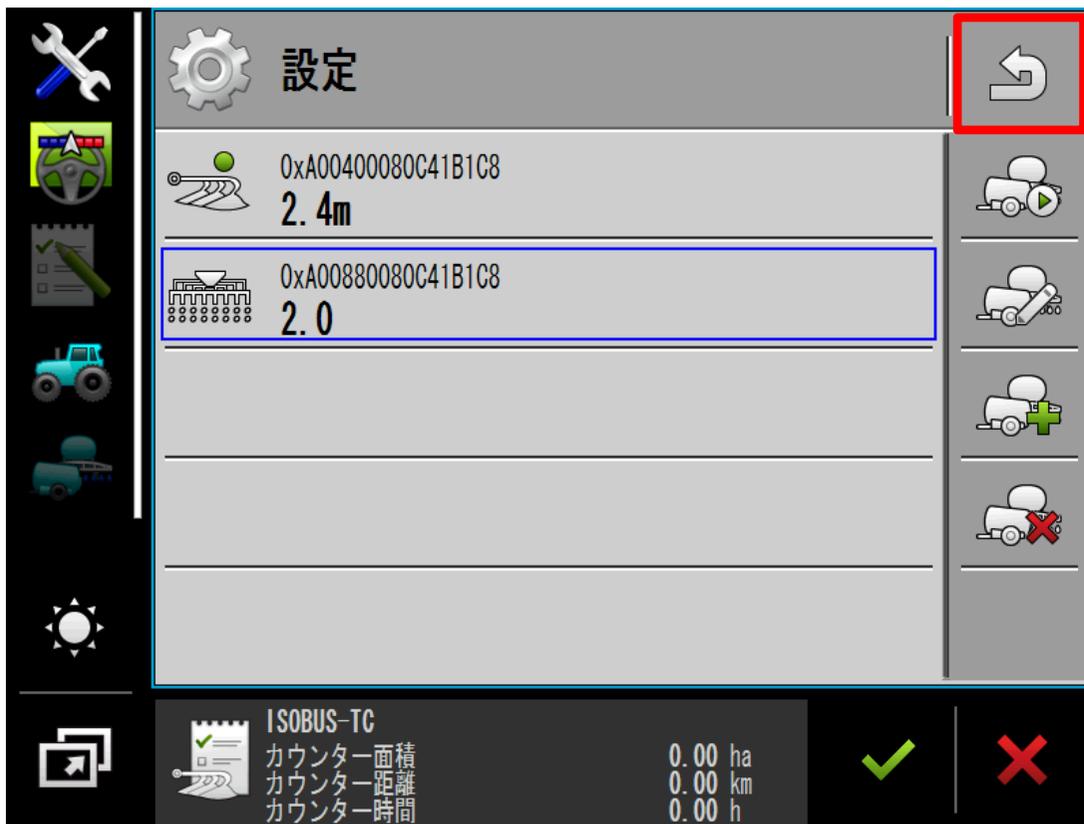
【作業機を無効化する場合】

使用する作業機を選択した状態で  をタップし、無効化する「はい」をタップする

Track-Guide III

4. 作業機設定

- 作業機データの新規作成



有効になっている作業機があることを確認し、

 をタップし設定を保存する

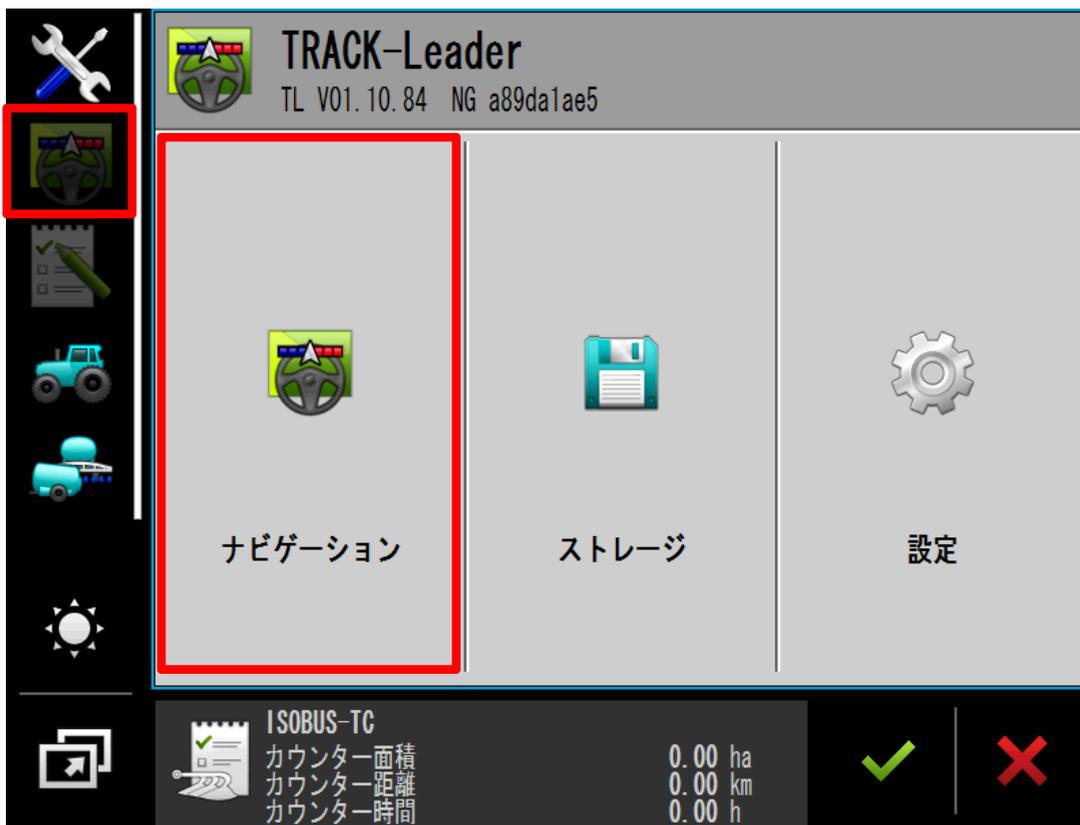


 ※必ず1つの作業機を有効にする必要があります。



Track-Guide III

5. 実行画面



※その他の設定が完了した状態で行ってください。

 をタップする

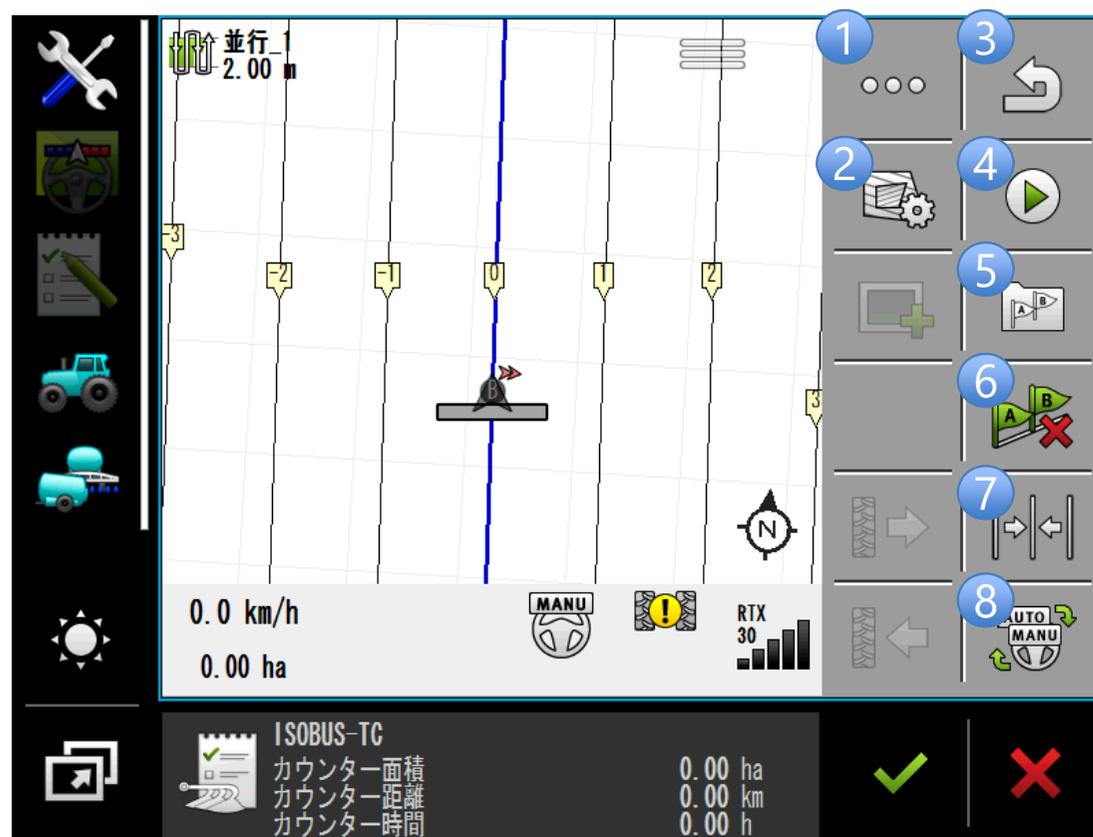
「ナビゲーション」をタップする



安全を確認してください。

「OK」をタップする

- 機能アイコンの概要(1ページ目)



① 次のページへ

② 境界設定

③ 実行画面を終了する

④ 作業記録の開始/停止

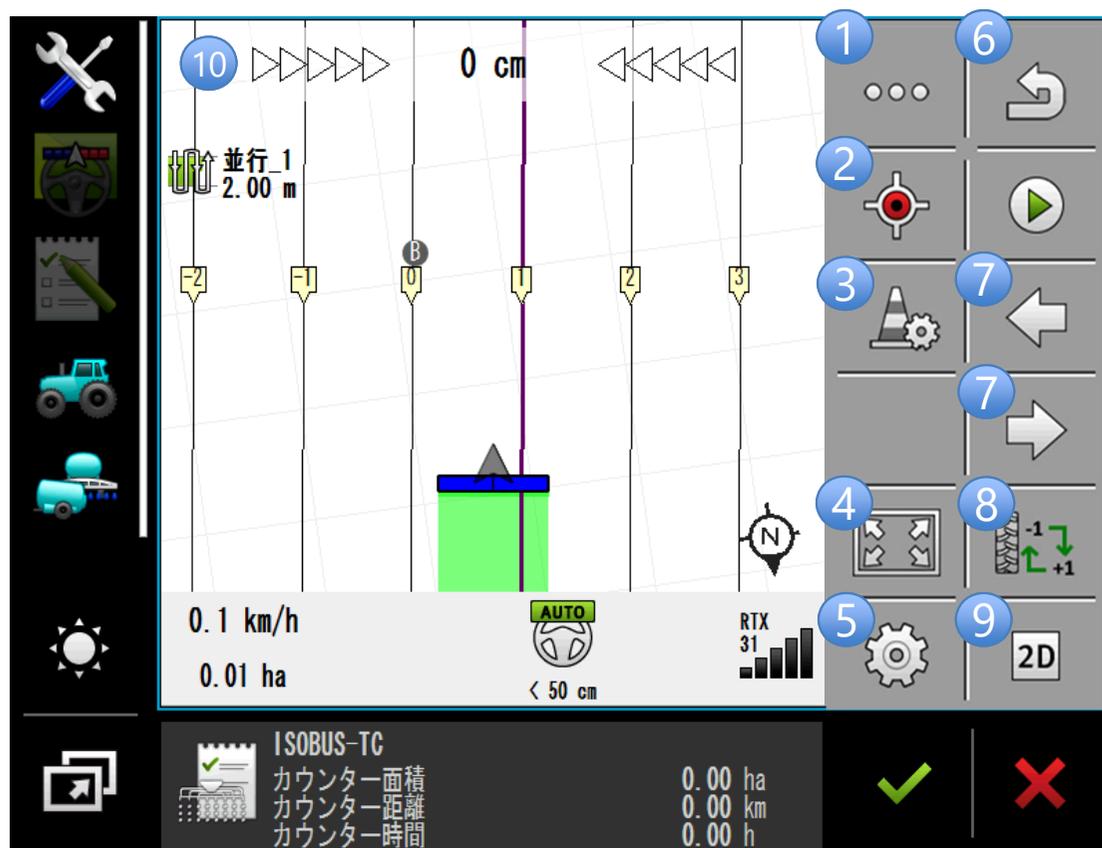
⑤ AB線選択・AB線設定画面

⑥ AB線を作成
AB線削除 (ボタン3秒長押し)

⑦ ガイダンスラインを現在の位置に移動
(ボタンを3秒長押し)

⑧ 自動操舵のオン/オフ

- 機能アイコンの概要(2ページ目)



①1ページ目に戻る

②参照ポイントを作成する
(RTK または Centerpoint RTX 信号を使用する場合は必要ありません)

③障害物にマークを付ける

④実行画面の表示を変更
(フィールド全体が表示されます)

⑤ナビゲーション設定

⑥実行画面を終了する

⑦トラクタを一時的に誘導線の左右に移動する

⑧AB ラインを反転する

⑨2D/3Dの表示モードを変更する

⑩トラッキングエラーの表示 (画面を2回タップする)

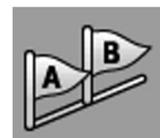
Track-Guide III

5. 実行画面

- AB線の作成



AB線開始地点で、



をタップする



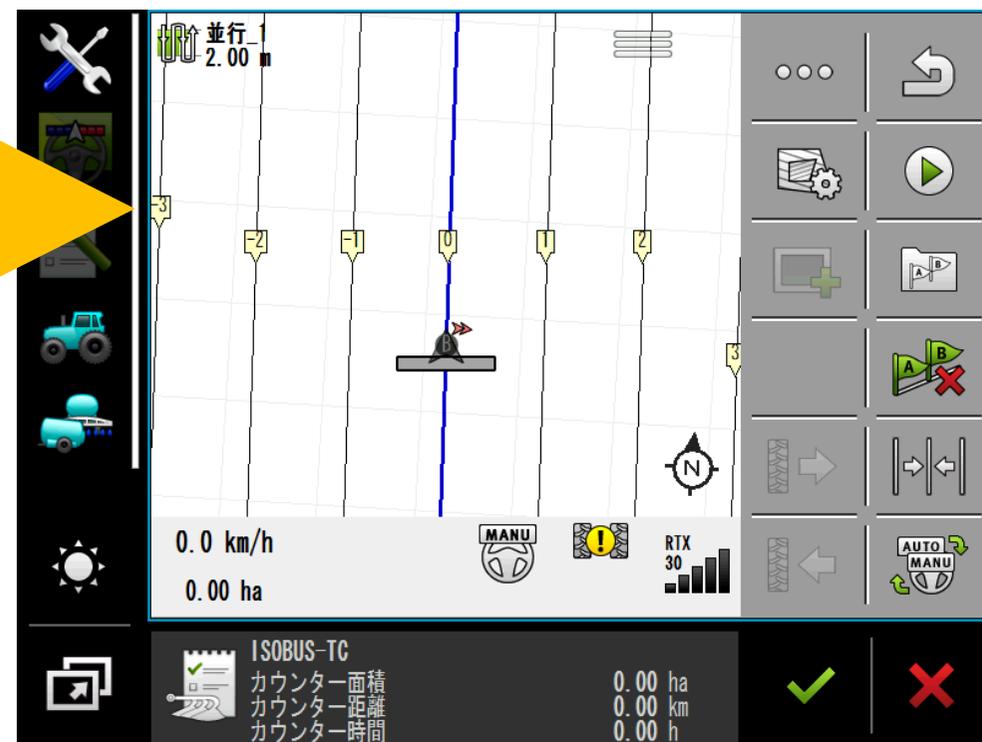
● AB線の作成



B地点（圃場の端）まで移動し、



をタップする



👉 作成したAB線をコピーしたい場合は、この

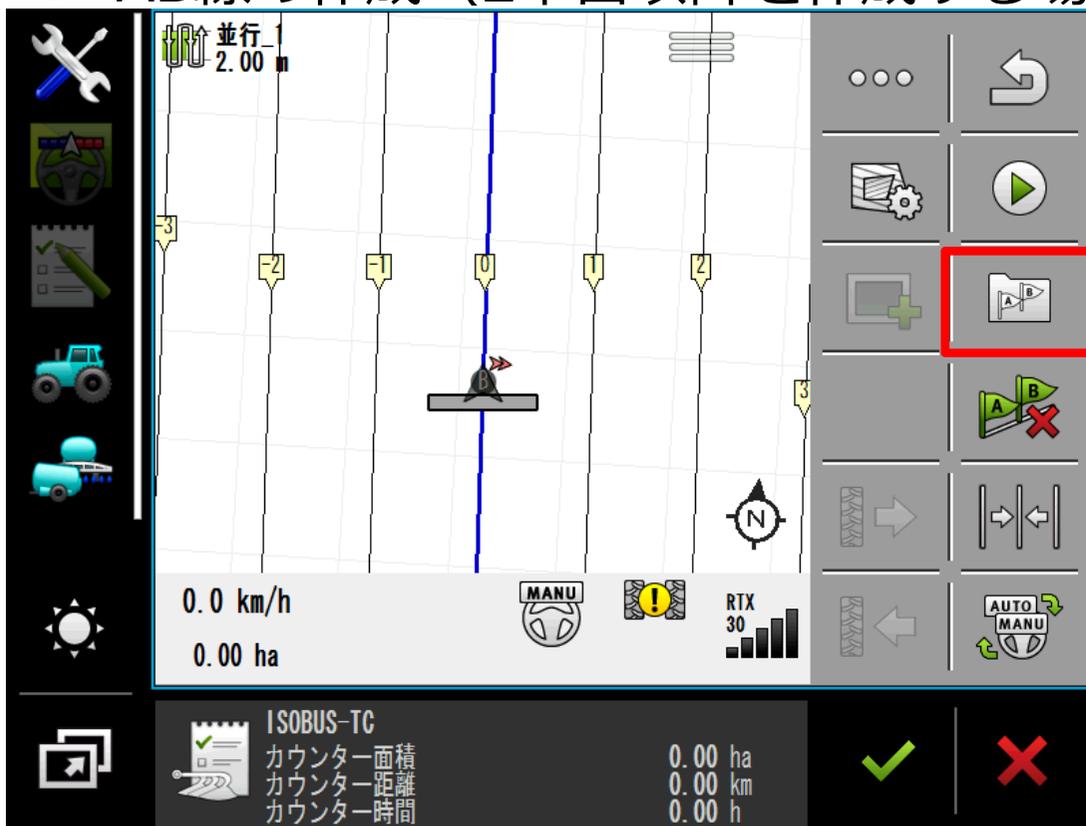
段階でUSBに保存することをお勧めします。

手順は「圃場データの転送」を参照下さい。

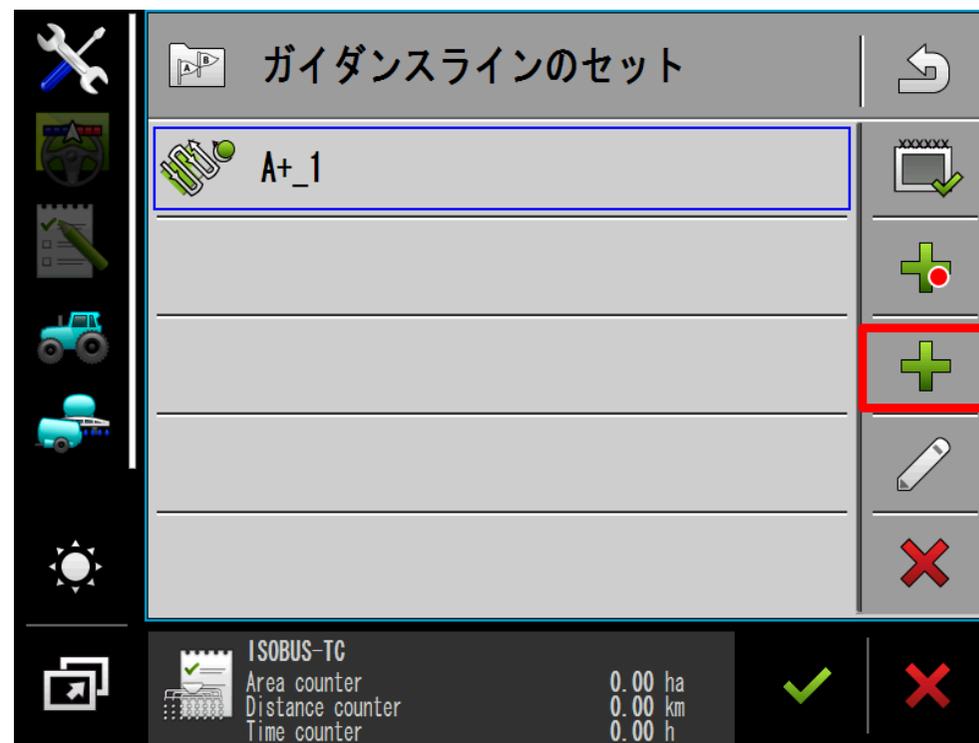
Track-Guide III

5. 実行画面

- AB線の作成（2本目以降を作成する場合）



-  をタップする
-  をタップする



● AB線の作成（2本目以降を作成する場合）



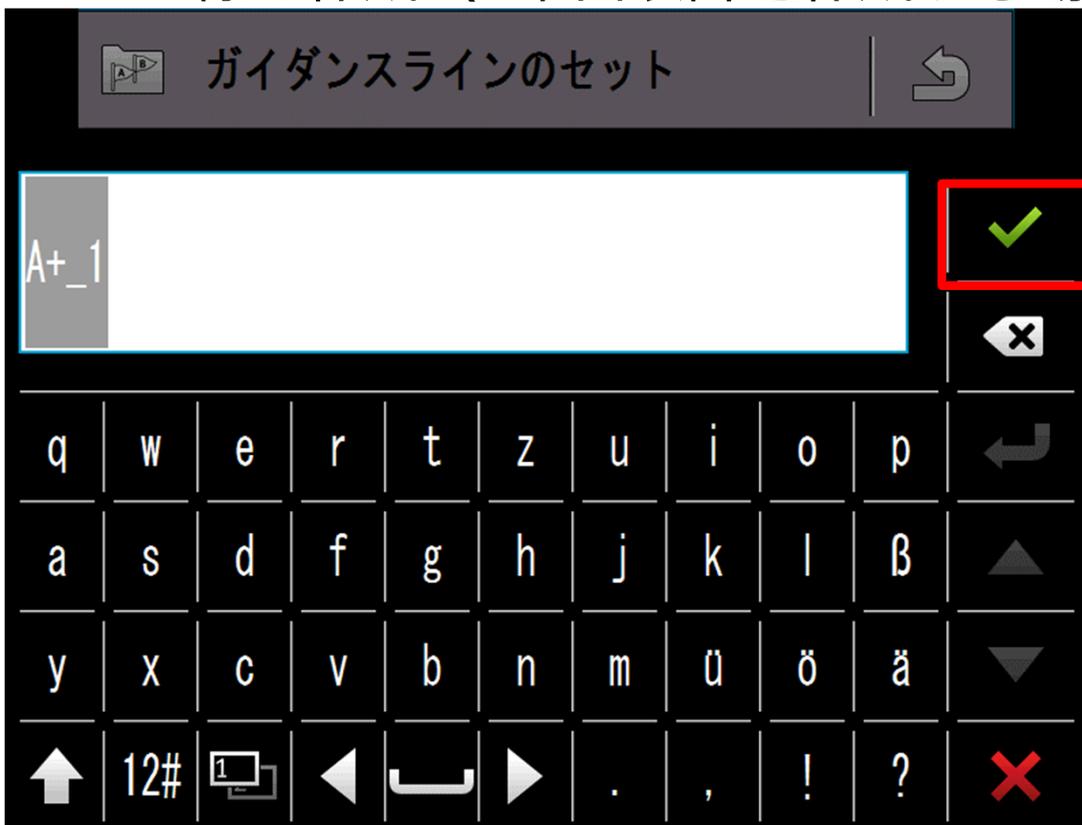
AB線の種類を選択する

 をタップする

- ①A点とB点を指定して作成する直線のAB線
- ②曲線と直線を組み合わせて作成するAB線
- ③AB曲線（移動の軌跡がそのままAB線になる）
- ④方位角を指定して作成するAB線
- ⑤AB曲線と同様ですが、B点を指定する代わりに、旋回を自動で検知して次のラインを生成
- ⑥AB曲線と同様ですが、B点を指定し、次のラインを生成

5. 実行画面

- AB線の作成（2本目以降を作成する場合）



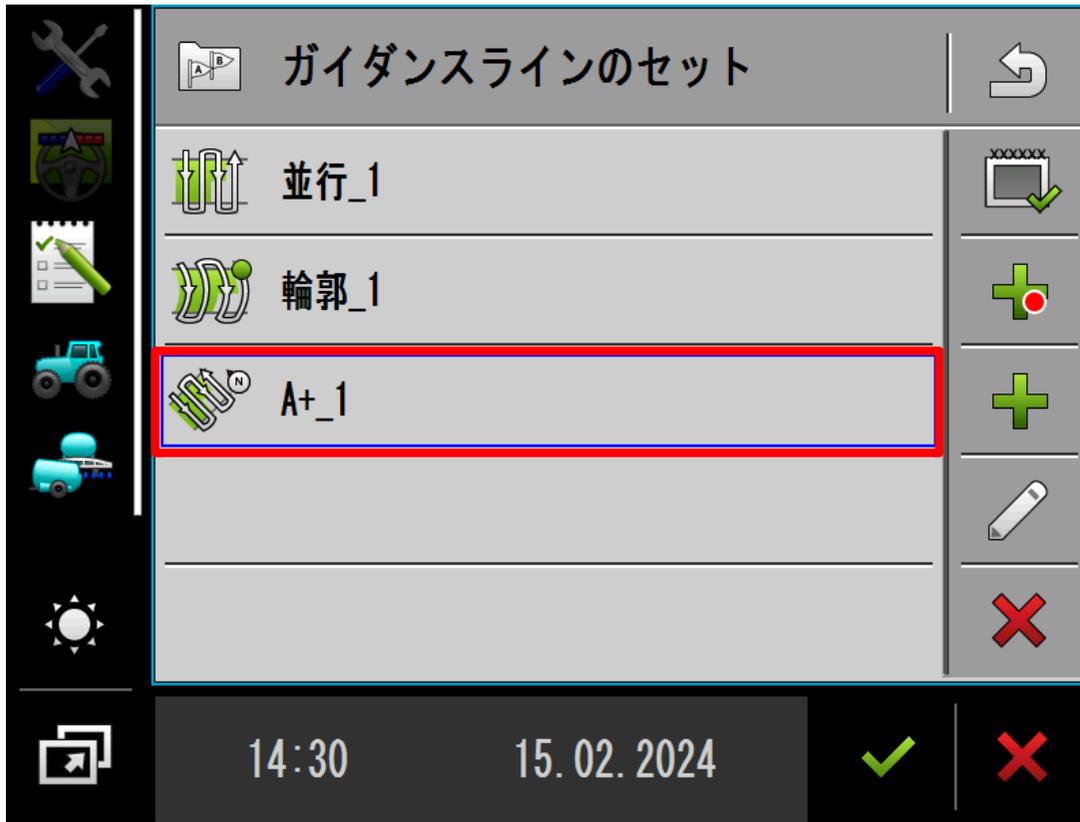
AB線の名前を入力する

 をタップする

Track-Guide III

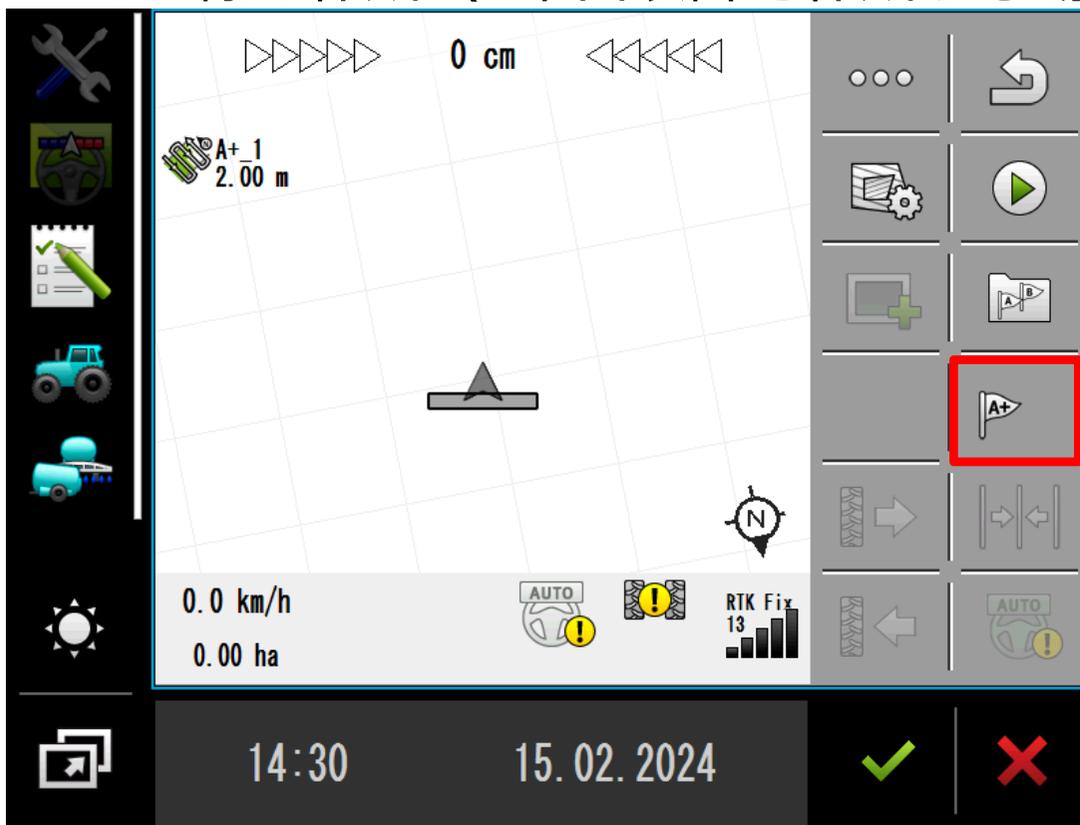
5. 実行画面

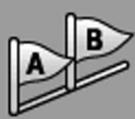
- AB線の作成（2本目以降を作成する場合）



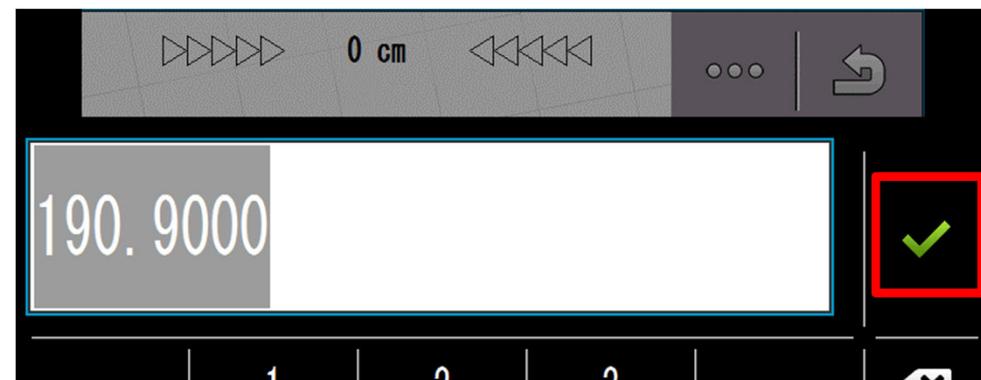
入力した名前のAB線がリストに追加されるので、新しく追加されたデータを**2回タップ**する

- AB線の作成（2本目以降を作成する場合）



 や  をタップし、
AB線を作成する

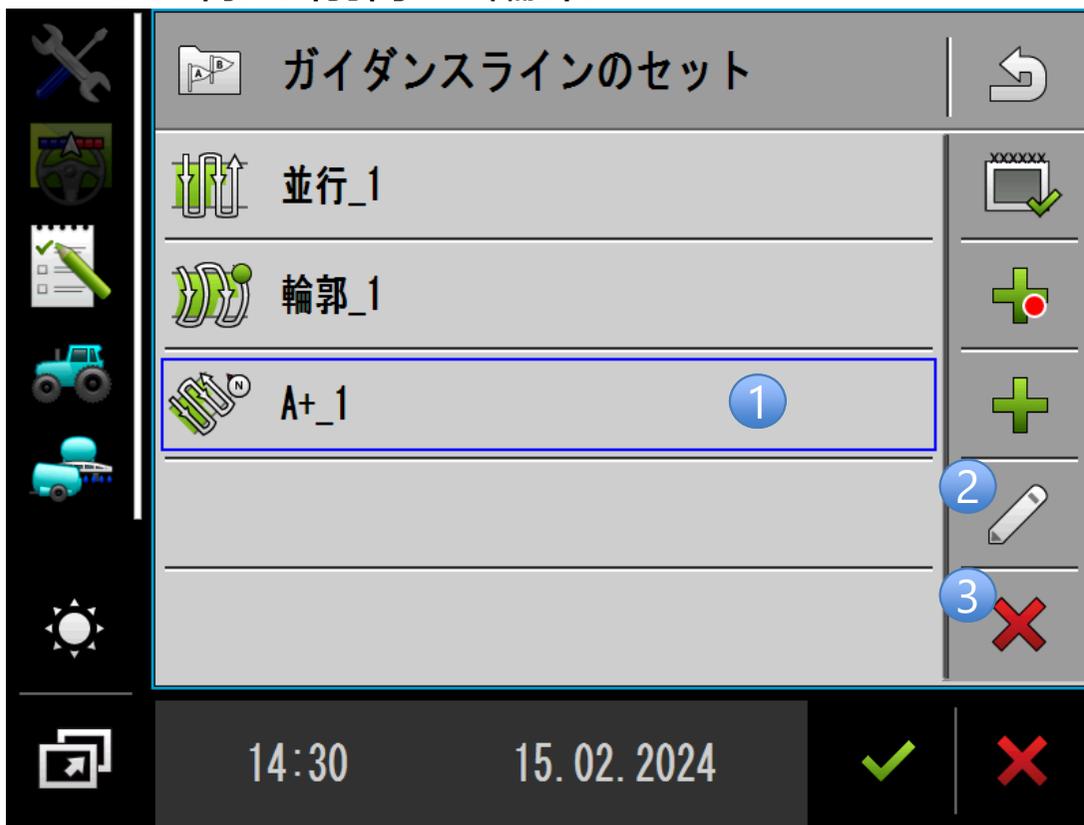
※1本目と同様の手順で作成



 作成したAB線をコピーしたい場合は、この
段階でUSBに保存することをお勧めします。
手順は「圃場データの転送」を参照下さい。

「A+」を選択した場合、方位角の入力画面が表示される（初期値は現在の方位角）
作成したい線の角度を入力し、 をタップする

- AB線の削除・編集



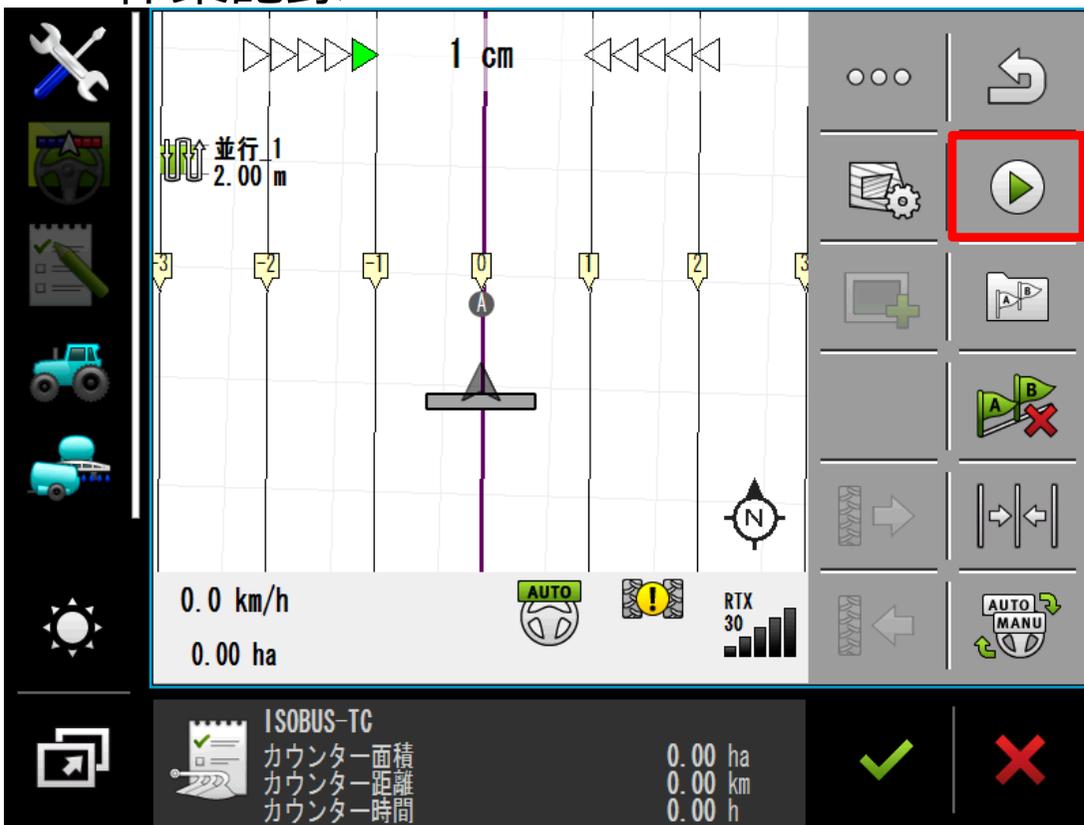
消したいAB線を選択（青枠に表示）した状態で、

- ①実行画面にAB線を表示します
(2回連続してタップすることになります)
- ②AB線の名前を編集できます
- ③AB線を削除します

Track-Guide III

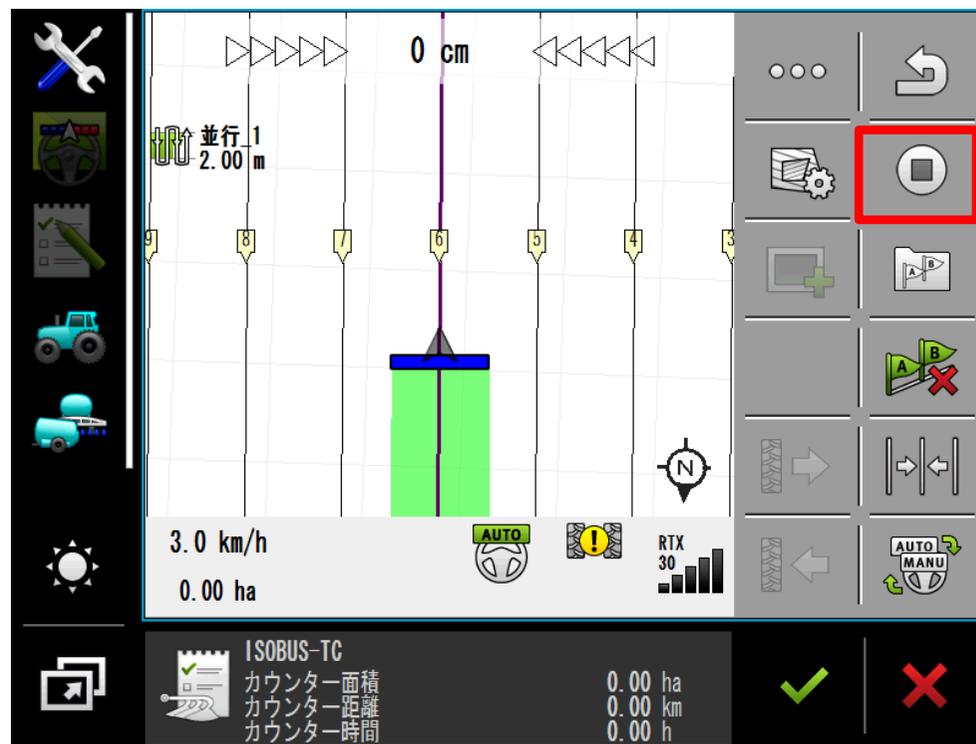
5. 実行画面

● 作業記録



▶ をタップすると色塗りが開始される

停止する場合は ◻ をタップ

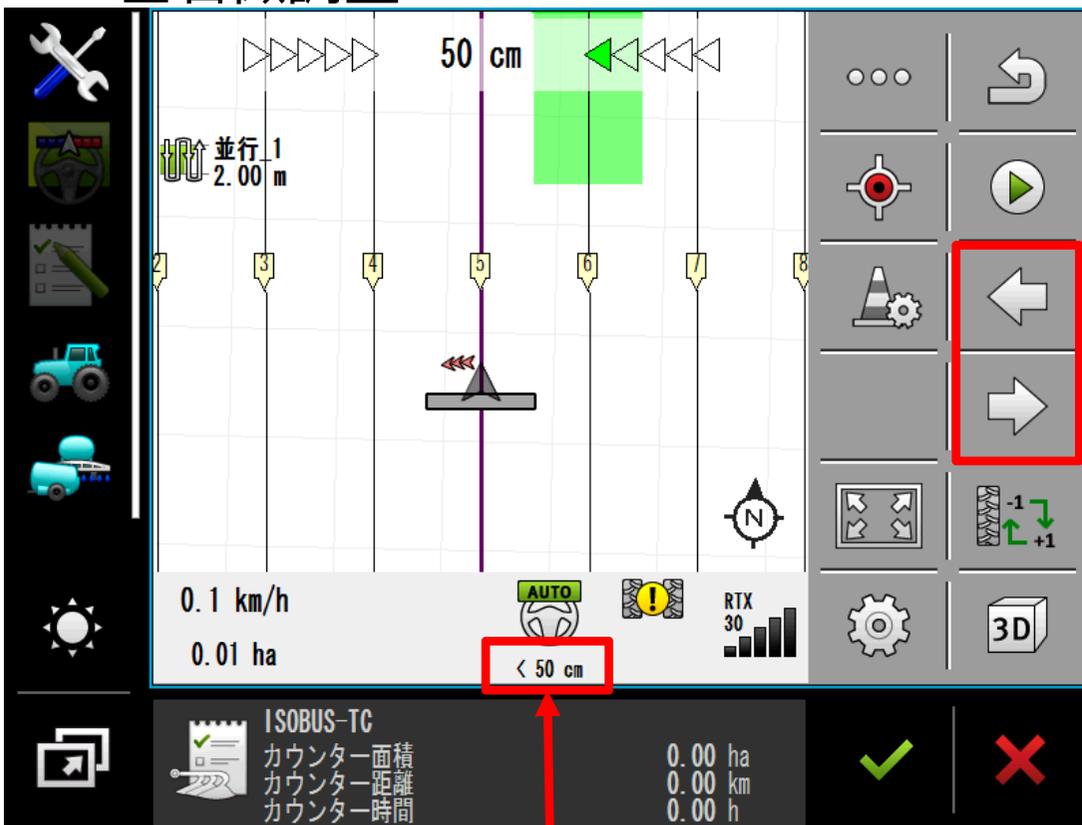


 作業記録（色塗りデータ）を削除する方法
については「圃場データの保存・転送」をご
参照ください。

Track-Guide III

5. 実行画面

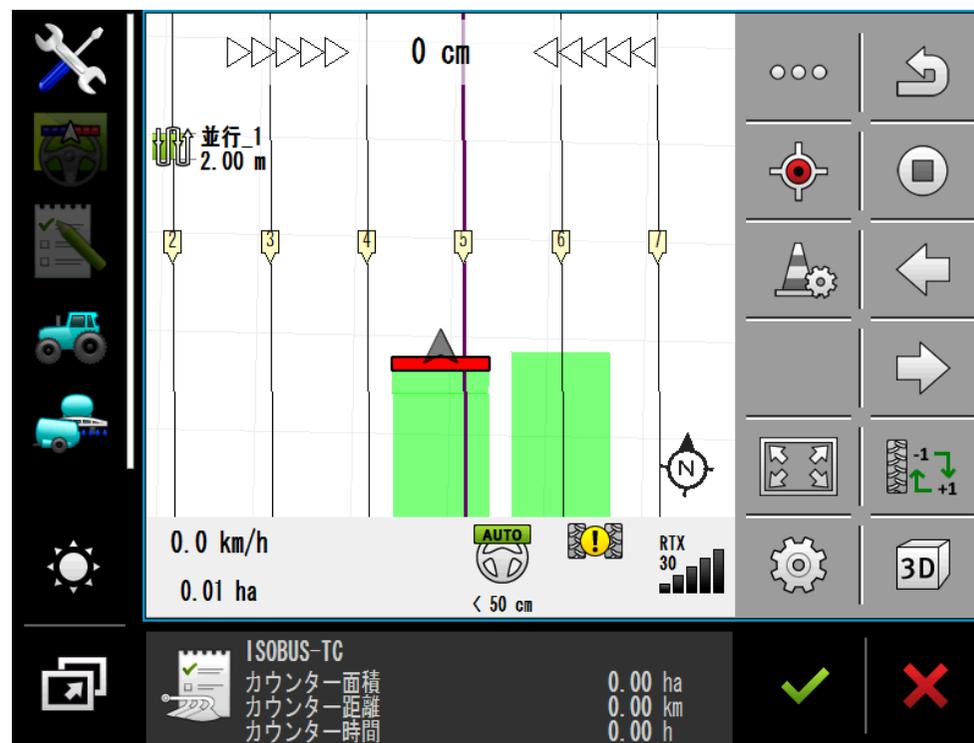
● 左右微調整



現在のシフト距離はここに表示される
実行画面を終了させるとリセットされる

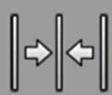
← または → をタップし、
トラクターの位置を左右に調整
することができる

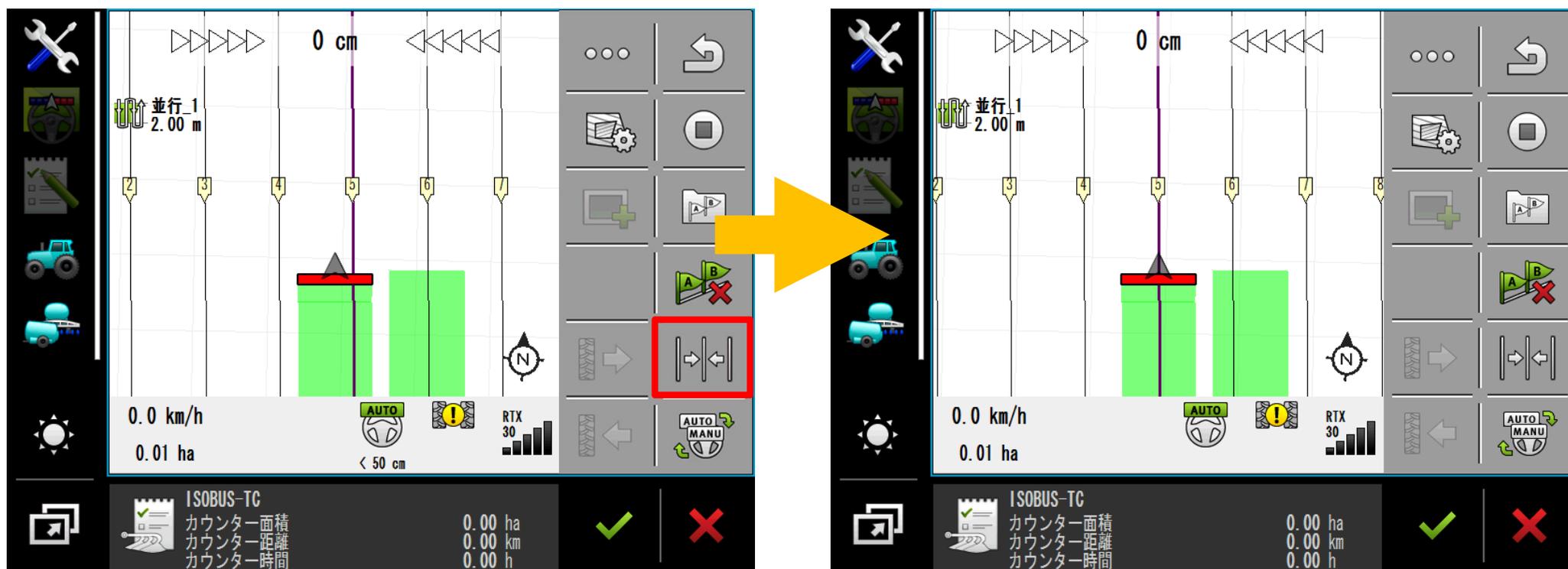
※1回タップ毎に1cm



5. 実行画面

- 左右微調整

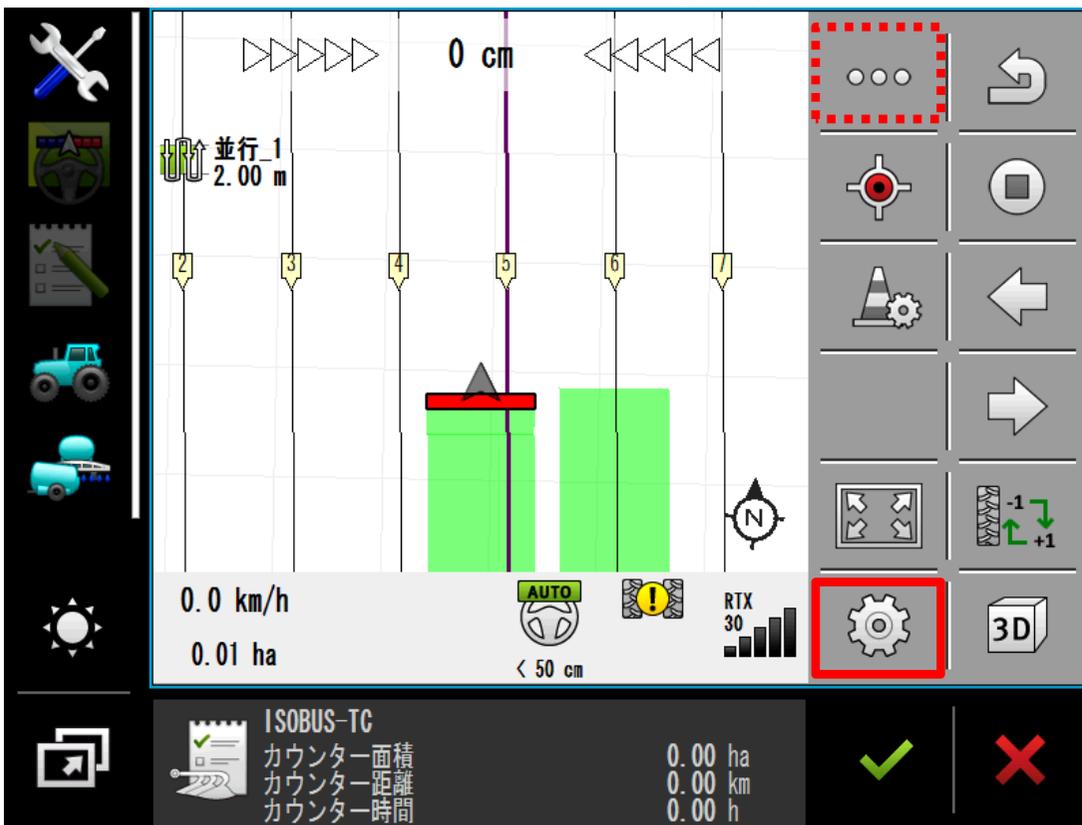
 を3秒間長押しでタップし、
AB線を現在のトラクター位置に移動することができる
※自動操舵中も可能



Track-Guide III

5. 実行画面

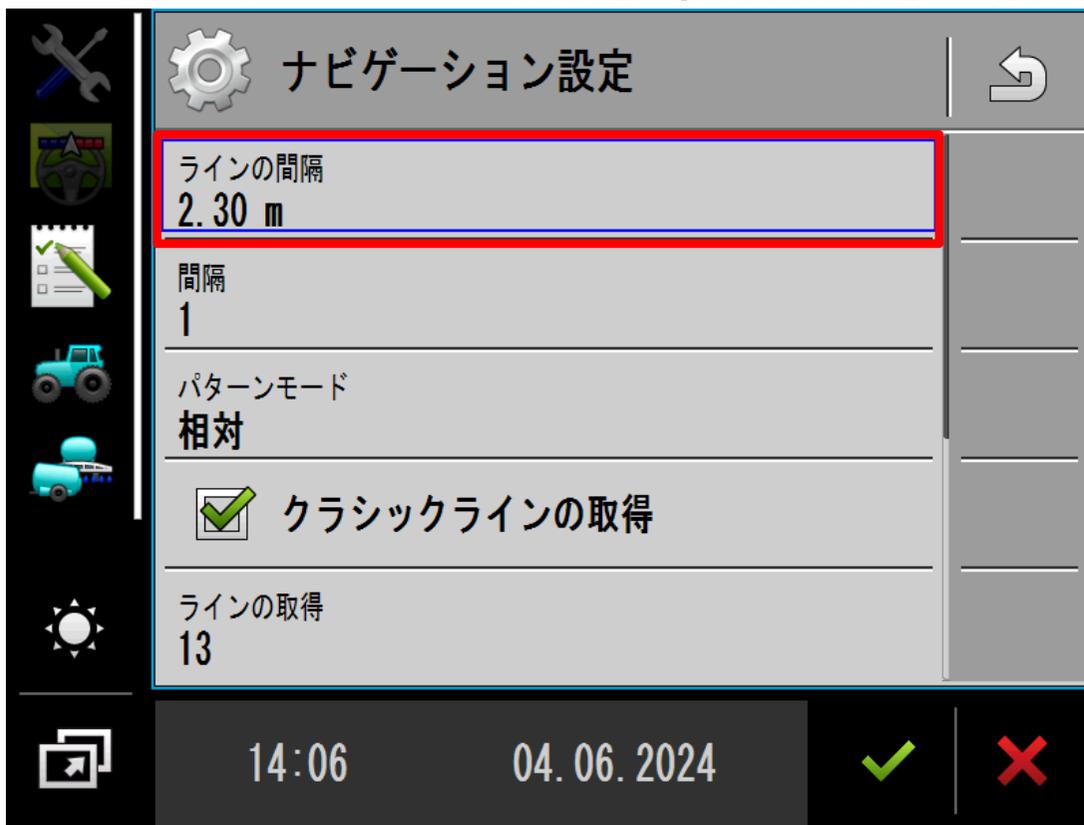
- ナビゲーション設定（畝幅設定・感度調整など）



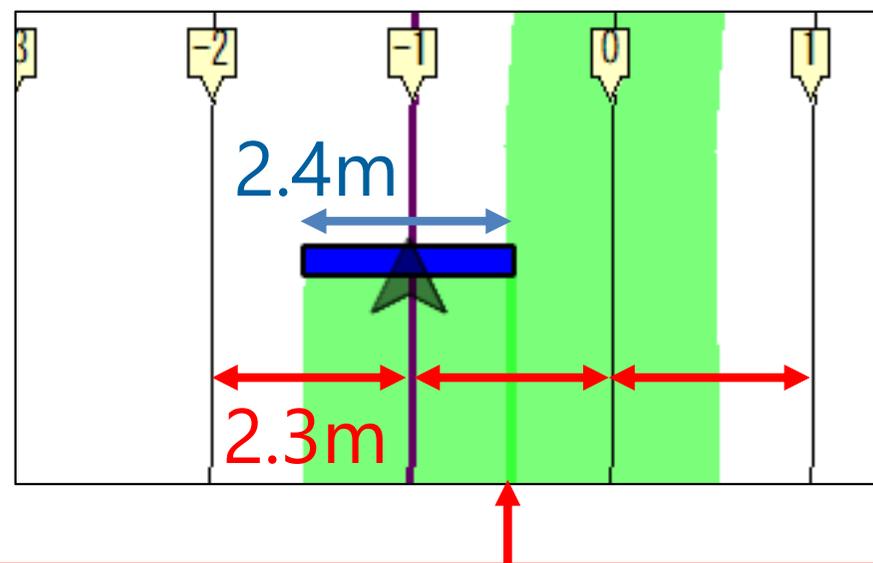
 をタップする

※  が表示されていない場合は、 をタップして画面を切り替えてください。

- ナビゲーション設定（畝幅設定・感度調整など）



ラインの間隔をタップし、
畝幅を入力する

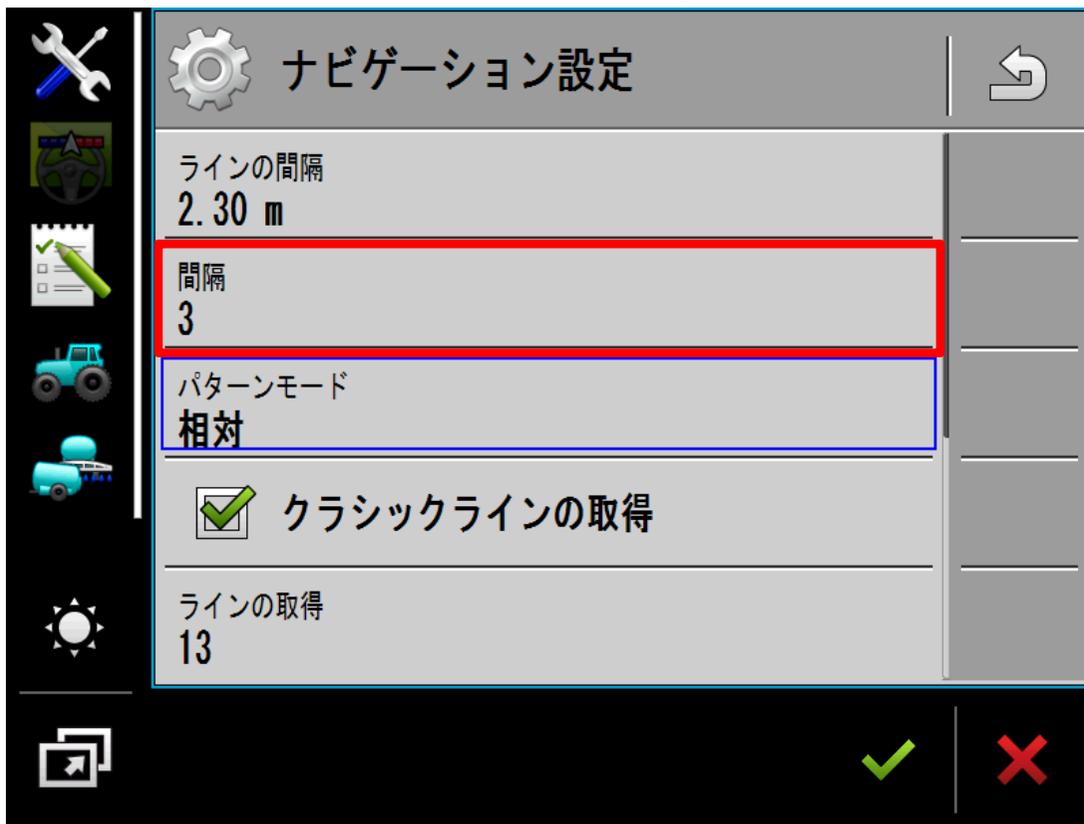


例) ラインの間隔を2.3m、作業機の幅2.4mに設定した場合。左右に5cmの重なりができます

※設定値がガイドスラインの幅になります
作業機設定で設定した「作業幅」より小さい値にすると、左右に重なりができます

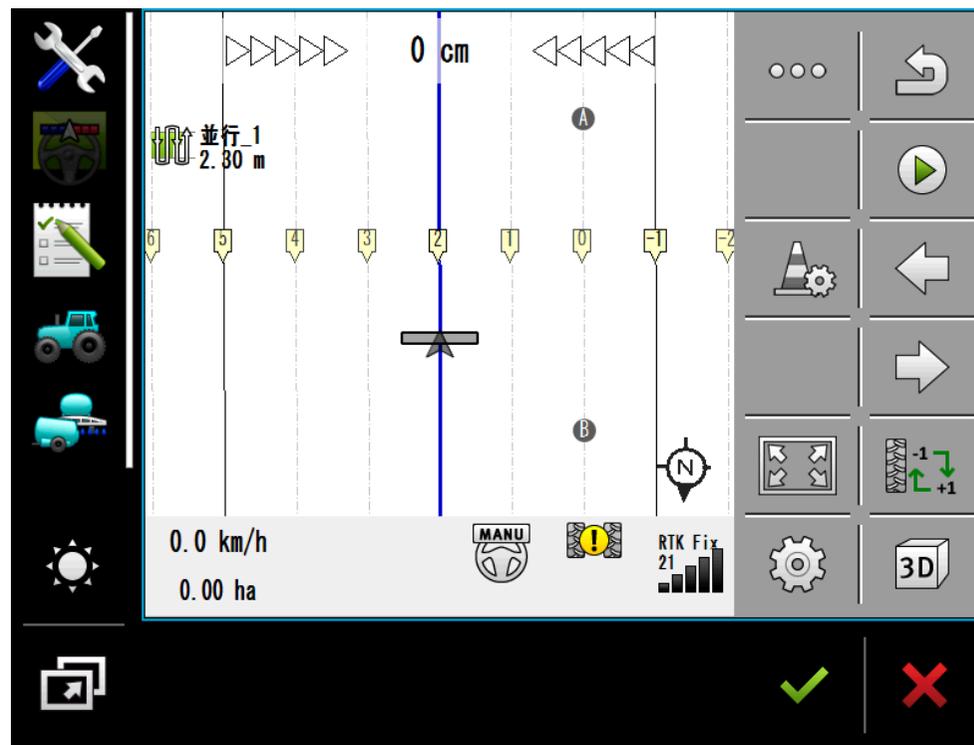
5. 実行画面

- ナビゲーション設定（畝幅設定・感度調整など）



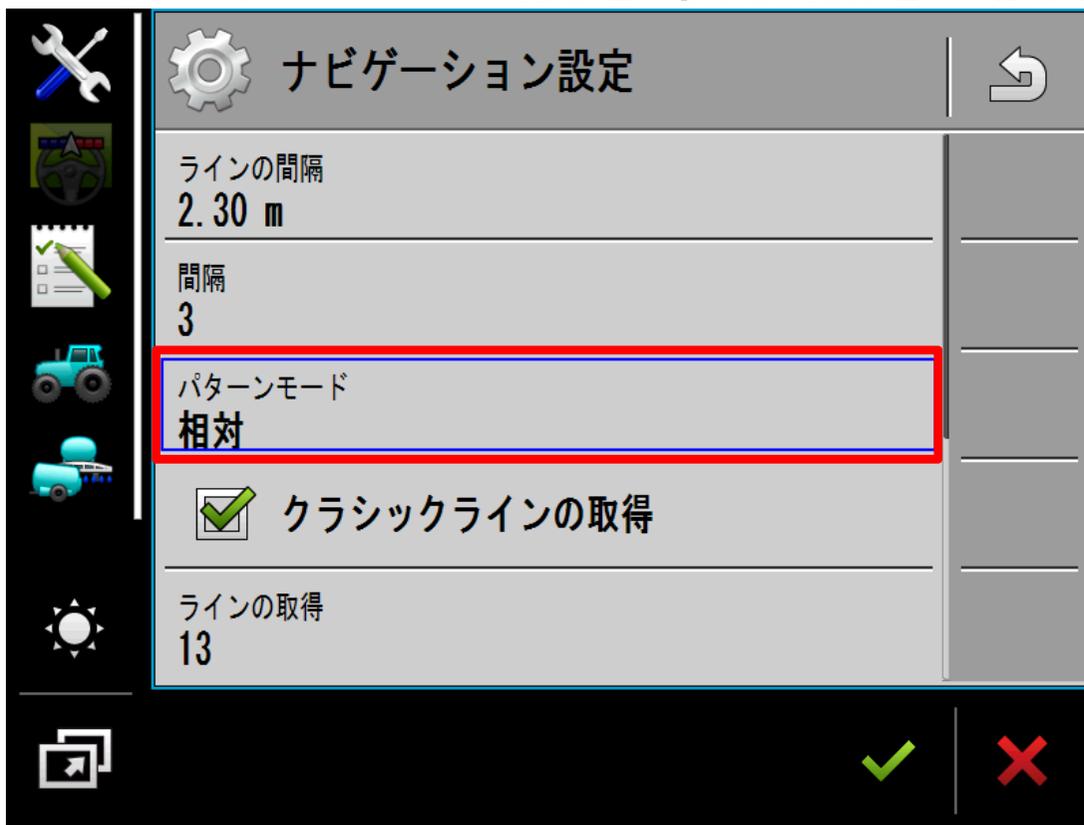
実線ラインの「間隔」を変更できます

※点線ラインも自動操舵可能です

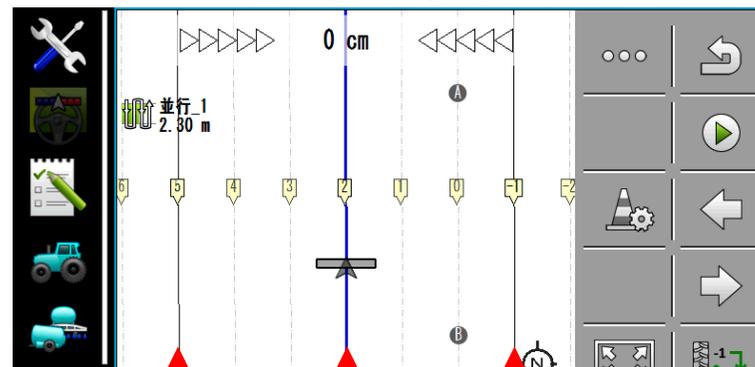


例) 「間隔」を「3」にした場合

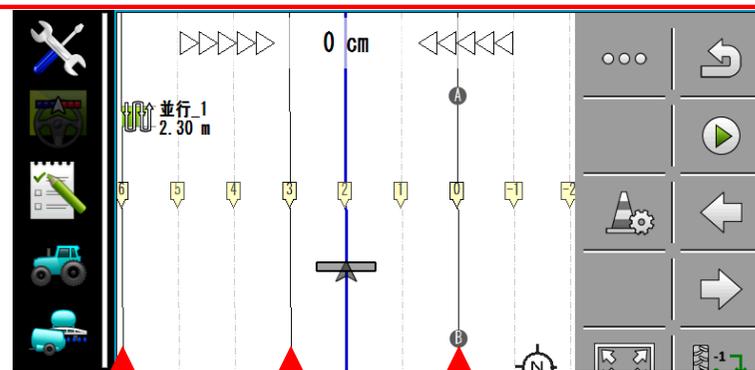
- ナビゲーション設定（畝幅設定・感度調整など）



「パターンモード」で、トラムラインの起点を変更できます



相対：自分の位置を基準に、実線ラインが表示される



絶対：初めに作成したAB線の位置を基準に、実線ラインが表示される

- ナビゲーション設定（畝幅設定・感度調整など）

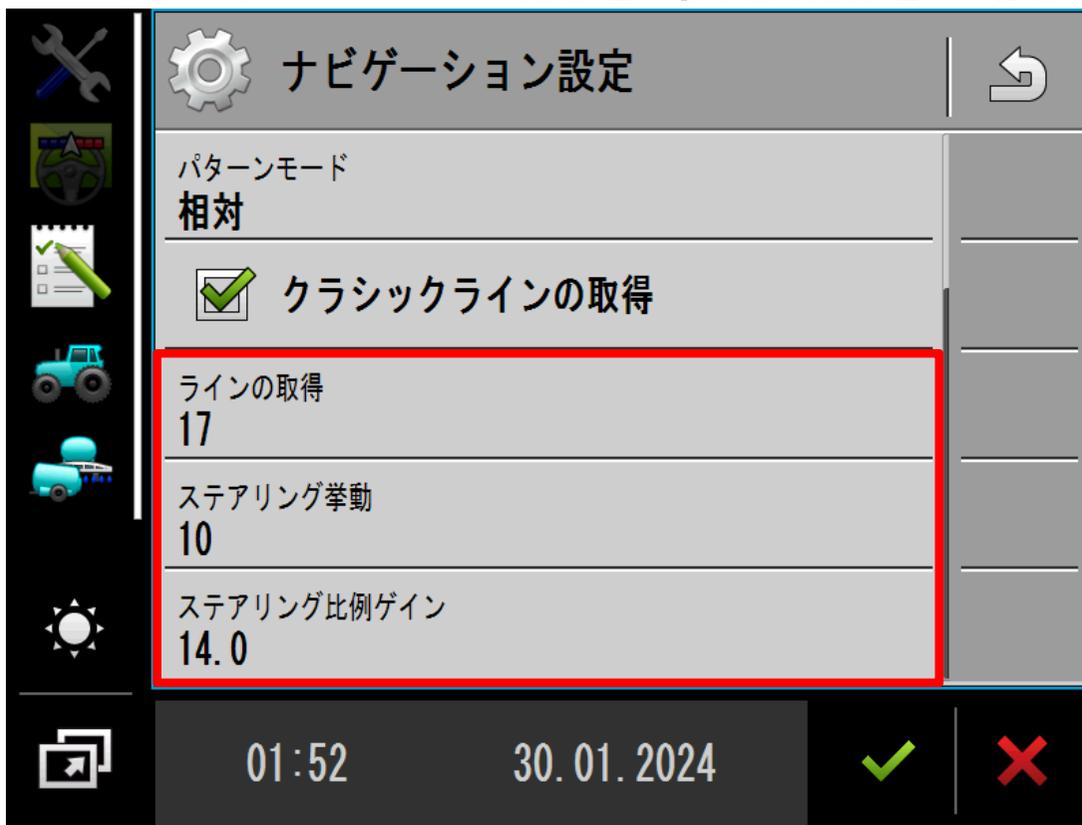


「クラシックラインの取得」を有効にします。

（チェックマークをつける）

※クラシック/OnSwathの切り替えが可能です

- ナビゲーション設定（畝幅設定・感度調整など）



自動操舵の感度調整に関わる各種パラメーターを変更することができます

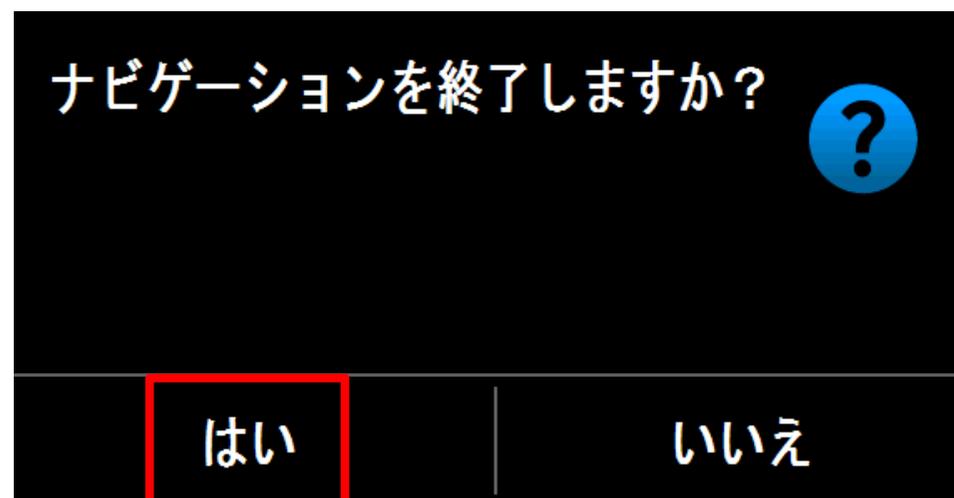
5. 実行画面

- ナビゲーション設定（畝幅設定・感度調整など）



 をタップし設定を保存する

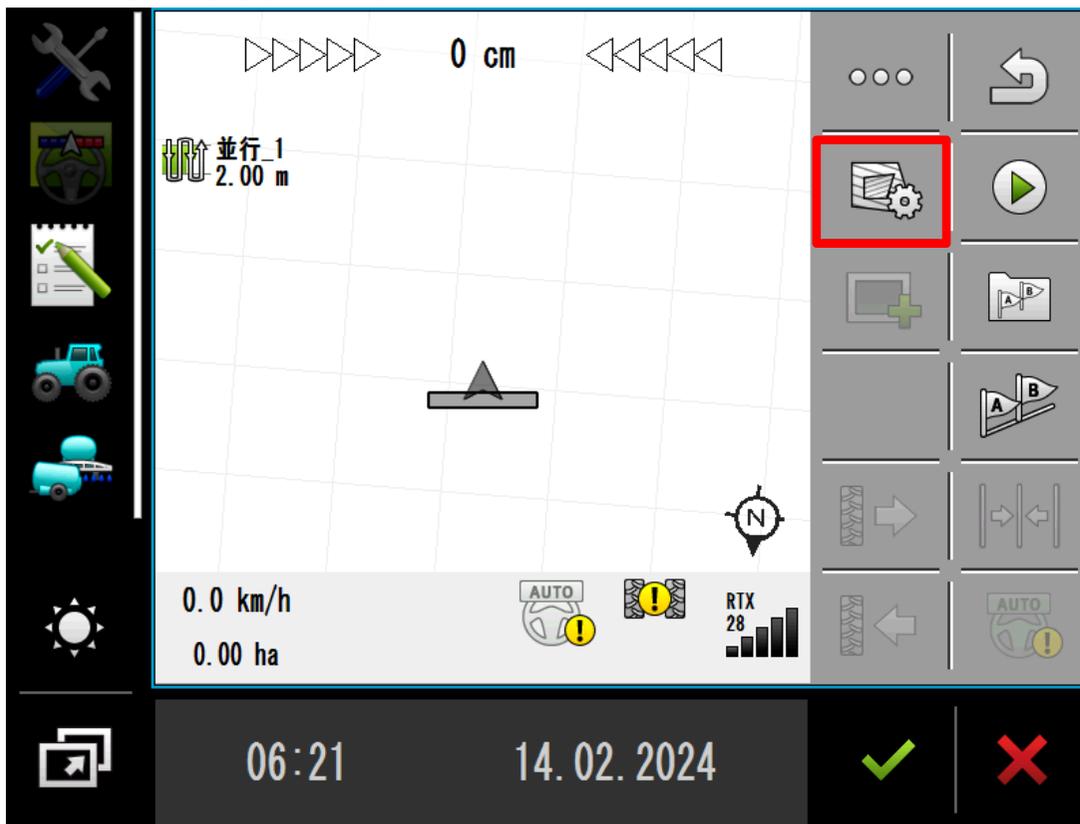
「はい」をタップする



Track-Guide III

5. 実行画面

- 境界線の作成



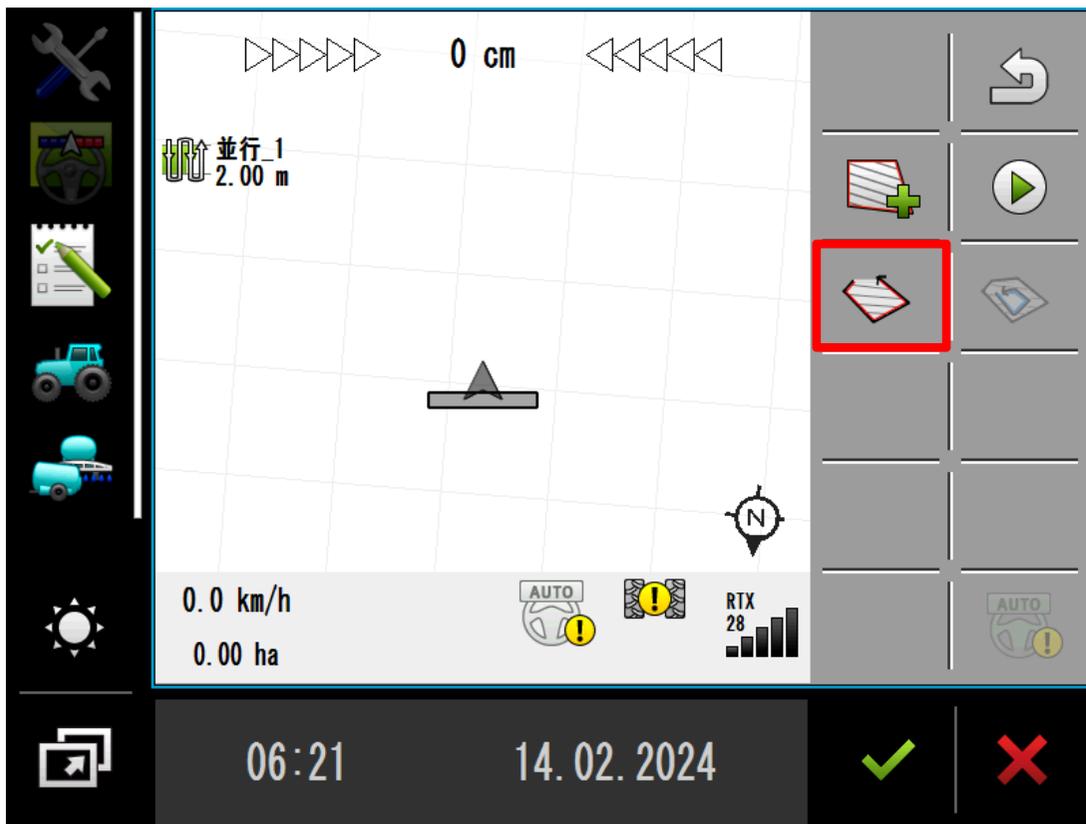
 をタップする

 境界線は作成しなくても作業（自動操舵）は可能です。必要な場合のみ作成してください。

Track-Guide III

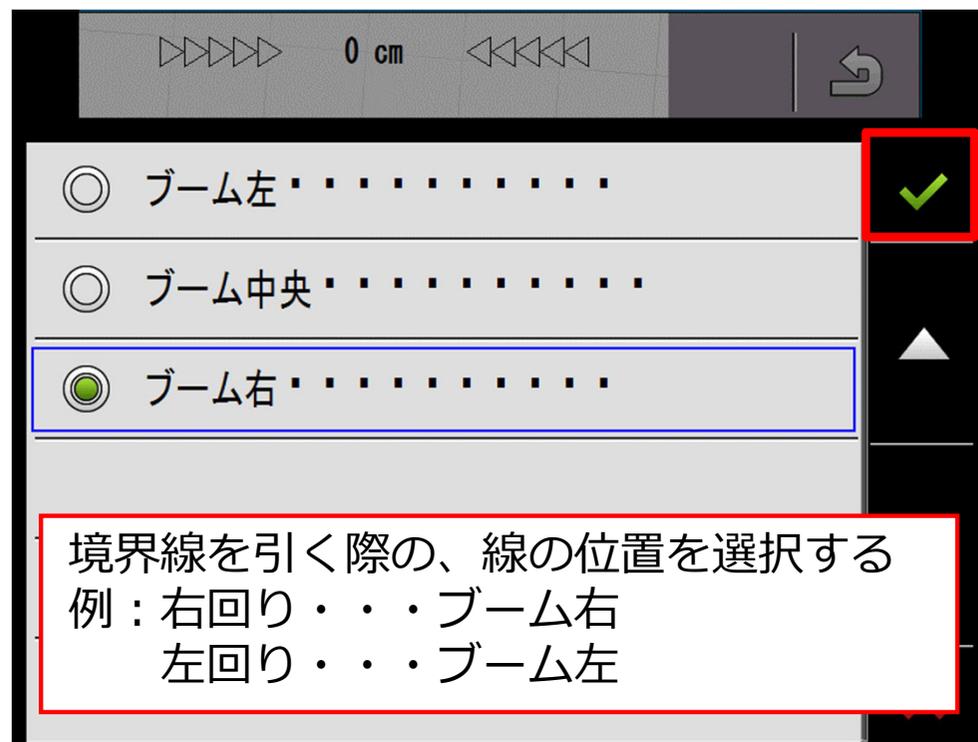
5. 実行画面

- 境界線の作成（境界線ラインを手動で作成する場合）



 をタップし下記を選択する

 をタップする



Track-Guide III

5. 実行画面

- 境界線の作成（境界線ラインを手動で作成する場合）

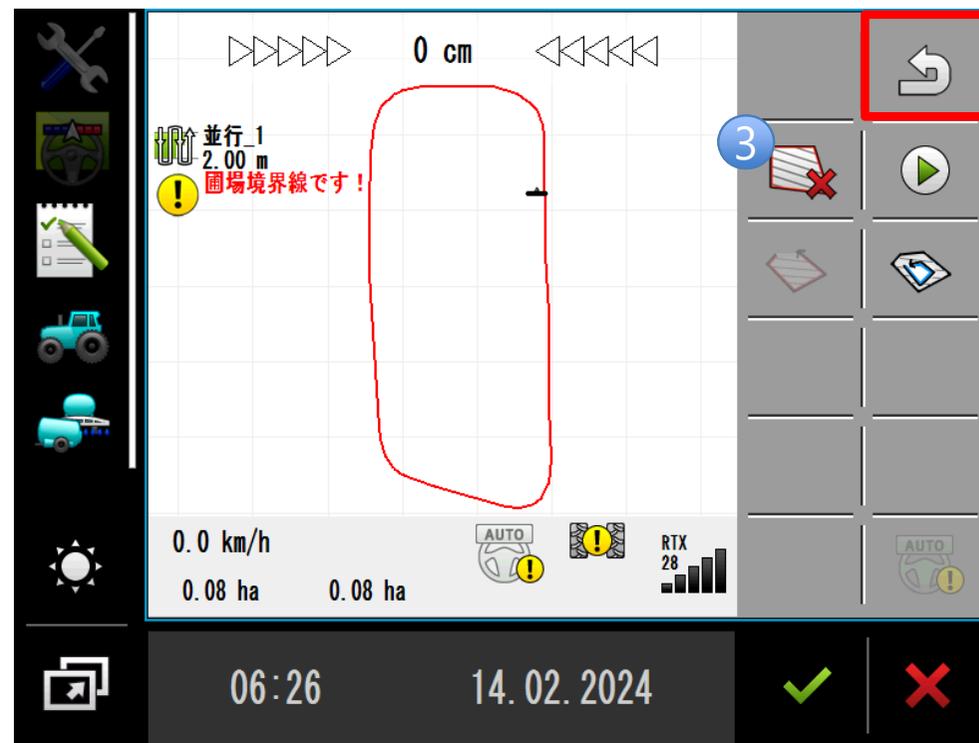
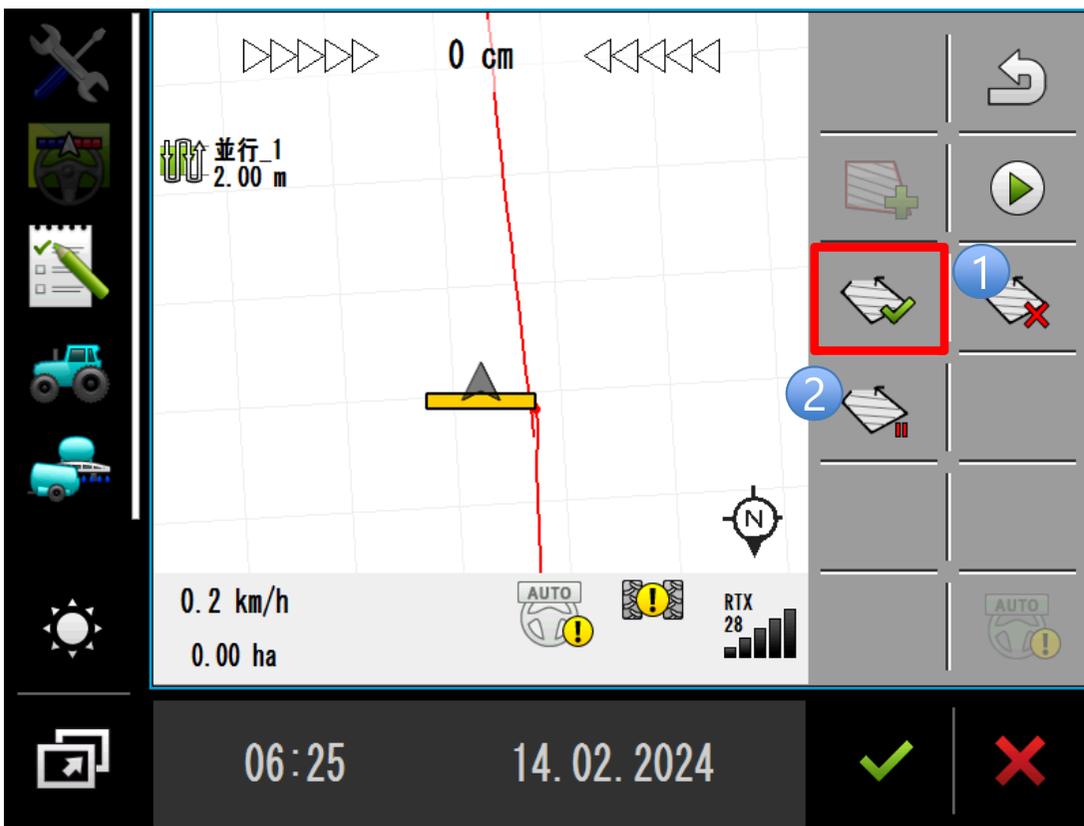
圃場の外周を一周し、



をタップする



をタップし元の画面に戻る



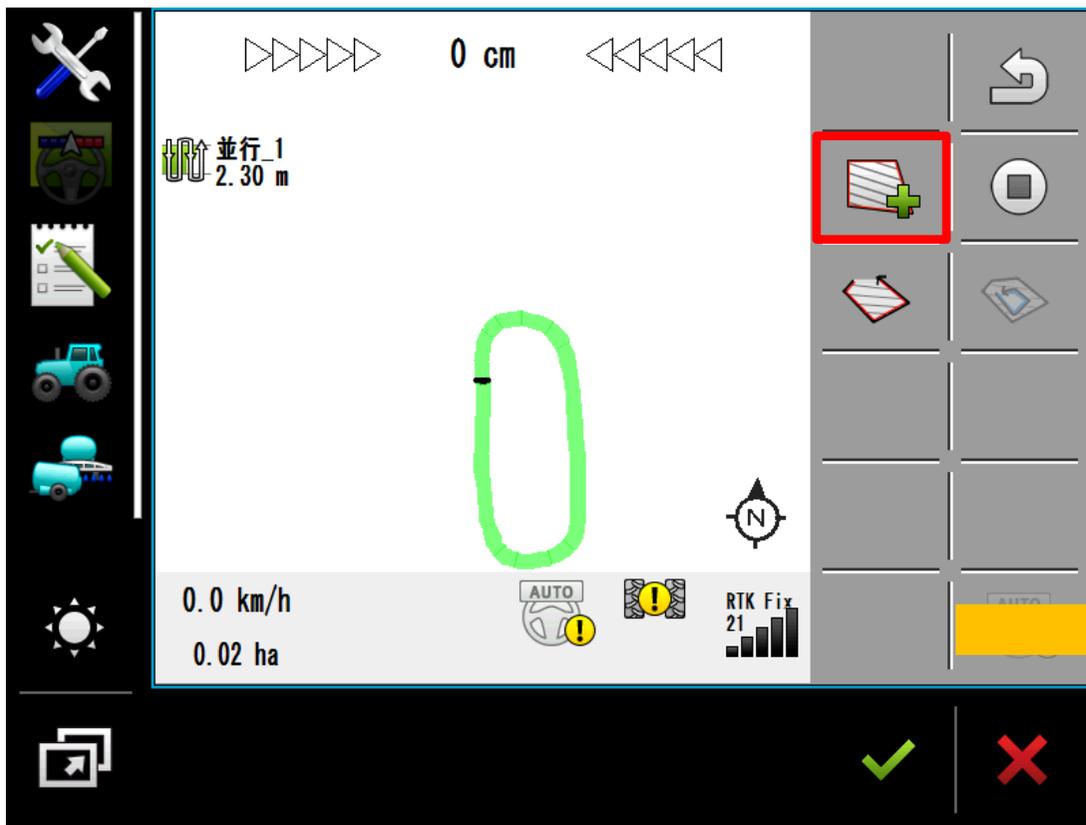
【便利な機能】

- 境界線作成をキャンセルする
- 境界線を直線で作成する（1度目に押した場所と2度目に押した場所を直線で繋ぐ）
- 3秒長押しで、作成した境界線を削除する

Track-Guide III

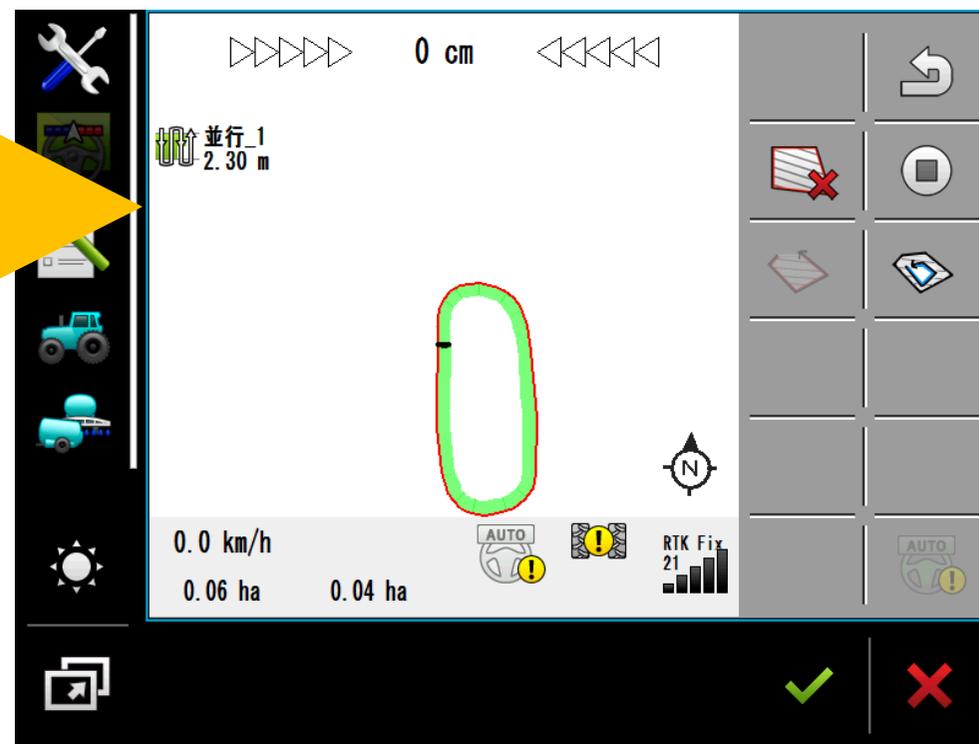
5. 実行画面

- 境界線の作成（作業記録から境界線を作成する場合）



作業記録が表示されている状態で  をタップする

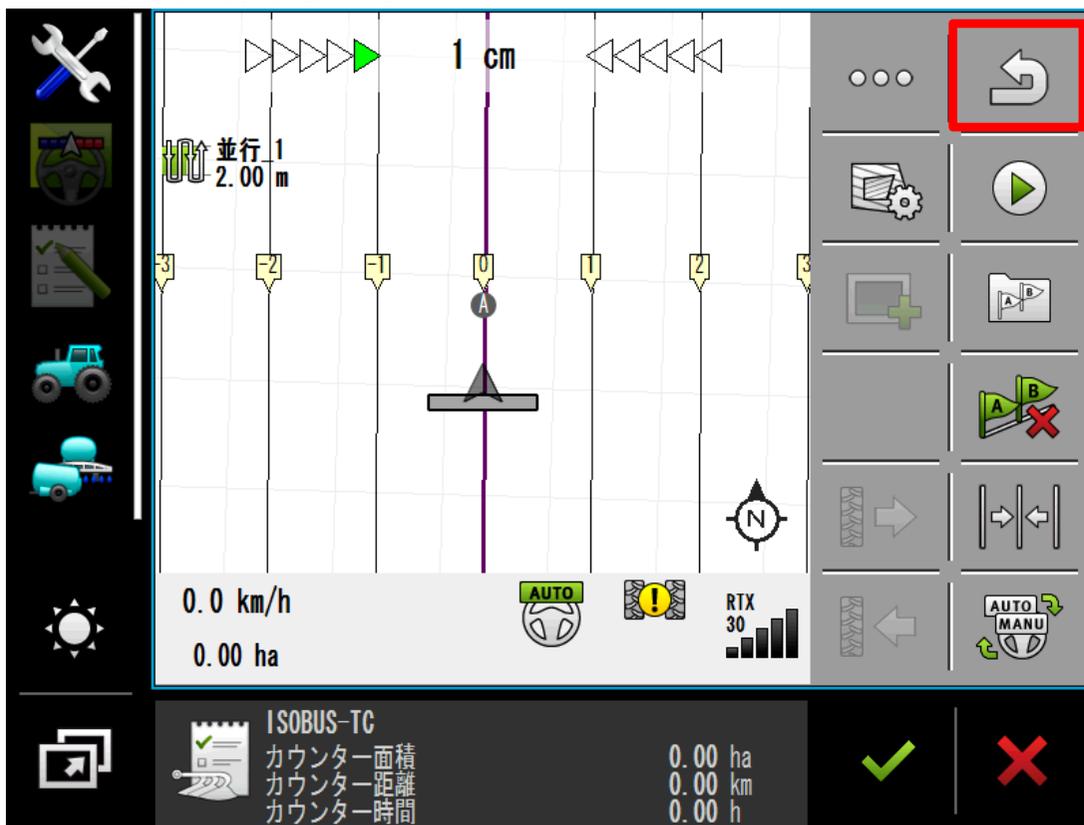
→作業記録の周りに自動で境界線が作成されます



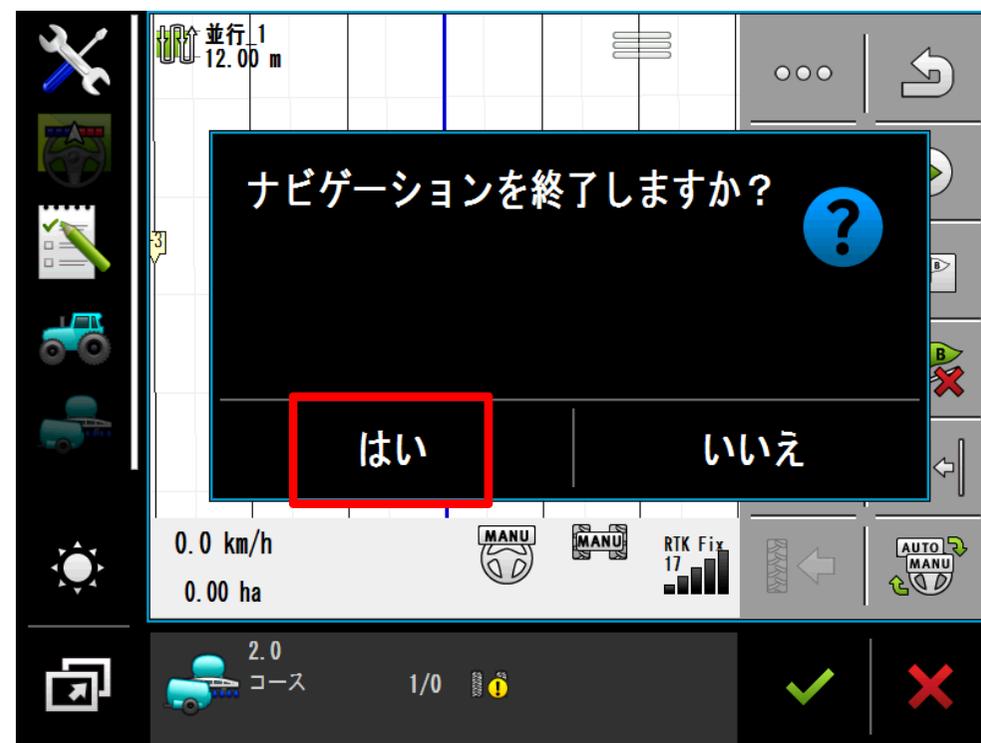
Track-Guide III

5. 実行画面

● 作業終了時



 をタップし、
実行画面を終了する
「はい」をタップする





Track-Guide III

6. 自動操舵設定（ロール補正編）

6. 自動舵設定（ロール補正編）

- NAV-900の取付と車両の傾きを補正する。

- ロール補正の前に行うこと

- ① 車両設定
- ② AB線作成

- ロール補正時の注意点

- ① 精度を高める為にRTK及びRTX環境で実施
- ② 農作業機は取外して行う
- ③ 凹凸の少ない極力平らな場所での実施

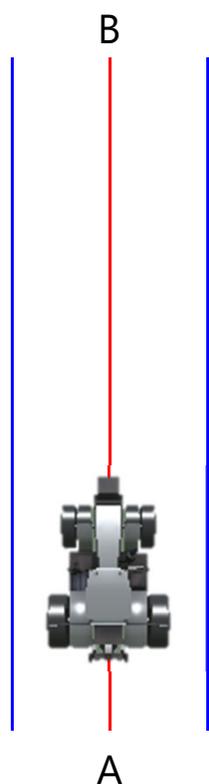
- 実施頻度

- ① タイヤの空気圧を変更したタイミングで実施。
- ② 春作業・秋作業が始まる前の準備期間で実施。

6. 自動操舵設定（ロール補正編）

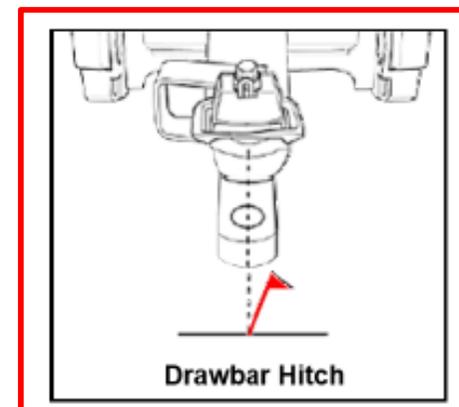
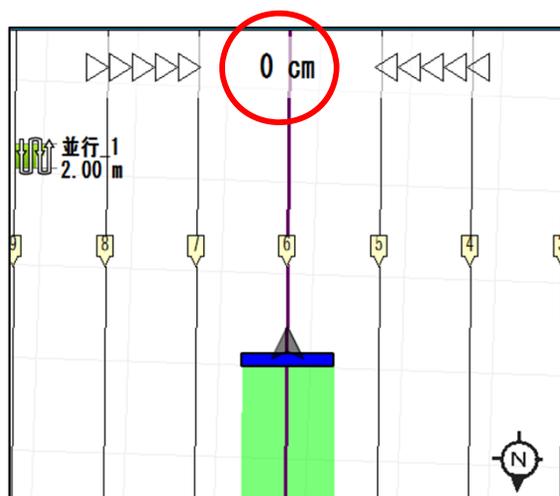
・ロール値の測定

① AB線を作成。



② 自動操舵を入れ、誤差0cmの場所でストップ。

③ 誤差0cmの場所に印をつける。

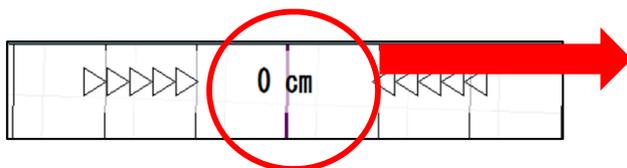


※地面に印をつける
例：車両の中心（連結部など）
例：後輪の接地点

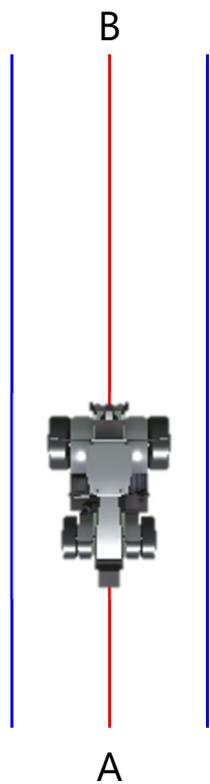
Track-Guide III

6. 自動操舵設定（ロール補正編）

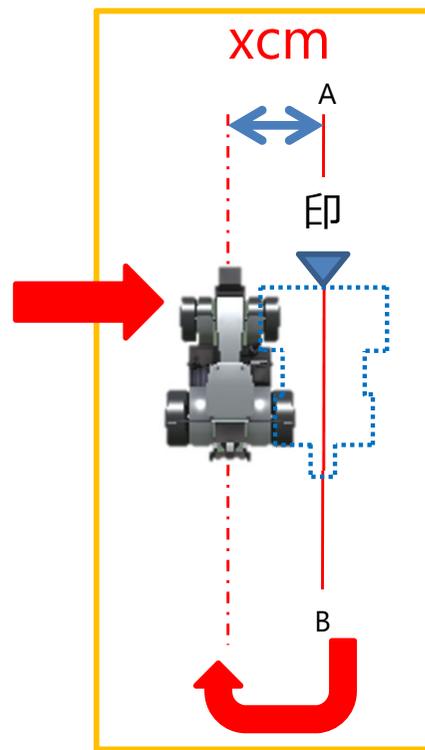
・ロール値の測定



印をつけた位置に戻った際は誤差が「0cm」であることが重要。
誤差が出る場合は「0cm」になるまで、全後進を繰り返す。



- ④ AB線上を走り、旋回。
- ⑤ 同一AB線を走り、印をつけた位置で停止する。
- ⑥ 車両の中心と先程付けた印とのズレを測定。



Track-Guide III

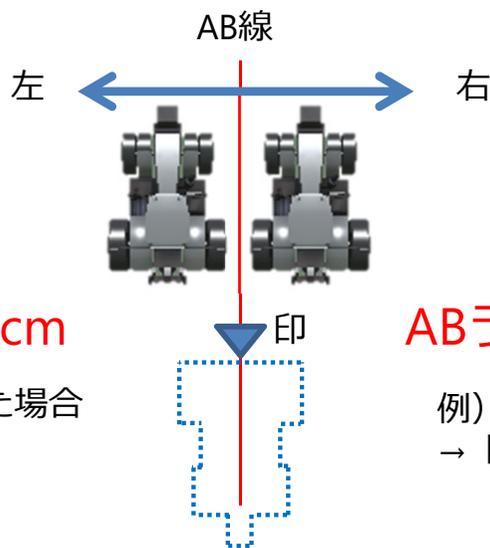
6. 自動操舵設定（ロール補正編）

・ロール値の測定

⑦測定した誤差の半分の値を「TAP」の値に入力する。

※AB線の左に車両があれば「+（プラス）の値」
右にあれば「-（マイナス）の値」となる
単位は「m（メートル）」

⑧誤差が限りなく0cmになるまで②～⑦を繰り返す。



ABラインの左側 x cm

例) 左に10cmずれていた場合
→ 「0.05」

ABラインの右側 x cm

例) 右に10cmずれていた場合
→ 「-0.05」





をタップする

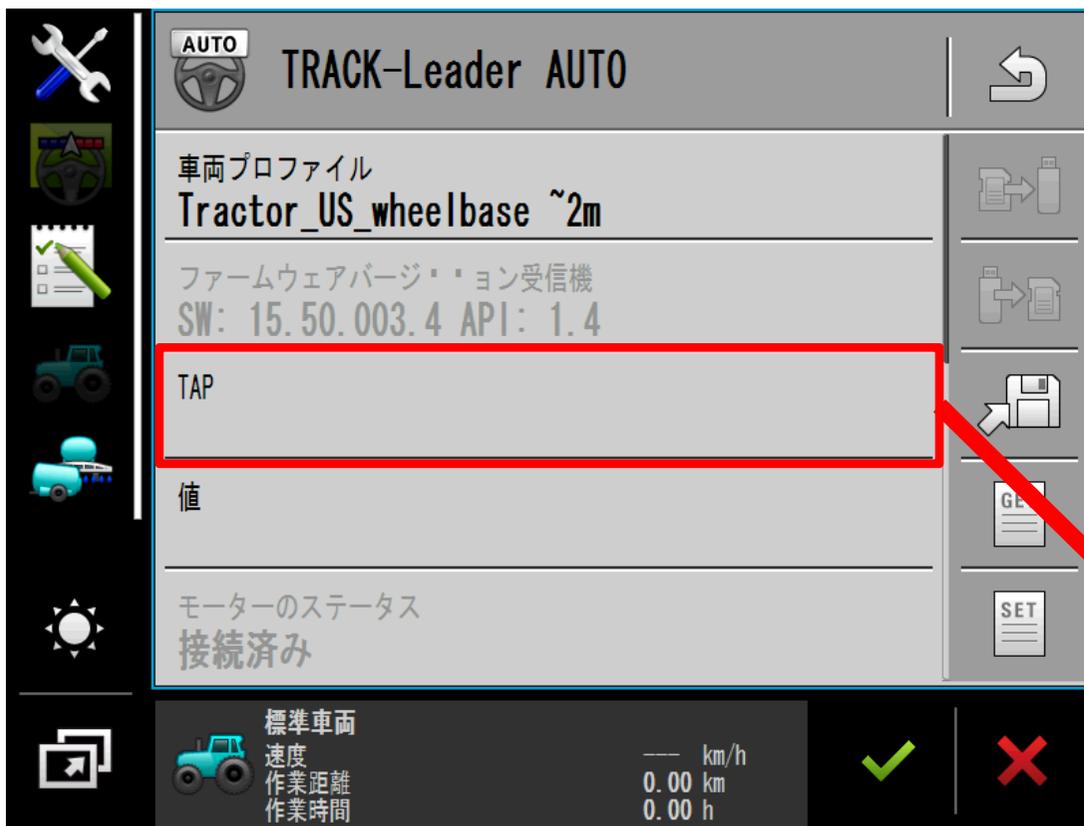
「設定」をタップする



「TRACK-Leader AUTO」
をタップする

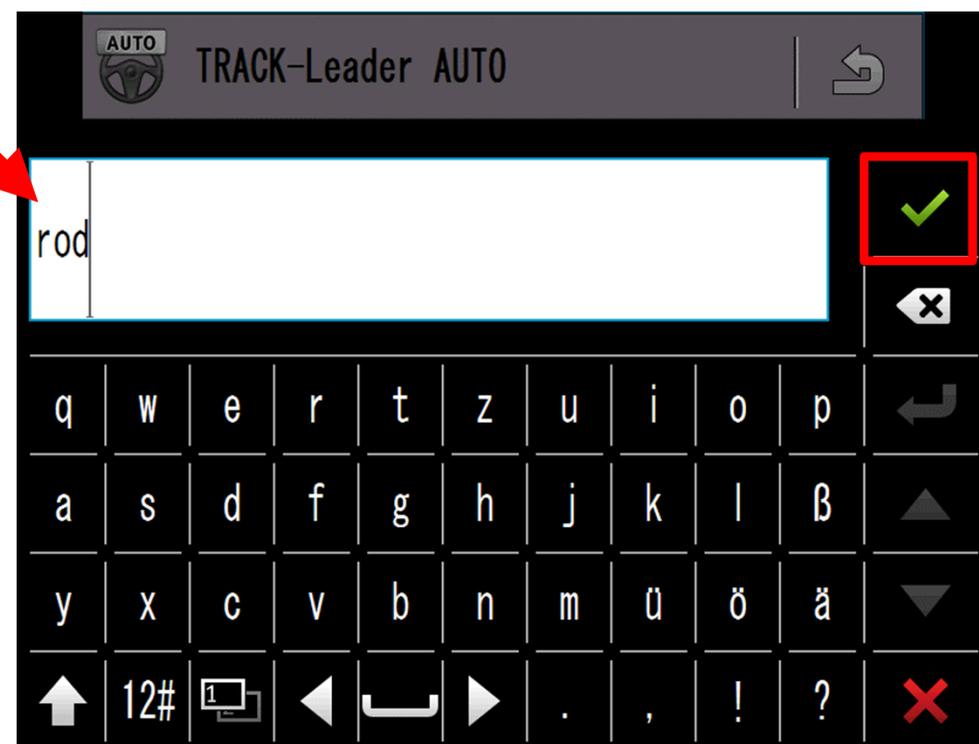
Track-Guide III

6. 自動操舵設定（ロール補正編）



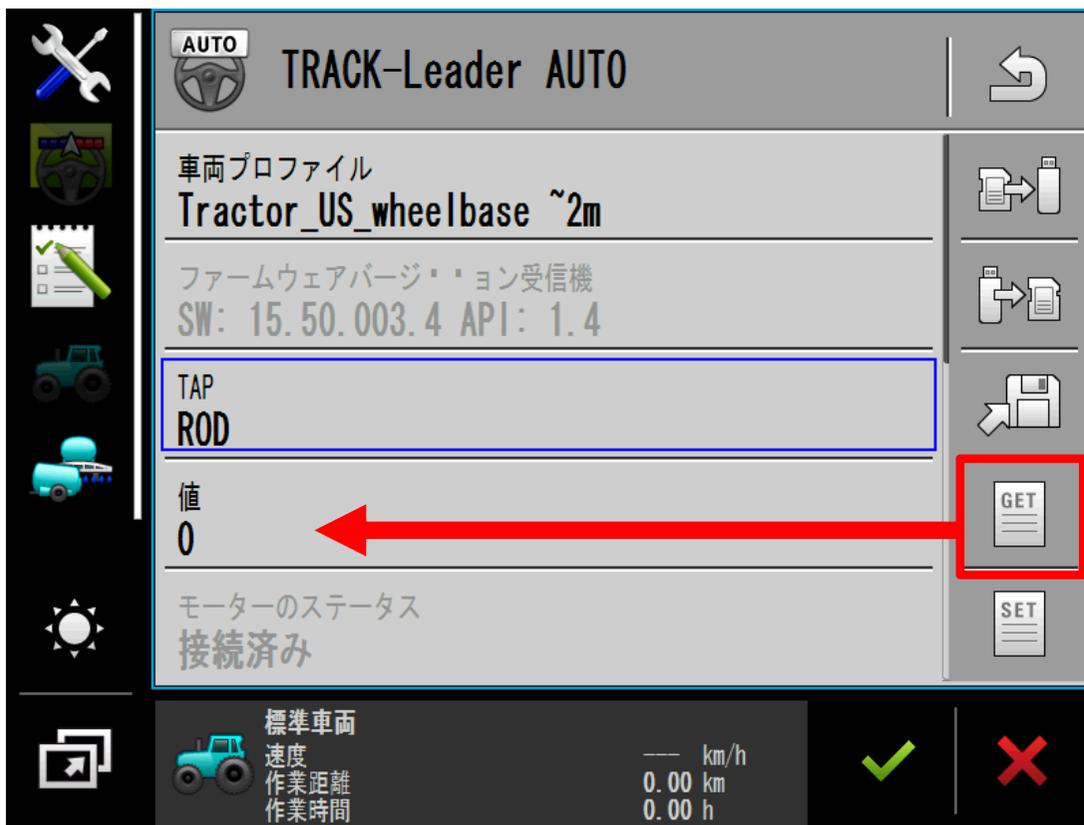
「TAP」をタップし「ROD」を入力する

 をタップする



Track-Guide III

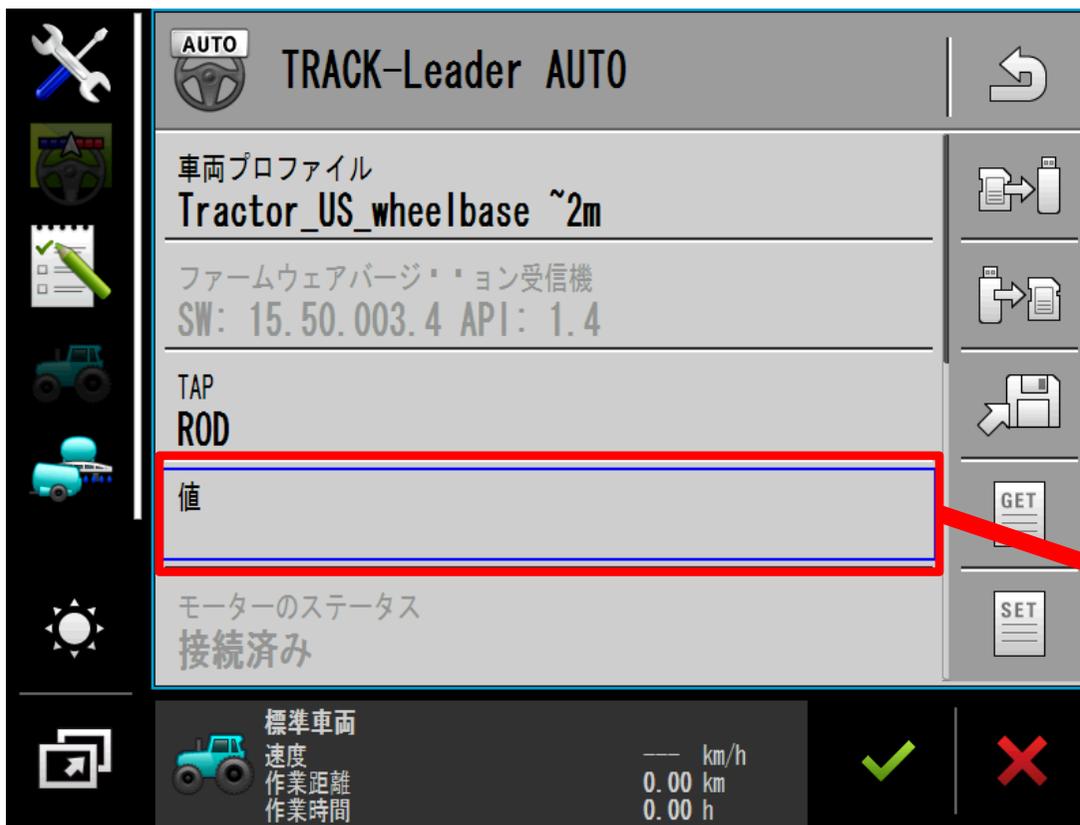
6. 自動操舵設定（ロール補正編）



「GET」をタップすると、
「値」に現在の設定値が表示されます
現在の設定値を確認する場合に
使います

Track-Guide III

6. 自動操舵設定（ロール補正編）



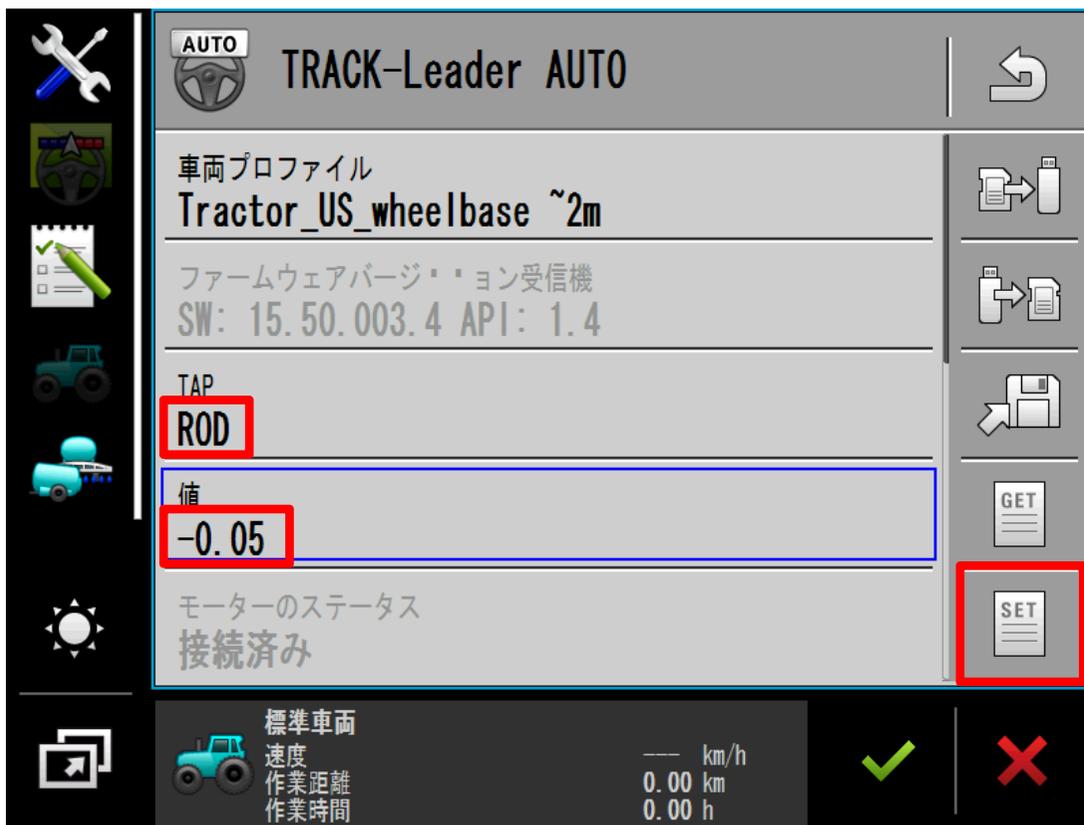
「値」をタップし数値を
入力する

 をタップする



Track-Guide III

6. 自動操舵設定（ロール補正編）



「SET」をタップし、入力した「値」を確定する

例：測定値が右に10cmの場合

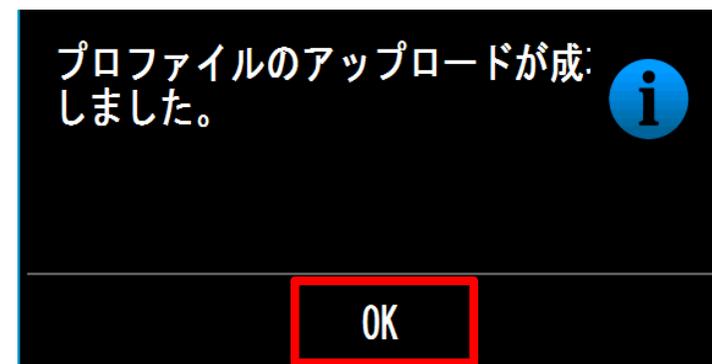
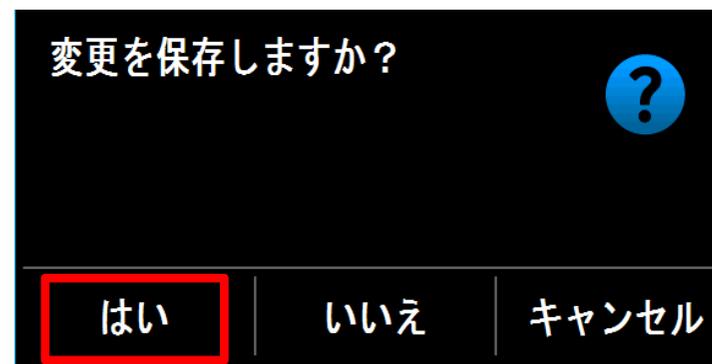
Track-Guide III

6. 自動操舵設定（ロール補正編）



 をタップし設定を保存する

「はい」をタップする



注意 TAP変更後の車両プロファイルは
NAV-900に保存されます。

詳細は「車両データの保存・転送」をご参照く
ださい。

Track-Guide III

6. 自動操舵設定（ロール補正編）



 をもう一度回タップし、
はじめの画面に戻す





Track-Guide III

7. 車両データの保存・転送・削除

Track-Guide III

7. 車両データの保存・転送・削除

● 車両データの保存・転送



をタップする

「設定」をタップする

「TRACK-Leader AUTO」
をタップする

Track-Guide III

7. 車両データの保存・転送・削除

● 車両データの保存・転送

注意 TAP変更後の車両プロファイルはNAV-900に保存されます



USBメモリに保存されている車両プロファイル全てをTGⅢに転送する

TGⅢに保存されている車両プロファイル全てをUSBメモリに転送する

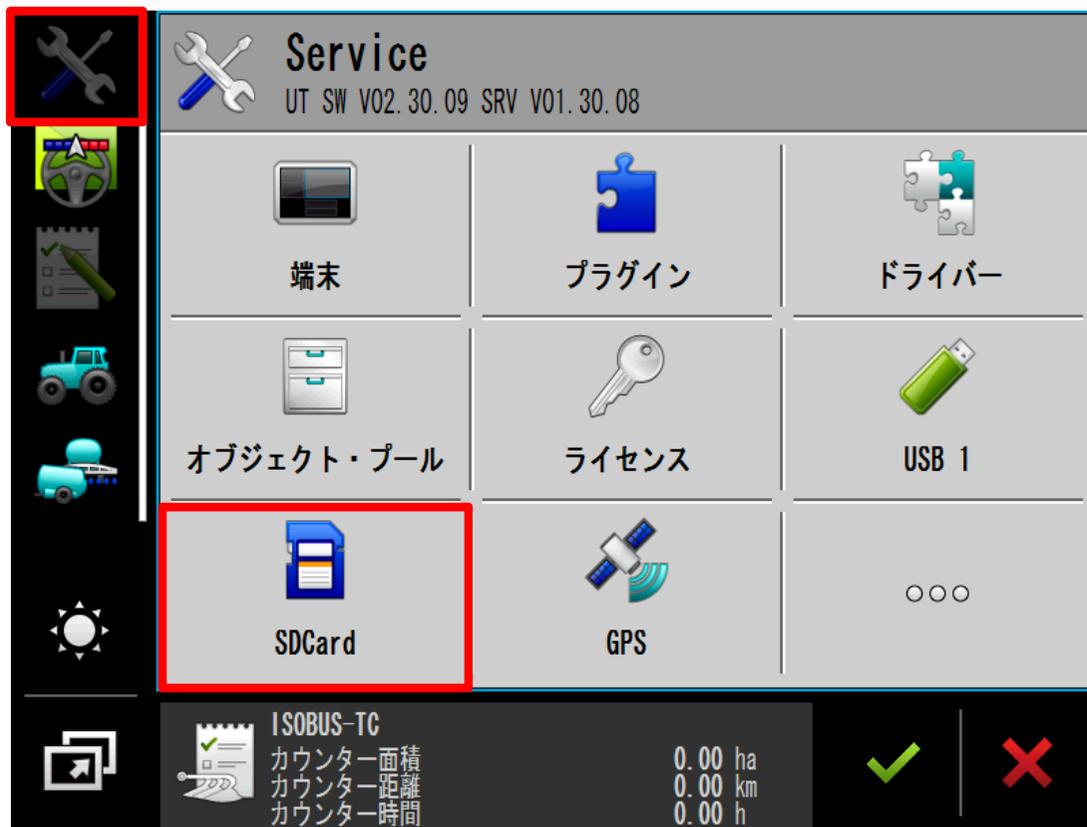
NAV-900に保存されている設定を新規プロファイルとしてTGⅢに保存する

※TAPを変更した場合、TGⅢにも保存しておくことを推奨します。

Track-Guide III

7. 車両データの保存・転送・削除

- 車両データの削除



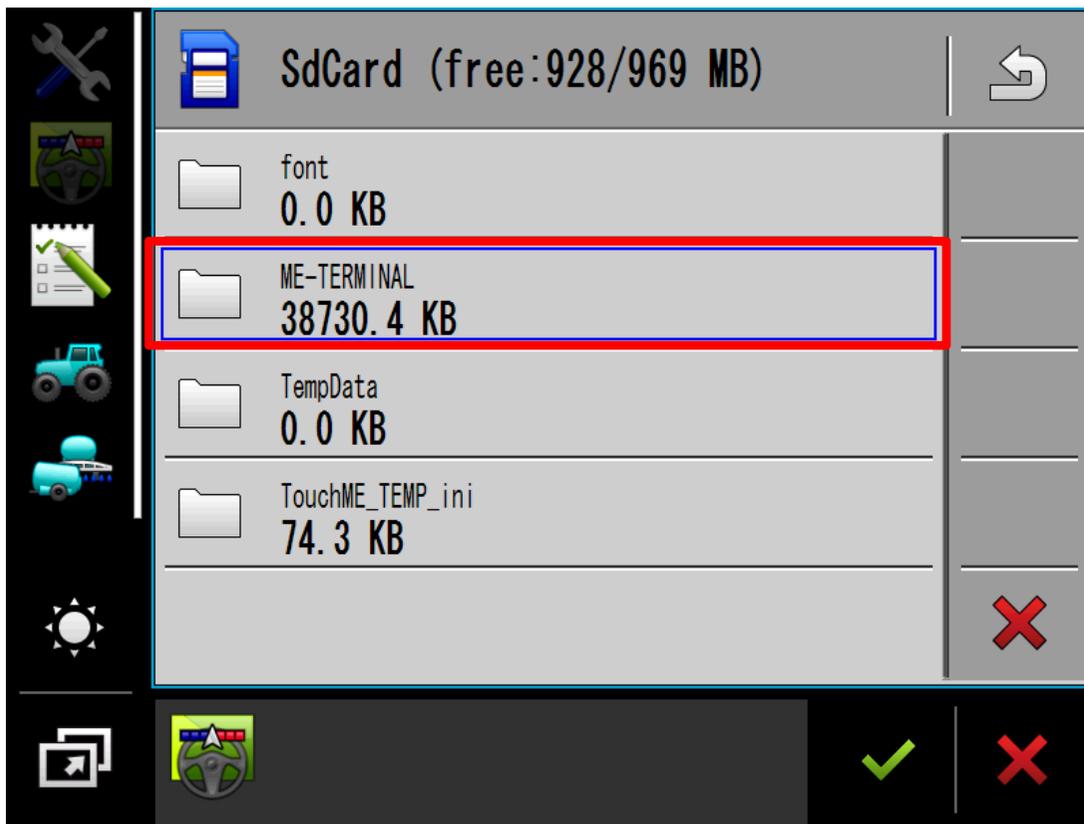
をタップする

「SDCard」をタップする

Track-Guide III

7. 車両データの保存・転送・削除

- 車両データの削除



「ME-TERMINAL」

↓

「data」

↓

「tl」

↓

「NAV900-Profiles」

の順に2回タップし選択する

Track-Guide III

7. 車両データの保存・転送・削除

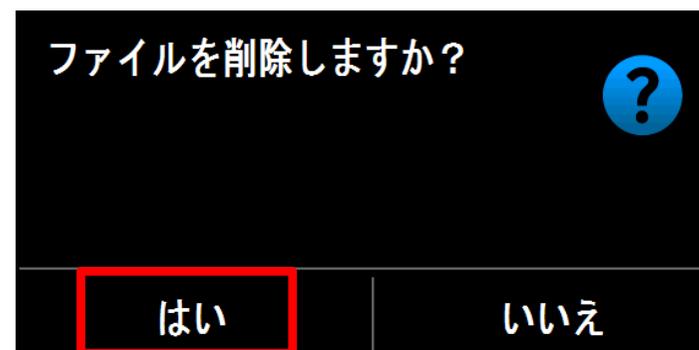
- 車両データの削除



削除したいデータを選択し、

 をタップする

「はい」をタップする



削除が完了したら

 を複数回タップし、

はじめの画面に戻る



Track-Guide III

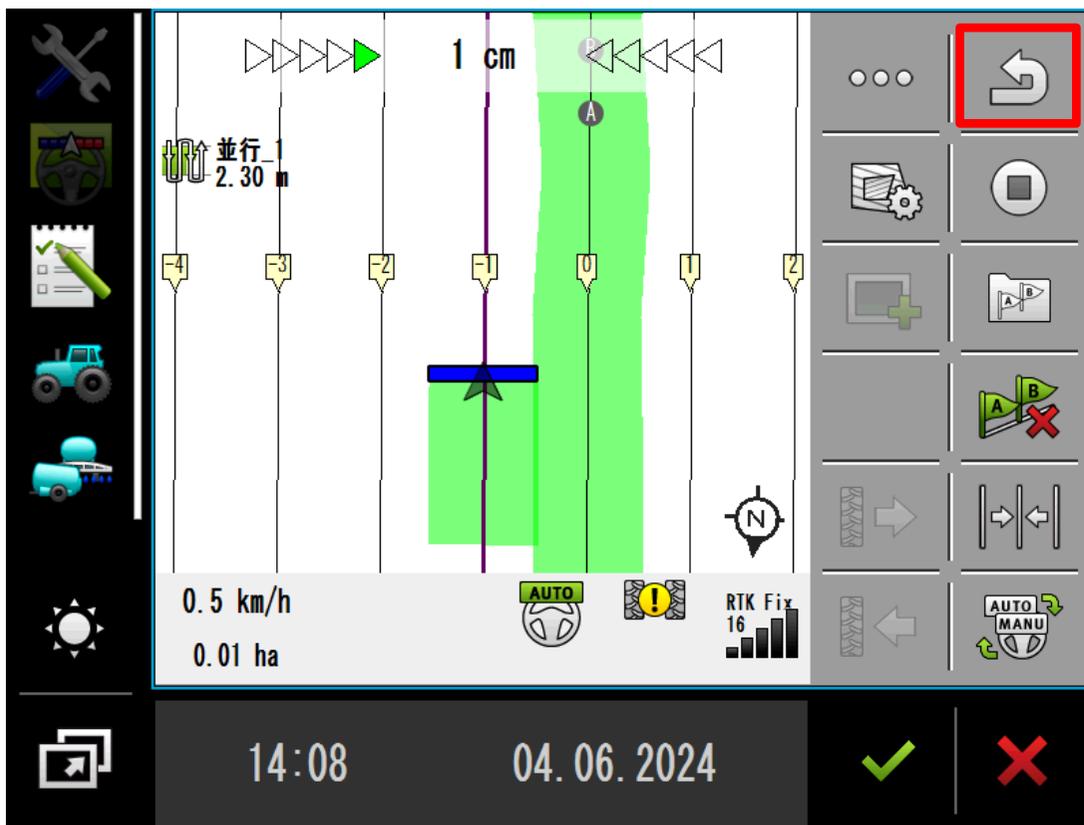
8. 圃場データの保存・転送・削除

圃場データには、以下が含まれます

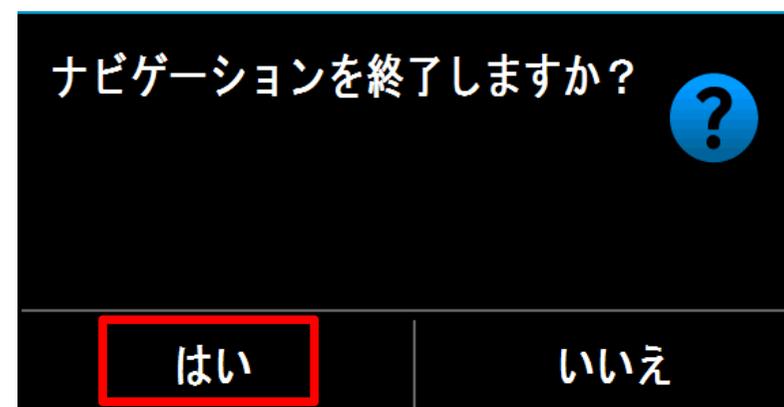
- ・ AB線
- ・ 作業記録（色塗り）
- ・ 境界線

Track-Guide III

8.圃場データの保存・転送・削除



 をタップし、
実行画面を終了する。
「はい」をタップする



Track-Guide III

8.圃場データの保存・転送・削除



「ストレージ」をタップする

※この画面になっていない場合は  をタップする

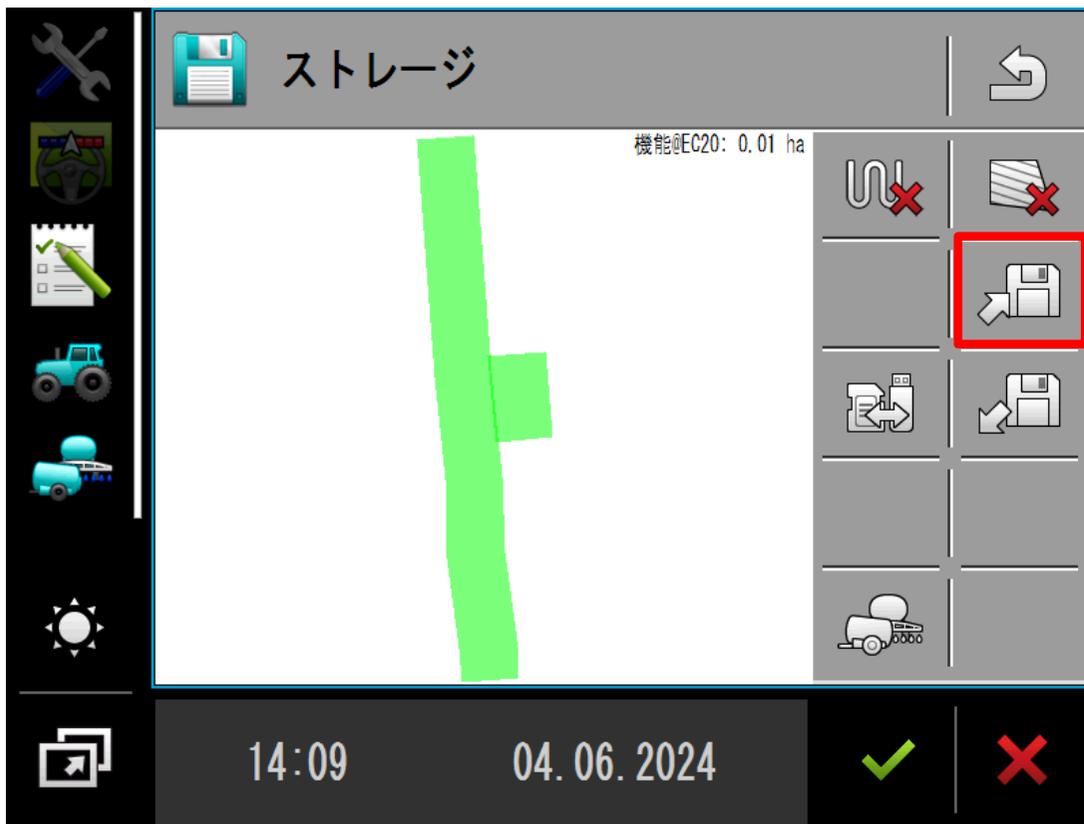


- ①現在有効になっている圃場で記録された **作業記録（色塗り）を全て削除**する
- ②現在有効になっている圃場で作成された **AB線を全て削除**する
- ③圃場データ（AB線・作業記録・境界線）をTGⅢとUSB（USBが接続されている場合）に保存する
- ④圃場データ（AB線・作業記録・境界線）をTGⅢから読み出す
※USBからの読み込みはできません
- ⑤TGⅢ内のデータとUSB内のデータを同期する

Track-Guide III

8. 圃場データの保存・転送・削除

- 圃場データをTGⅢ内とUSBに保存する



 をタップする

TGⅢ内と、USB（USBを接続している場合は両方）に圃場データが保存される。

名前を付けて  をタップする

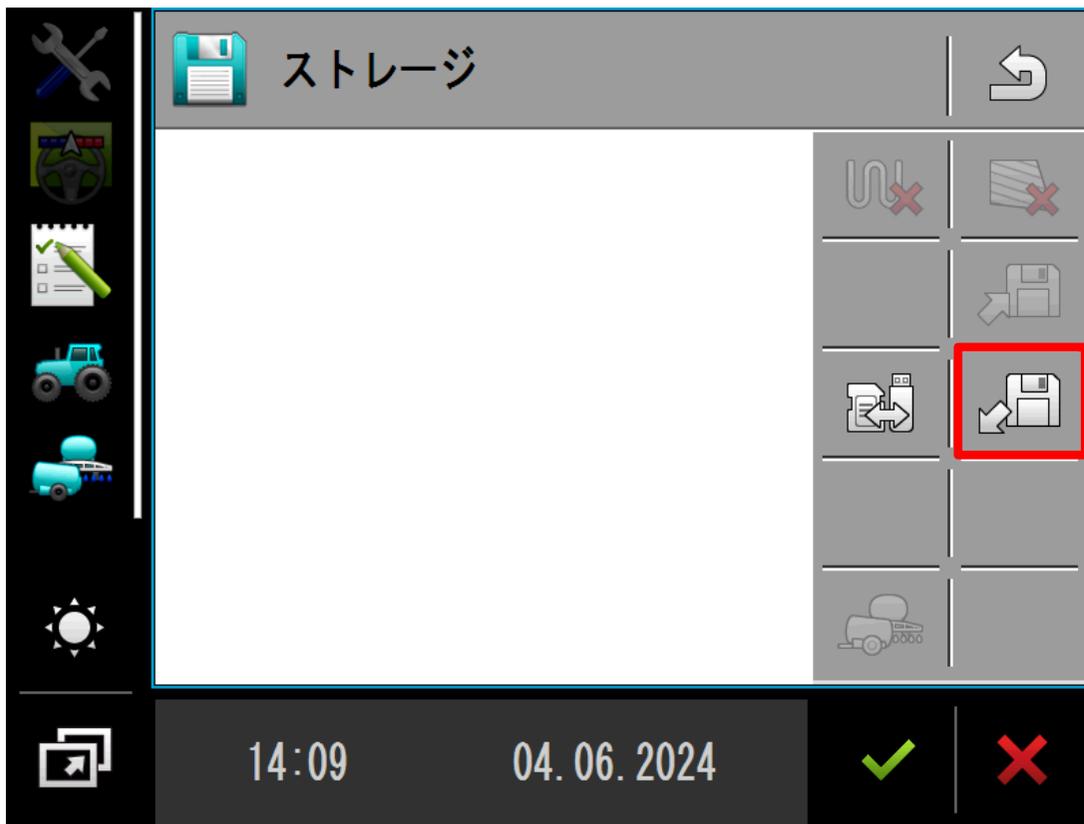


データ保存後、圃場データが無効になるので、引き続き保存した圃場データを使用する場合は、ロードが必要になります。

Track-Guide III

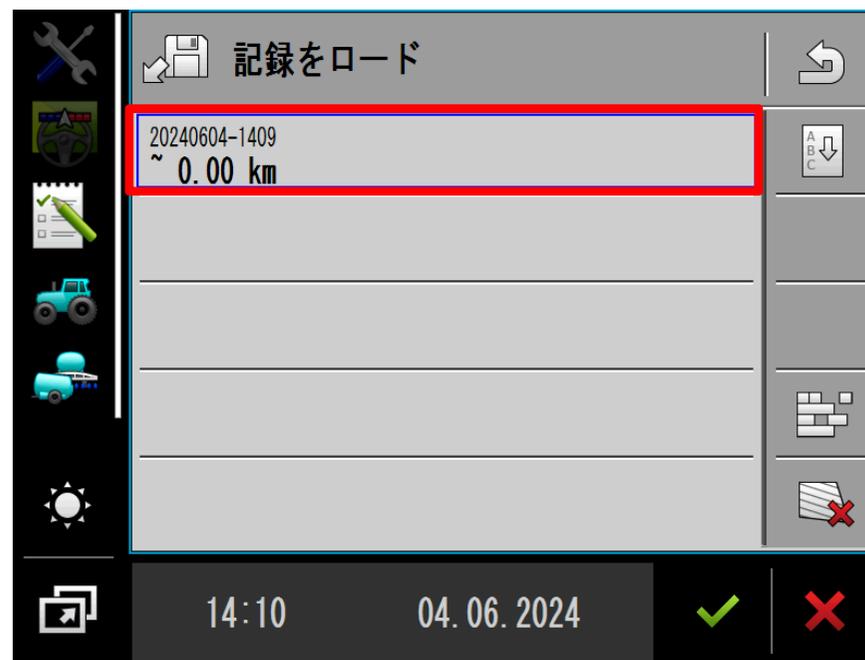
8. 圃場データの保存・転送・削除

- 圃場データをTGⅢ内から読み出す



 をタップする

読み出したいデータを**2回タップ**し、選択する



データ保存後、圃場データが無効になるので、引き続き保存した圃場データを使用する場合は、読み出しが必要になります。

Track-Guide III

8.圃場データの保存・転送・削除

- USBを使って他のTGⅢに圃場データを移行する方法



をタップする

「圃場」をタップする

Track-Guide III

8. 圃場データの保存・転送・削除

- USBを使って他のTGⅢに圃場データを移行する方法



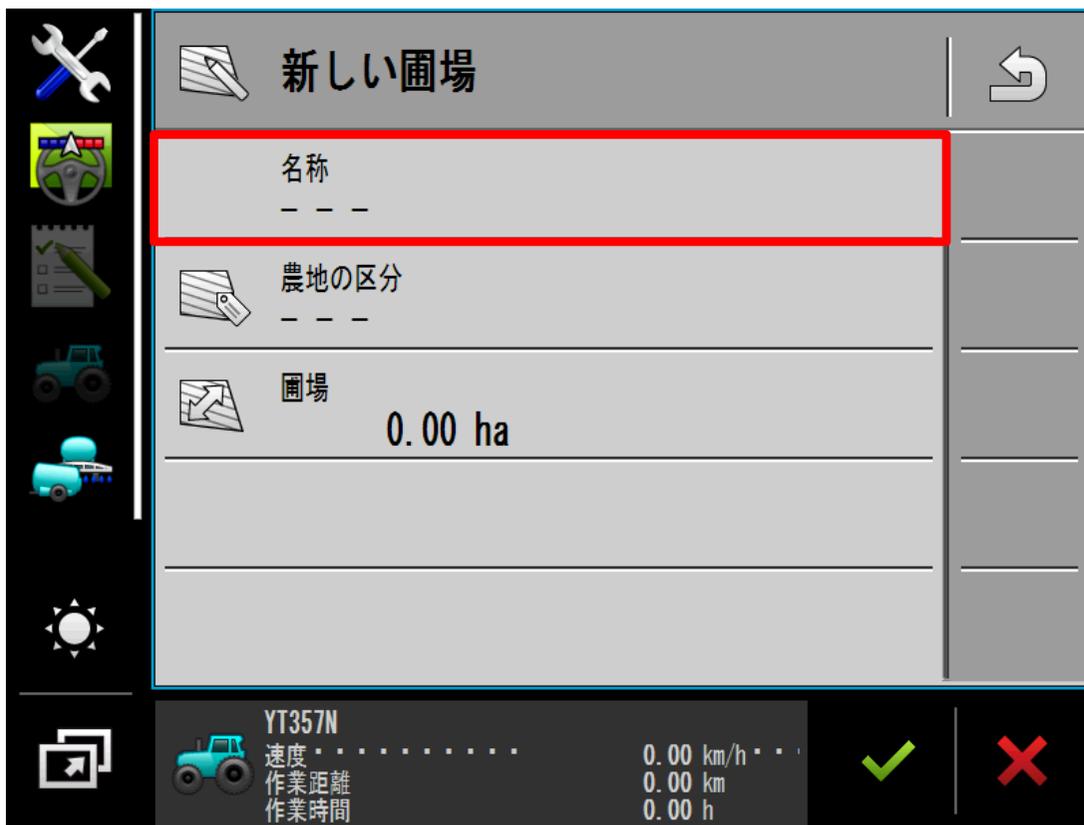
をタップする

※有効になっている圃場がある場合、新規で圃場を作成する前に、一度圃場を無効化する必要があります。

Track-Guide III

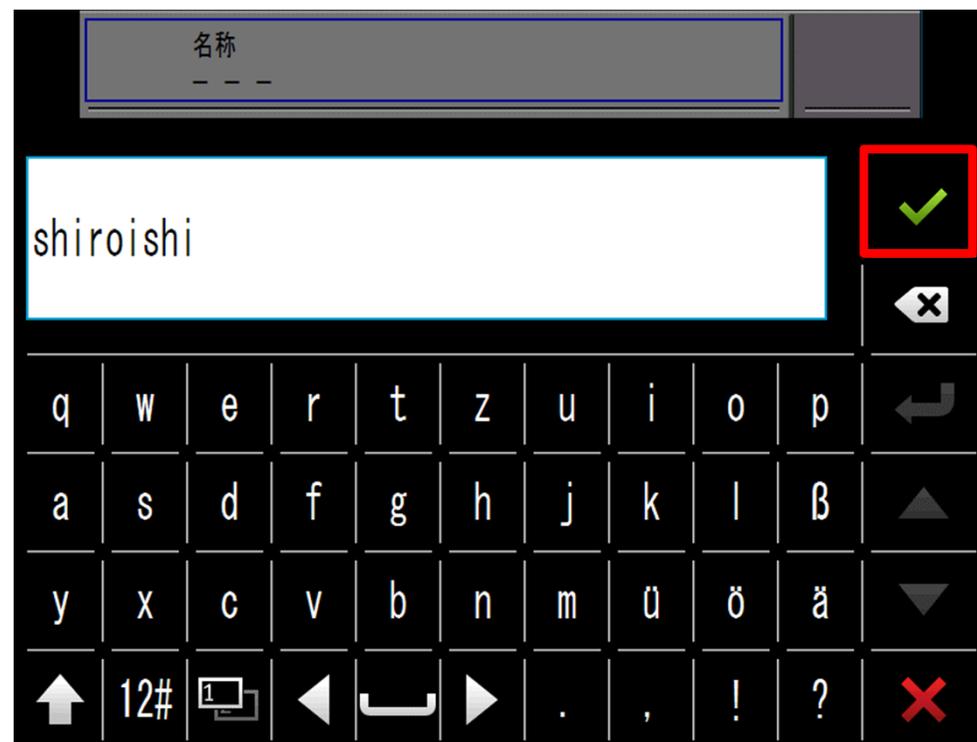
8. 圃場データの保存・転送・削除

- USBを使って他のTGⅢに圃場データを移行する方法



「名称」をタップし、圃場名を入力する

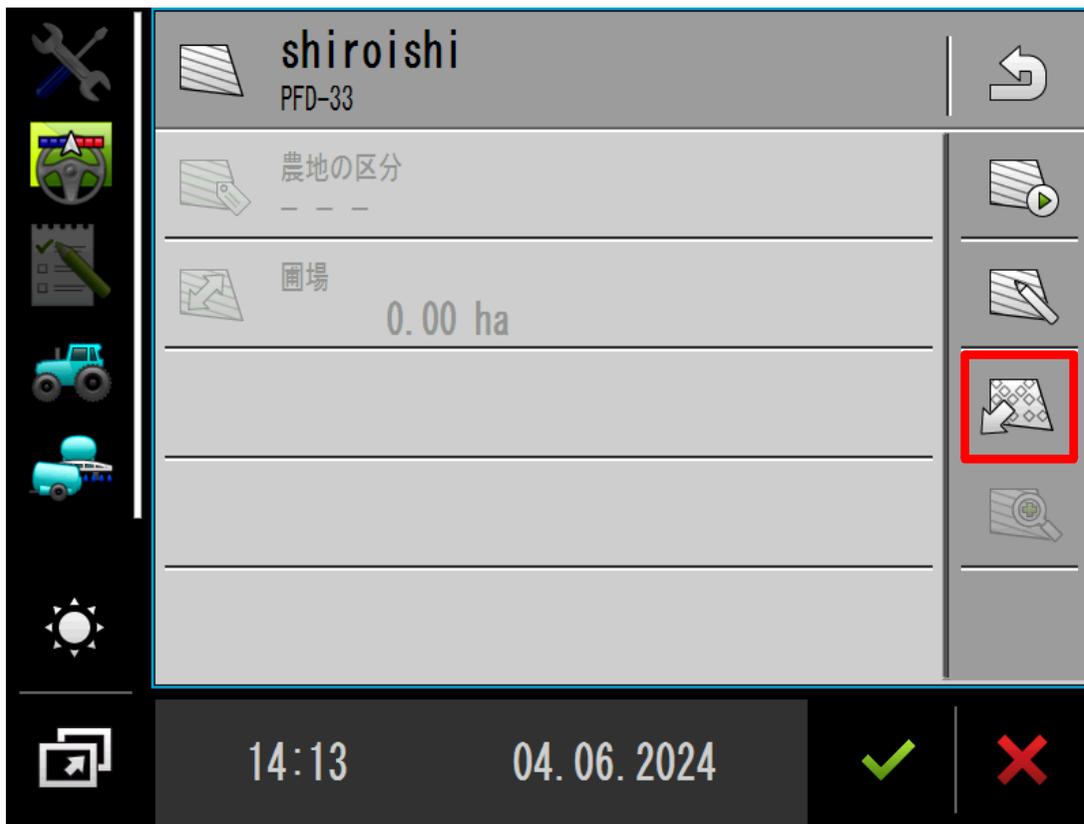
 をタップする



Track-Guide III

8.圃場データの保存・転送・削除

- USBを使って他のTGⅢに圃場データを移行する方法



をタップする

移行したいデータの種類の選択

し、 をタップする

※AB線を移行する場合は「ガイダンスライン」を選択



Track-Guide III

8. 圃場データの保存・転送・削除

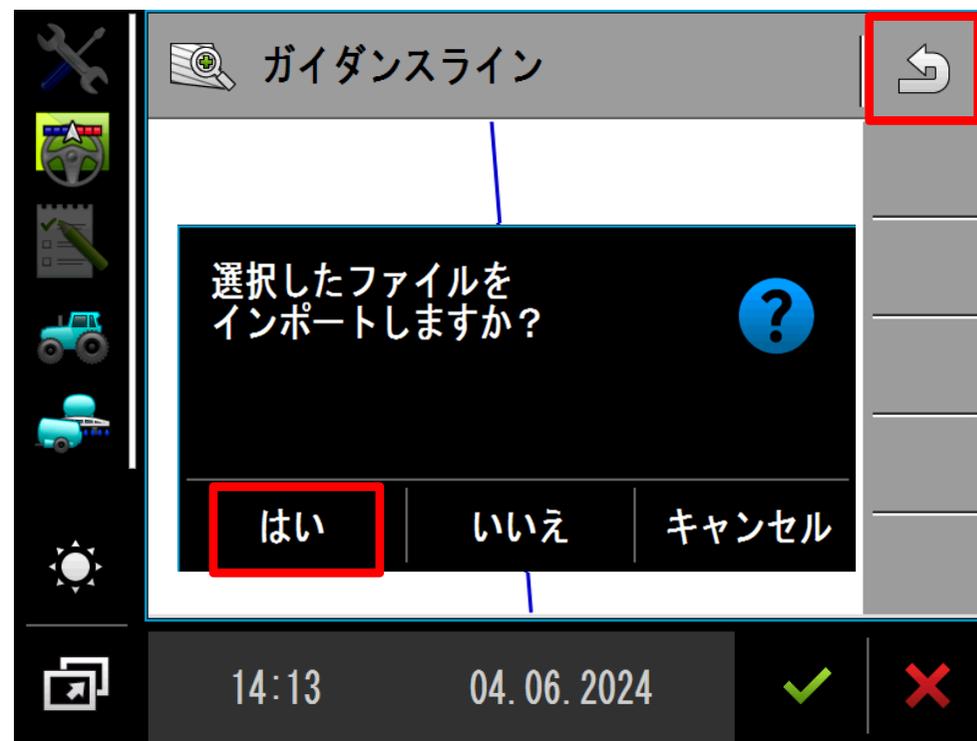
- USBを使って他のTGⅢに圃場データを移行する方法



移行したいデータを選択し、

 をタップする

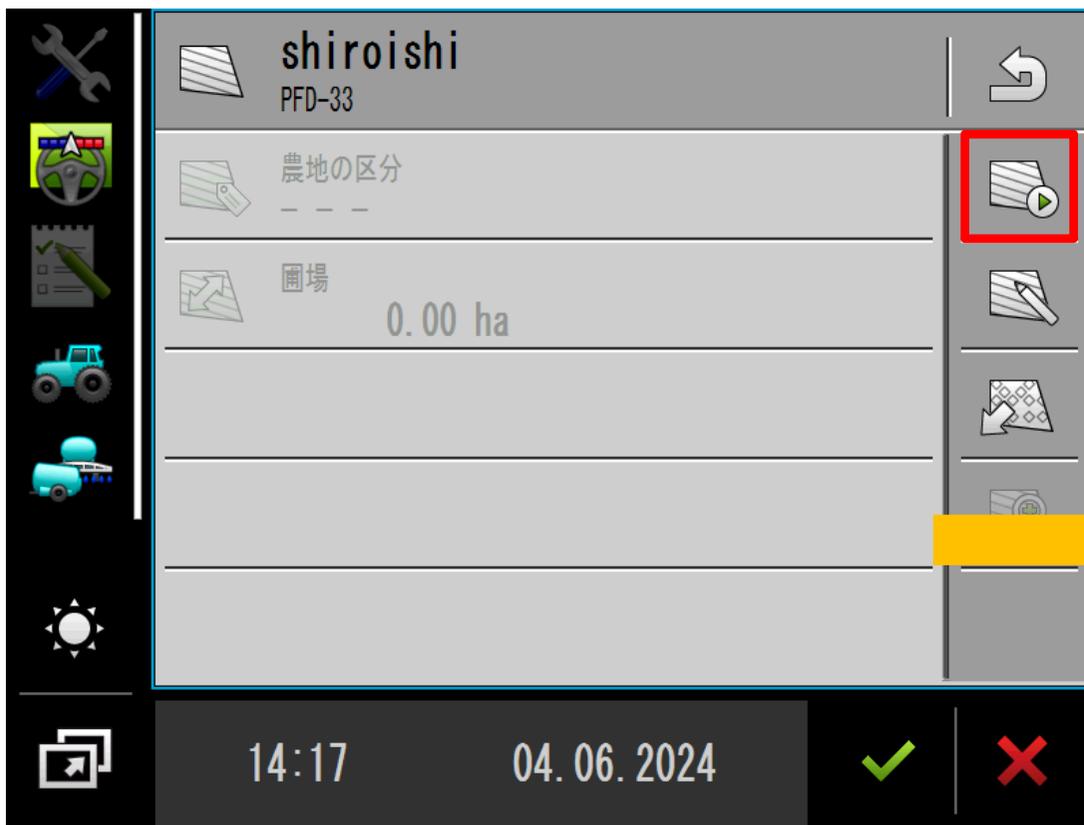
 をタップし「はい」を選択



Track-Guide III

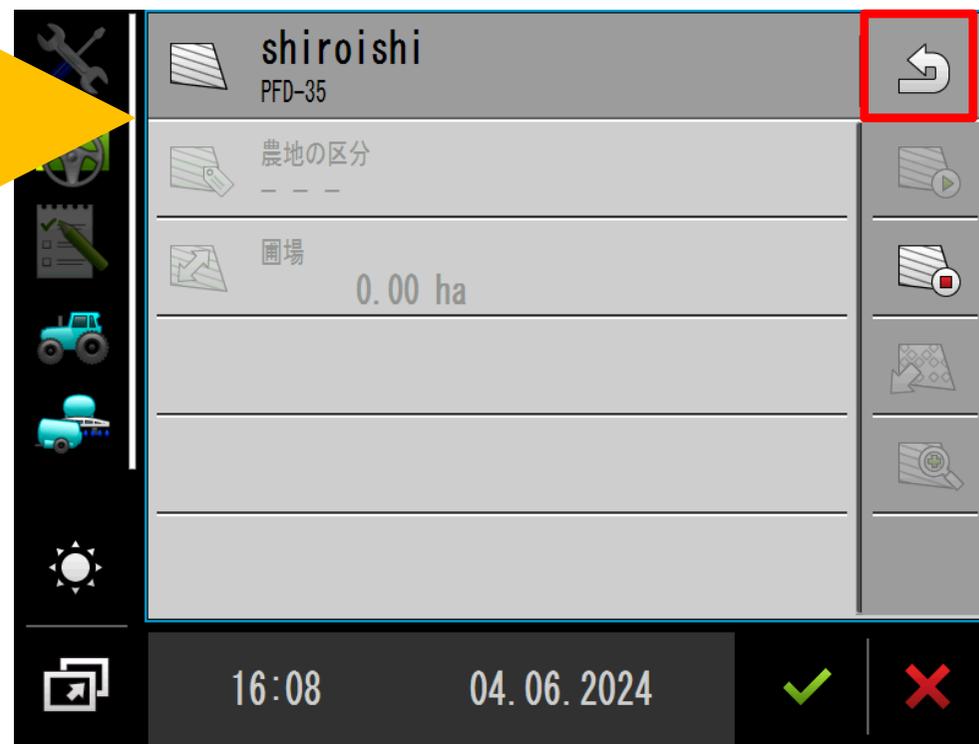
8. 圃場データの保存・転送・削除

- USBを使って他のTGⅢに圃場データを移行する方法



 をタップし、
圃場を有効にする

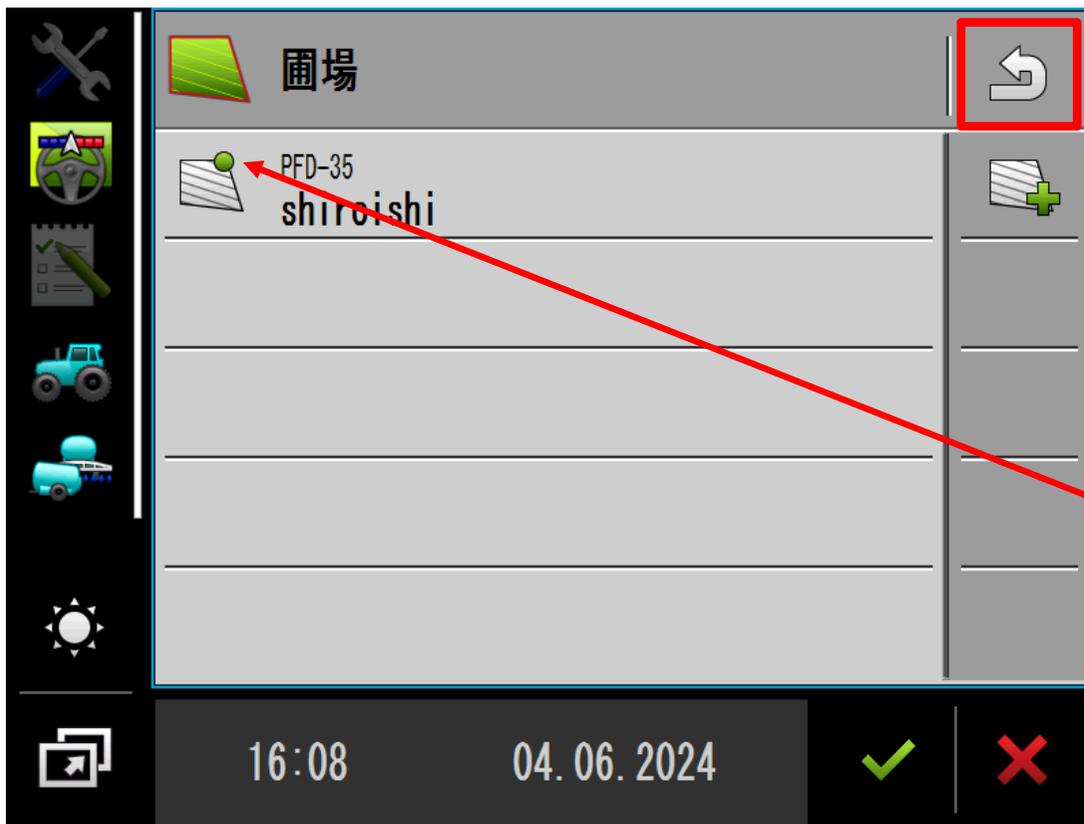
 をタップする



Track-Guide III

8. 圃場データの保存・転送・削除

- USBを使って他のTGⅢに圃場データを移行する方法



有効になっていることを確認し、

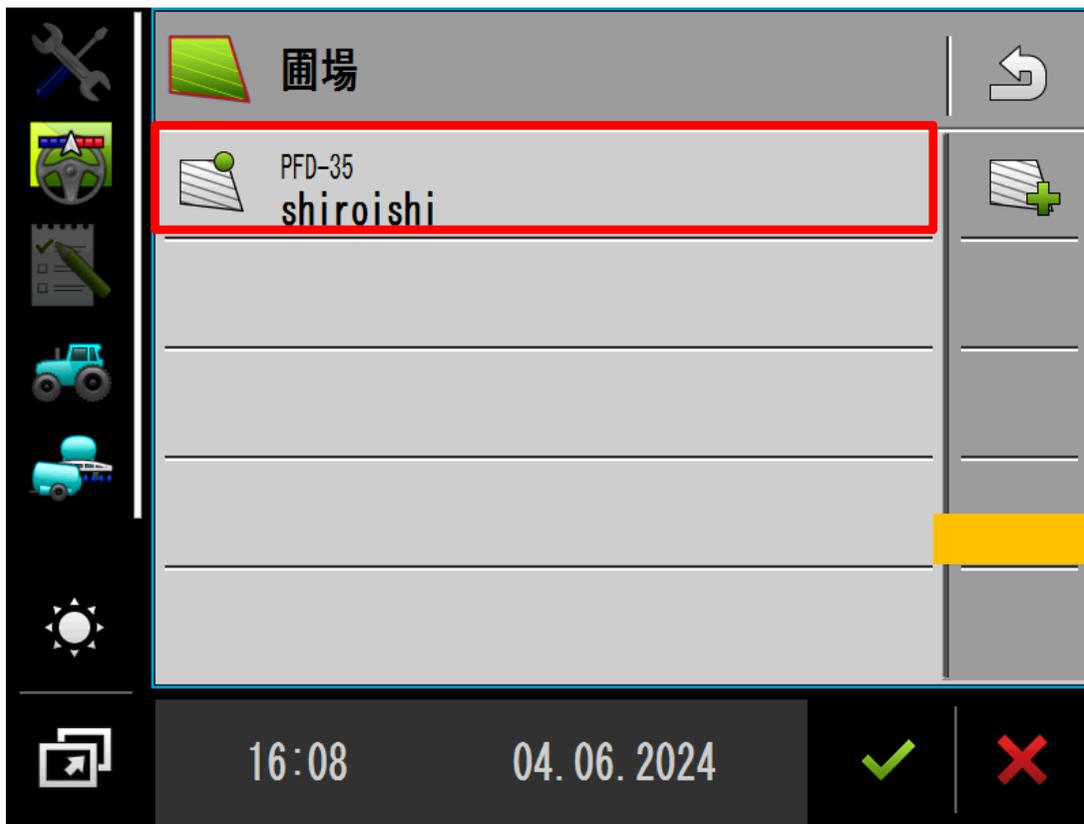
 をタップする

現在有効になっている圃場には
緑色の●が表示される

Track-Guide III

8. 圃場データの保存・転送・削除

- 圃場データの無効化



圃場を無効化する場合は、有効になっている圃場を選択し



をタップする

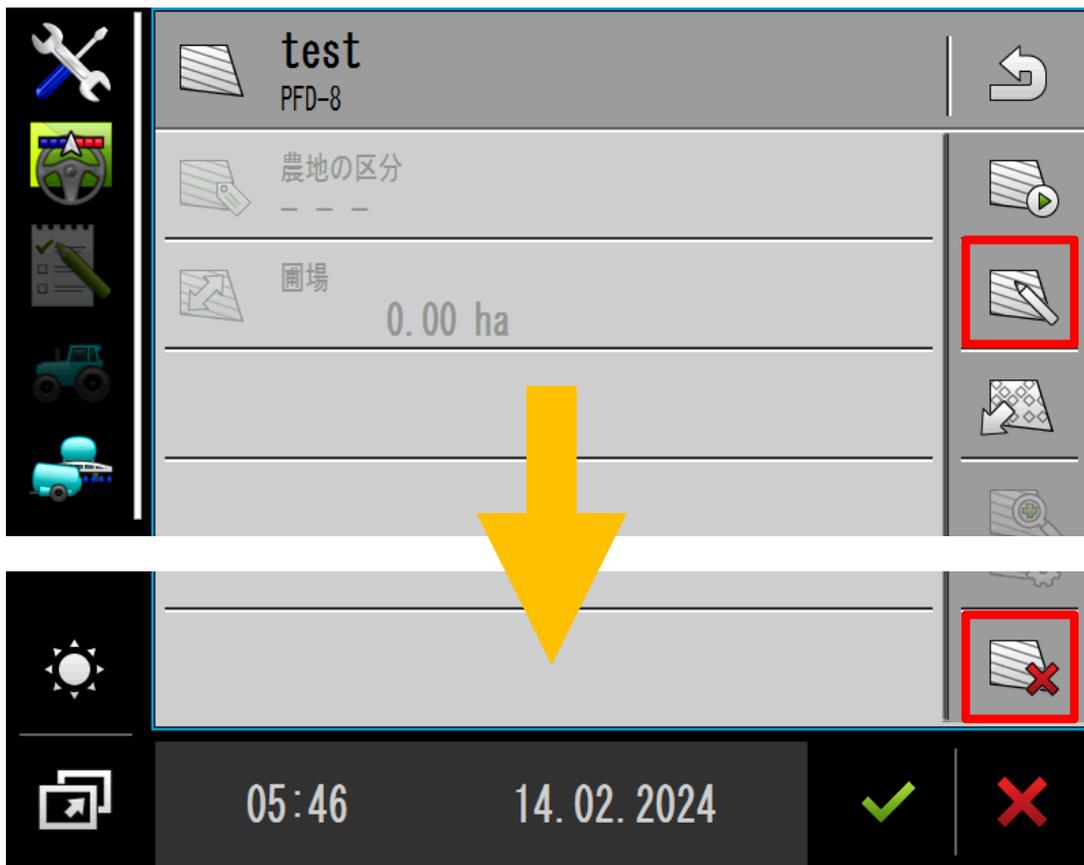


 圃場データの編集や削除を行うには、全ての圃場が「無効」になっている必要があります。

Track-Guide III

8. 圃場データの保存・転送・削除

● 圃場データの削除



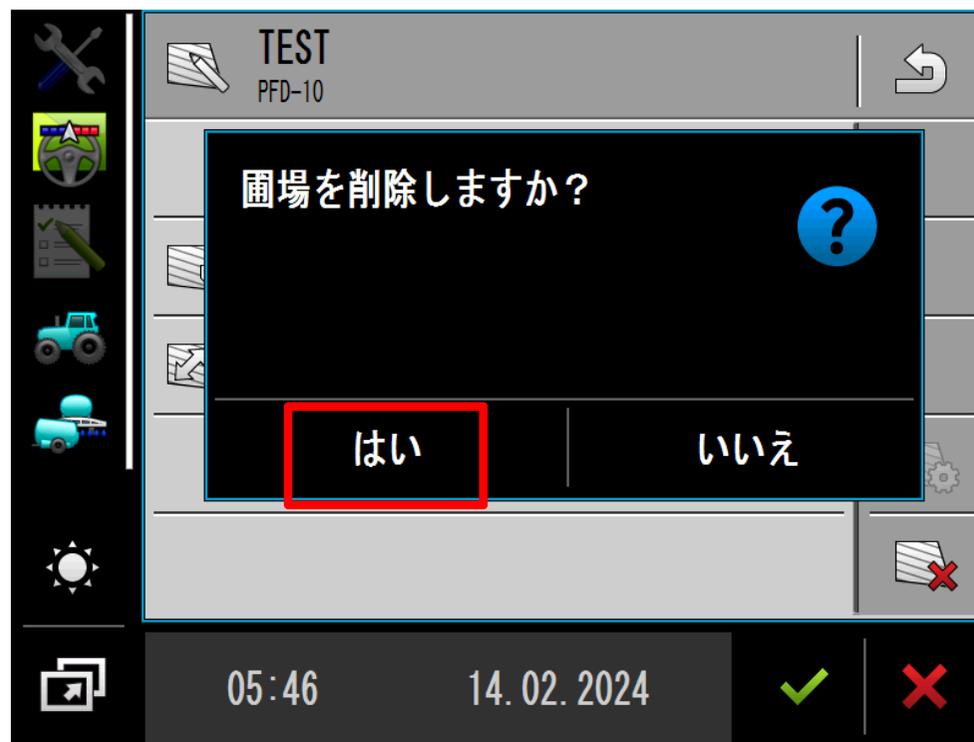
削除したい圃場を選択し、



をタップする



と「はい」をタップする







Track-Guide III

9. トラブルシューティング

画面がフリーズした場合や、エラーが消えない場合は以下をお試してください。

- ① TGⅢの電源を切り、10秒待ち、再度電源を入れる



電源が切れない場合

- ② TGⅢのケーブルを抜き、10秒待ち、再度ケーブルを接続し電源を入れる



解決しない場合

- ③ TGⅢの電源を切り、NAV-900の電源を切る。10秒待ちTGⅢの電源を入れNAV-900の電源を入れる



N1006 GPS信号の受信状態が悪すぎます



TGⅢの電源を一度切り、再度電源を入れ直してください。
近くに受信を妨げる障害物（建物や木、鉄塔など）のない場所に移動してください。

N139 設定情報を送信中です



車両プロファイルの読み込み直しを行ってください。

（一度違う車両プロファイルを選択し、設定を保存する。もう一度使用したい車両プロファイルを選択し、設定を保存する）

車両ECUの設定を間違えていないか確認してください。

（初期設定「標準トラクター」が選択されている状態に戻してください。それ以外にデータを作成してしまった場合は削除してください）

N152 ステアリングが動作停止状態です



TGⅢの電源を一度切り、再度電源を入れ直してください。
ステアリングモーターの接続を確認してください。

タスクが開始されていません！



プラグインの設定を変更してしまった可能性があります。

 → 「プラグイン」で、
右図の設定になっているか
確認してください。



ジョブ・コンピューターが接続されていません～



データを読み込み中です。しばらくお待ちください。

改善されない場合は、GNSS設定・車両設定・作業機設定を見直してください。

レーザーへの接続に失敗しました～

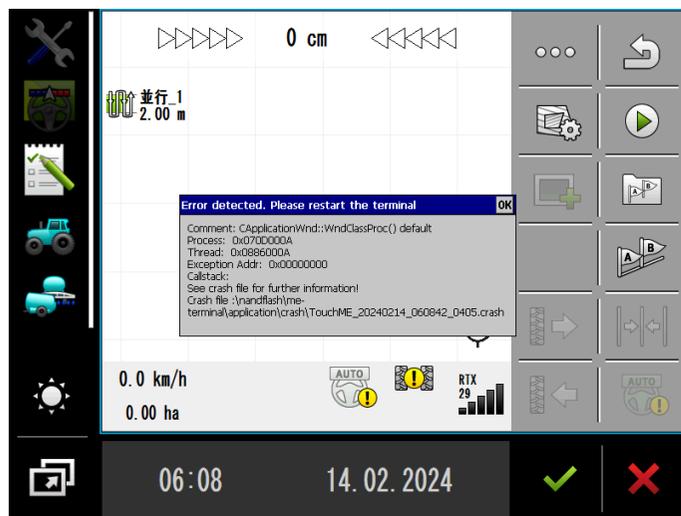


NAV-900の電源が入っていないまたは、接続ができない状態になっている可能性があります。

NAV-900とTGⅢ両方の電源を切り、再度電源を入れ直してください。

解消されない場合は、ケーブリングの見直しや、NAV-900のLEDが点灯しているかを確認してください。

Errorが表示されて消えなくなった場合



TGⅢの電源を一度切り、再度電源を入れ直してください。



電源を入れた直後にこの表示が出ることはありますが、問題ありません

→OKをタップ

スクリーンショットの取り方



USBを挿した状態で  を1秒間押してください。

画面を記録したい場合や、何かトラブルが発生した際にご活用ください。

設定中の注意事項



設定毎に必ず  をタップし、初めの画面に戻してください。

 をタップした時に設定が保存されます。

(タップしないと正常に設定が保存されません)

NAV-900のLED表示



| LED状態 | 状態 |
|-------------------|-------------------------|
| 消灯 | 電源なし |
| 赤の点灯 | 故障している可能性があります |
| 赤の早い点滅の後、オレンジ色に点灯 | ファームウェアの読み込み中 |
| 赤と緑の交互に点灯 | ファームウェアの読み込み、またはフォーマット中 |

GNSS受信状況の確認方法



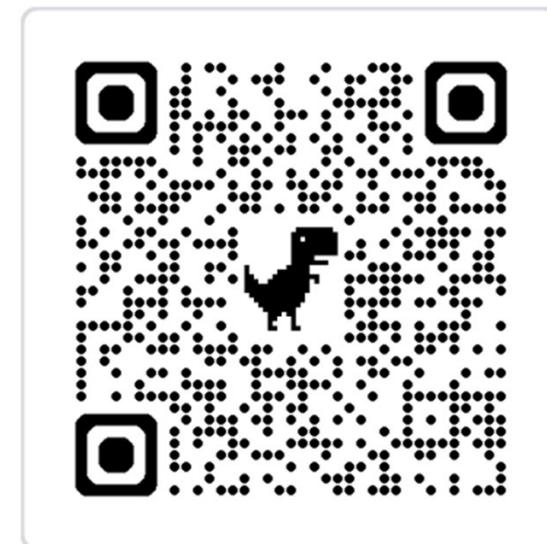
TAPコード一覧



| TAPコード | 単位 | 詳細 |
|--------|----|--|
| ALZ | m | アンテナの高さ（必ず-の値になります） |
| ALY | m | アンテナ左右オフセット（右：+ / 左：-） |
| ALX | m | 後輪車軸からアンテナまでの距離（前：+ / 後方：-） |
| VBL | m | ホイールベース |
| IAY | | アンテナのヨー方向（コネクタ方向 後：0 / 左：90 / 右：270 / 前：180） |
| ROD | m | ロール補正值（実測値の半分の値 ラインの左：+ / 右：-） |

Trimble Ag ユーザーサポートサイト

<https://annex.nikon-trimble.co.jp/agri/user/index.html>



YouTube ニコン・トリンブル 精密農業

<https://www.youtube.com/@NikonTrimbleAG>

